

けんこう鳥取

令和3年度



鳥取市 健康こども部

は　じ　め　に

鳥取市では、「誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち」をまちづくりの基本施策（第11次鳥取市総合計画）の一つとして掲げ、さらに、「市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送れること」を基本理念とした「とっとり市民元気プラン」を基に、市民のみなさんの生涯を通じた健康づくりを推進しています。

鳥取市保健所では、新型コロナウイルスなど感染症への対応をはじめ、精神保健、難病、医事薬事、食品衛生など公衆衛生に関わる業務を行うとともに、健康づくりや母子保健、子育て支援等に関する業務を担っており、市民の皆様の健康を守る総合的な拠点として、さまざまな取組を展開しております。

この「けんこう鳥取」では、これらの取組の概要や実績を取りまとめており、この冊子を御覧いただくことで、本市の保健衛生事業の現状について、御理解をいただくことができれば幸いです。

関係機関や関係団体の皆様とともに保健・医療・福祉の連携をさらに深め、市民の皆様の生涯を通じた健康づくりをさらに推進してまいりたいと考えておりますので、今後も一層の御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

令和4年8月

鳥取市健康こども部長 橋本 浩之

目 次

I 鳥取市の概況	
1 概況	1
2 財政状況	2
3 衛生統計	4
II 保健事業に関する組織の概況	
1 組織と主な業務	6
2 職員表	7
3 とっとり市民元気プラン2021推進状況	8
4 小学校訪問の実施と評価	12
III 鳥取市保健所事業概要	
健康・子育て推進課に関する事業	
1 保健事業一覧	14
2 母子保健事業	15
3 成人保健事業	28
4 栄養改善事業	52
5 歯科保健事業	57
6 歯科保健・糖尿病予防対策東部圏域保健事業	59
7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	60
8 健康づくり普及啓発活動	61
9 地区組織活動	61
鳥取東保健センターに関する事業	66
保健総務課に関する事業	67
保健医療課に関する事業	
1 医事薬事	71
2 感染症・疾病対策	74
3 心の健康支援	78
生活安全課に関する事業	81
IV 健康こども部事業概要	
こども家庭相談センターに関する事業	90
こども発達支援センターに関する事業	
1 発達支援係	92
2 特別支援教育係	93

3	児童発達支援センター若草学園	94
---	----------------	----

V 資料

1	要綱等新規制定・改正状況一覧表	97
2	研究・発表	98
3	沿革	99

I 鳥取市の概況

1 概況

(1) 地勢

本市は、鳥取県東北部に位置し、北は日本海に面し、東は岩美町及び一部兵庫県、西は湯梨浜町及び三朝町、南は八頭町、智頭町及び一部岡山県に接し、県庁所在都市として鳥取県東部広域圏の中心をなしている。面積は765.31平方キロメートルで、山陰最大の都市である。

また、四季のうつろいが実感できる比較的温暖な気候で、千代川により形成された鳥取平野を中心には広がり、海、山、川、池など多くの自然に囲まれている。

岡山、姫路からは100km、神戸、大阪、京都からは150kmの圏域にある。

(2) 人口、世帯

人口 183,645人
(男 88,486人、女 95,159人)
世帯数 81,064世帯
(注) 令和4年3月末日現在の人口

鳥取市



(3) 位置

東経 134° 26' 27" (東端)
133° 56' 46" (西端)
北緯 35° 16' 17" (南端)
35° 34' 22" (北端)

(4) 将来像（第11次鳥取市総合計画）

「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」

＜基本施策＞

◆まちづくりの目標1 誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

政策1 未来を創る人材を育むまちづくり

政策2 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり

政策3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

政策4 人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり

◆まちづくりの目標2 人が行きかい、にぎわいあふれるまち

政策1 ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり

政策2 人が集う交流と連携のまちづくり

政策3 文化芸術の薫りあふれるまちづくり

政策4 快適で暮らしやすい生活環境づくり

◆まちづくりの目標3 豊かな自然と調和して、安全・安心に暮らせるまち

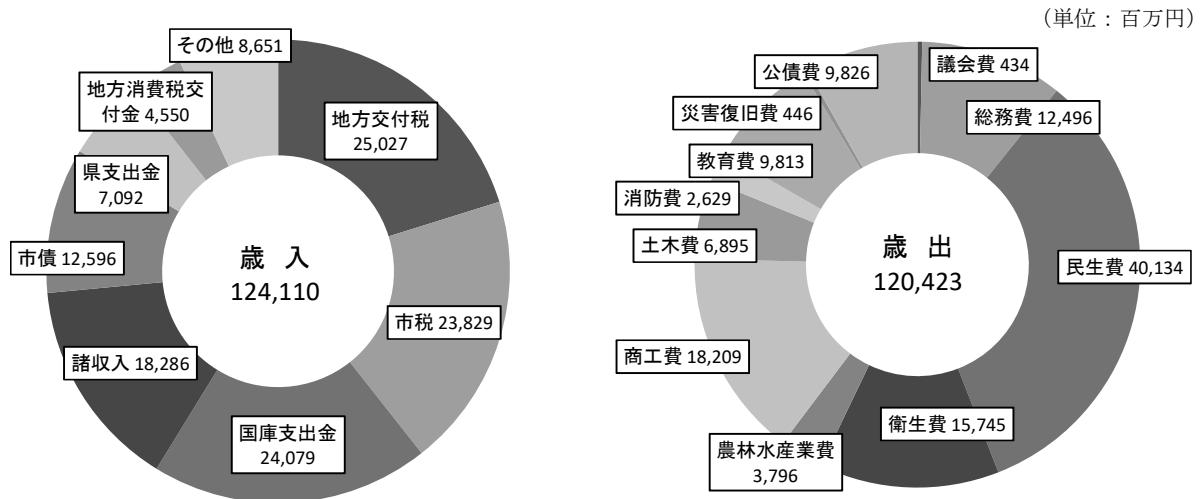
政策1 安全・安心に暮らせるまちづくり

政策2 環境にやさしいまちづくり

※上記の網掛け部分が、第11次鳥取市総合計画の実施計画（基本施策に関する深い主要な事務事業）に健康こども部の事業の位置付けがあるもの。

2 財政状況

令和3年度一般会計費目別構成（決算額）



■健康・子育て推進課（鳥取東保健センター含む）

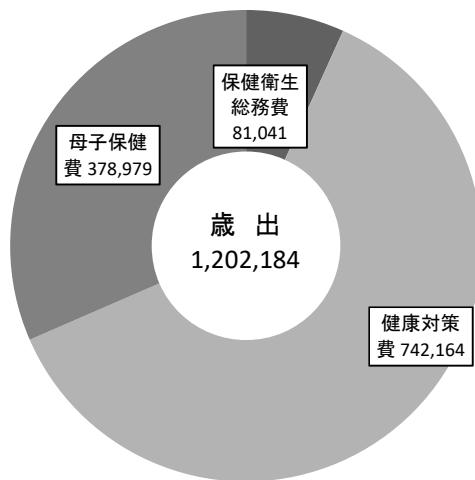
一般会計費目別構成

歳出総額 1,202,184千円（令和3年度）

一般会計歳出のうち

健康・子育て推進課歳出が占める割合 0.99%

（単位：千円）



■保健総務課

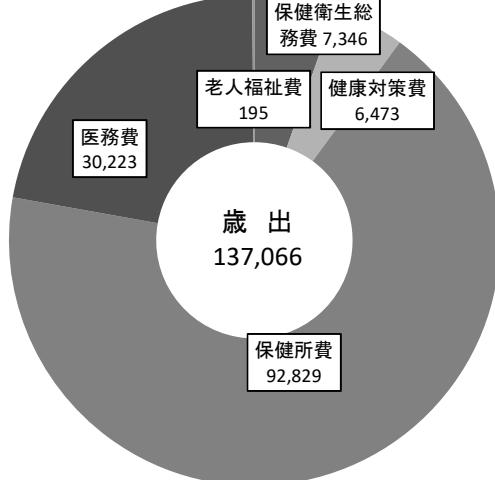
一般会計費目別構成

歳出総額 137,066千円（令和3年度）

一般会計歳出のうち

保健総務課歳出が占める割合 0.11%

（単位：千円）



■保健医療課

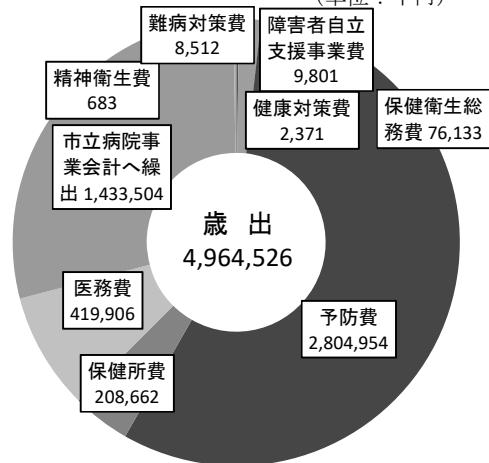
一般会計費目別構成

歳出総額 4,964,526千円（令和3年度）

一般会計歳出のうち

保健医療課歳出が占める割合 4.12%

(単位：千円)



■生活安全課

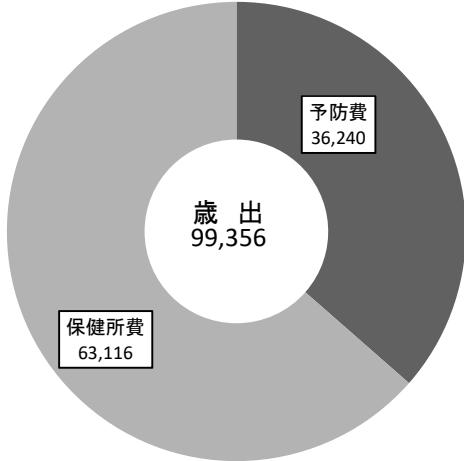
一般会計費目別構成

歳出総額 99,356千円（令和3年度）

一般会計歳出のうち

生活安全課歳出が占める割合 0.08%

(単位：千円)



■こども家庭相談センター

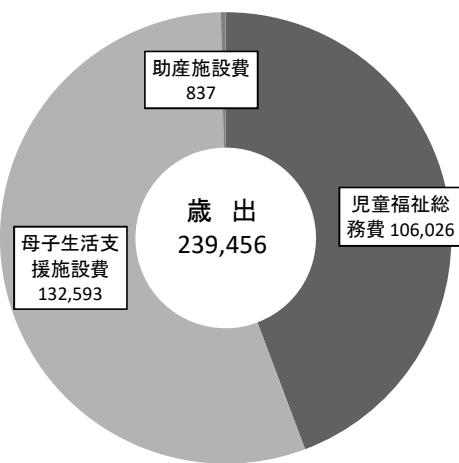
一般会計費目別構成

歳出総額 239,456千円（令和3年度）

一般会計歳出のうち

こども家庭相談センター歳出が占める割合 0.20%

(単位：千円)



■こども発達支援センター

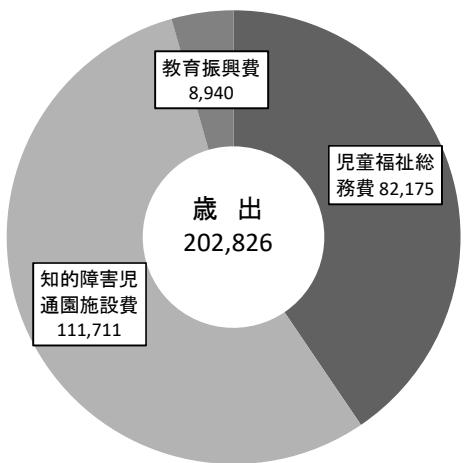
一般会計費目別構成

歳出総額 202,826千円（令和3年度）

一般会計歳出のうち

こども発達支援センター歳出が占める割合 0.16%

(単位：千円)

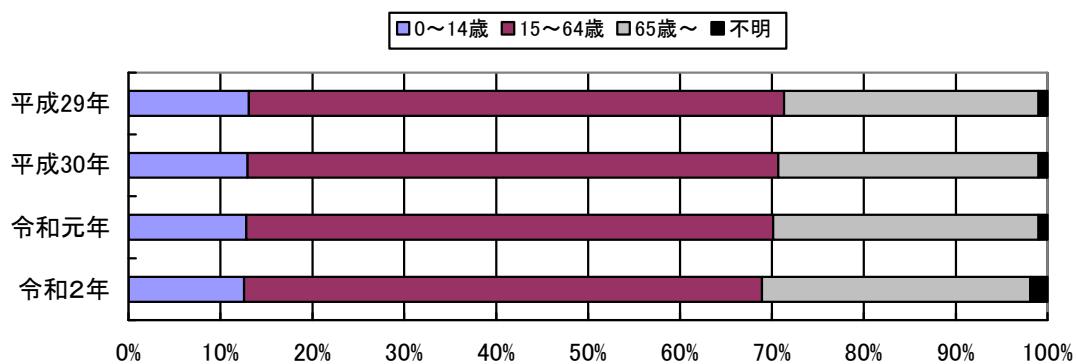


鳥取県「眠りますか？」睡眠キャンペーンキャラクター
「スーみん」鳥取市ご当地バージョン

3 衛生統計

(1) 人口動態

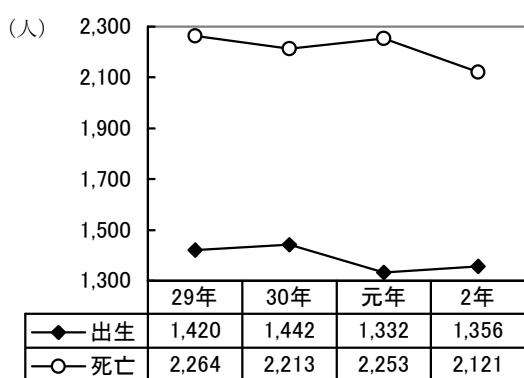
①人口統計



	0~14歳	15~64歳	65歳~	不明	合計
平成29年	25,033	111,612	53,046	1,910	191,601
平成30年	24,591	109,806	53,783	1,910	190,090
令和元年	24,138	108,255	54,437	1,910	188,740
令和2年	23,684	106,218	54,990	3,573	188,465

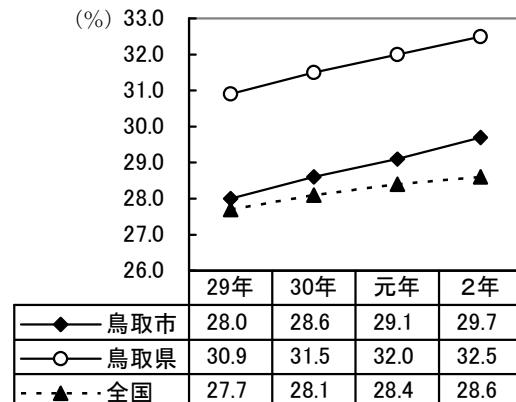
鳥取県統計課「鳥取県年齢別推計人口」より

②人口動態



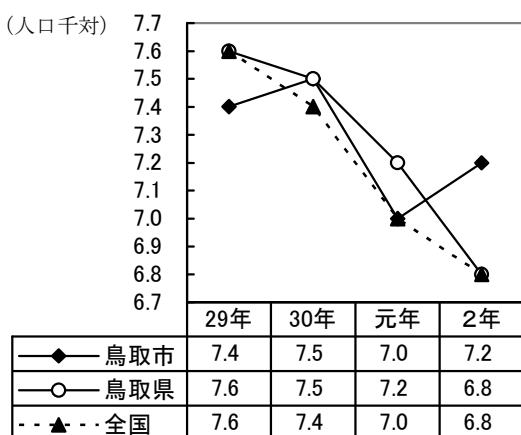
鳥取県統計課「人口移動調査」より

③65歳以上人口の推移



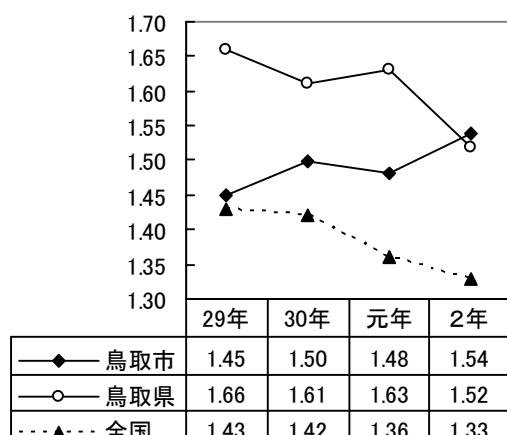
鳥取県統計課「鳥取県年齢別推計人口」、政府統計「人口推計」より

④出生率の推移



鳥取県福祉保健課「人口動態統計調査」、
厚生労働省「人口動態統計」より

⑤合計特殊出生率※

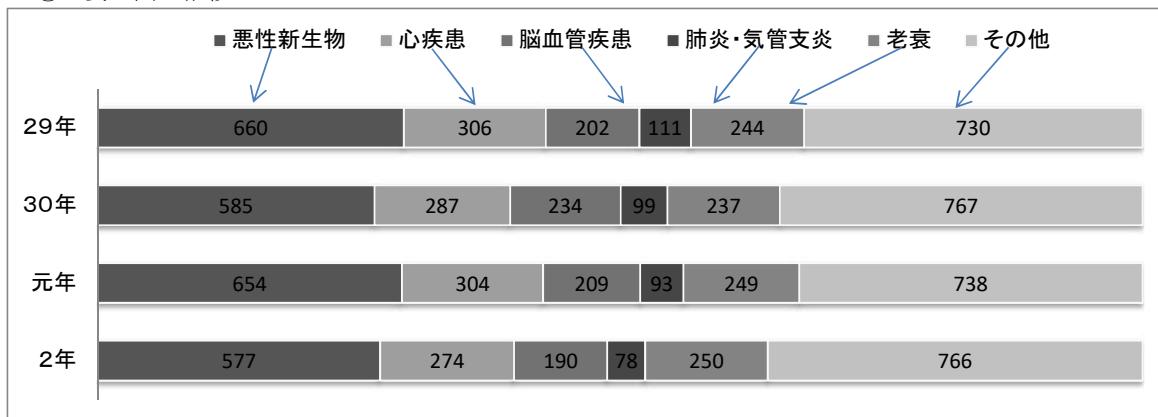


鳥取県福祉保健課「人口動態統計調査」、
厚生労働省「人口動態統計」より

※合計特殊出生率…一人の女性が一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当するもの

(2) 死亡統計 (鳥取県福祉保健課「人口動態統計調査」より)

①主要死因の推移



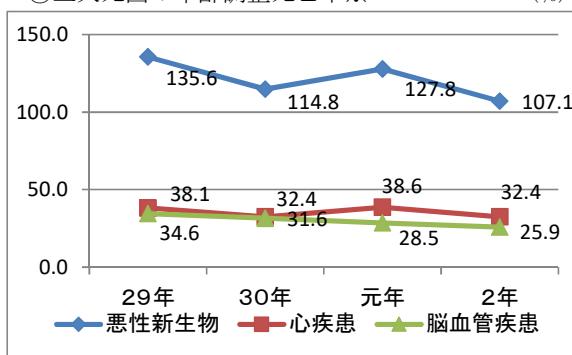
(単位：人、%)

死因 年	その他の構成比						計
	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎・気管支炎	老衰	その他	
29年	29.3	13.6	9.0	4.9	10.8	32.4	2,253
30年	26.5	13.0	10.6	4.5	10.7	34.7	2,209
元年	29.1	13.5	9.3	4.1	11.1	32.8	2,247
2年	27.0	12.8	8.9	3.7	11.7	35.9	2,135

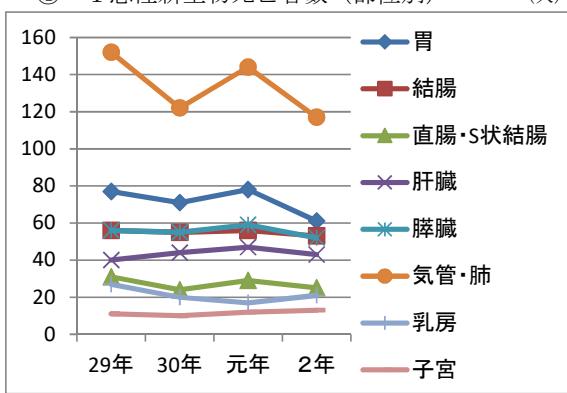
②三大死因の年次推移 (人口10万対)



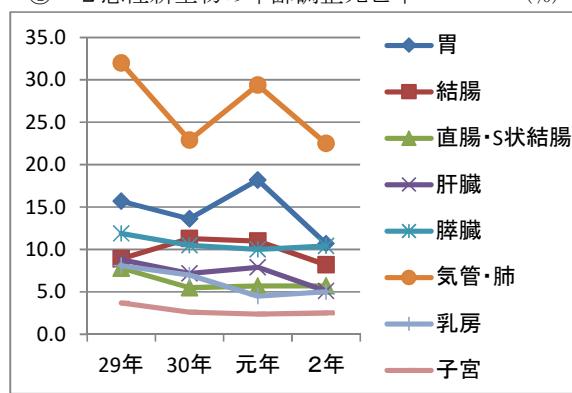
③三大死因の年齢調整死亡率※ (%)



④-1 悪性新生物死者数 (部位別)



④-2 悪性新生物の年齢調整死亡率 (%)



(単位：人)

	29年	30年	元年	2年
胃	77	71	78	61
結腸	56	55	56	53
直腸・S状結腸	31	24	29	25
肝臓	40	44	47	43
膵臓	56	55	59	52
気管・肺	152	122	144	117
乳房	27	20	17	21
子宮	11	10	12	13

(単位：%)

	29年	30年	元年	2年
胃	15.7	13.6	18.2	10.7
結腸	8.9	11.3	11.0	8.2
直腸・S状結腸	7.8	5.5	5.7	5.7
肝臓	8.8	7.2	7.9	5.1
膵臓	11.9	10.5	10.0	10.4
気管・肺	32.0	22.9	29.4	22.5
乳房	8.1	7.0	4.5	5.0
子宮	3.7	2.6	2.4	2.5

※年齢調整死亡率…基準となる人口の年齢構成を考慮して補正した死亡率

II 保健事業に関する組織の概況

1 組織と主な業務 (R3.4.1)

課・係等		主な業務内容
鳥取市保健所	保健総務課	<p>総務係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所事務・事業の総括 ・地域保健、健康増進報告の総括 <p>など</p> <p>企画連携係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域の保健事業の連絡調整 ・受動喫煙対策、相談 ・健康危機管理における総合調整、災害医療救護 <p>など</p>
	保健医療課	<p>新型コロナワクチン接種体制整備</p> <p>医事薬事係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医事、薬事、毒物劇物、医療従事者免許 ・薬物乱用防止普及啓発、医療相談 ・病院、診療所、薬局、医療機器販売業等の許可、届出の受理 ・保健及び医療政策、地域医療、夜間休日診療、休日歯科診療等 ・施術所（はり・きゅうなど）、歯科技工所の届出の受理 <p>など</p> <p>感染症・疾病対策係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の発生の届出、報告及びまん延防止対策 ・指定難病等の医療費助成、相談、難病患者の支援 ・予防接種 ・肝炎治療特別促進事業事業・エイズ等性感染症の検査・相談 <p>など</p> <p>心の健康支援室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の健康、精神疾患等についての相談支援 ・依存症、ひきこもり、自死対策 <p>など</p>
	健康・子育て推進課	<p>健康づくり係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気プラン2021の推進・成人健康教育、健康相談、訪問指導 ・健康づくり地区推進員活動支援・しゃんしゃん体操普及事業 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 ・母子歯科事業・成人歯科事業・東部圏域の歯科保健対策事業 <p>など</p> <p>子育て支援係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター「こそだてらす」 ・母子健康手帳交付、妊婦・産後健診票等交付 ・妊婦教室、産後サロン、多胎児支援 ・新生児聴覚検査、新生児訪問指導、乳児健康診査 ・小児慢性特定疾病の医療費助成 ・小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 ・不妊検査・不妊不育治療費助成、不育症治療の相談、啓発 <p>など</p> <p>親子保健係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査 ・子育て心理相談・発達相談指導・育児等健康支援事業 ・子育てサークル支援・広域的な母子保健事業の推進 <p>など</p> <p>食育推進係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養改善及び食育推進事業（教室・相談・訪問） ・特定給食施設の届出、指導・食育推進員養成、活動支援 ・食品表示の指導・管理栄養士課程臨地実習受入れ ・東部圏域栄養管理情報連携サポート事業 <p>など</p> <p>健診推進室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・特定保健指導の推進 ・がん検診、人間ドック、脳ドック、肝炎ウイルス検査の実施 ・がん対策の推進、がん患者支援 ・がん検診推進パートナー企業の啓発・支援 <p>など</p>
	生活安全課	<p>食品衛生係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生（営業許可、各種届出など） <p>動物愛護係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護（飼い犬登録、狂犬病予防接種、猫不妊去勢補助など）
	こども家庭相談センター	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの養育相談に関すること ・児童虐待予防への取り組みに関すること ・家庭・女性相談に関すること <p>など</p>
	こども発達支援センター	<p>発達支援係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達支援及び発達相談に関すること ・児童発達支援センター若草学園に関すること <p>など</p> <p>特別支援教育係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談、就学相談に関すること ・特別支援教育に関すること <p>など</p>
鳥取東保健センター		<ul style="list-style-type: none"> ・健康・子育て推進課と類似 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>【担当地区】国府、修立、岩倉、稻葉山、面影、米里、津ノ井、若葉台</p> </div>
各町総合支所		<ul style="list-style-type: none"> ・上記内容すべて、国民健康保険・国民年金 ・高齢者福祉・介護保険・障がい者福祉、児童福祉 <p>など</p>

2 職員表 (R3. 4. 1)

所 属	事務他	医師	保健師	管理栄養士・栄養士	歯科衛生士	心理相談員	診療放射線技師	薬剤師	獣医師	衛生技師	保育士他	会任等	合計
保健所長		1											1
保健総務課 課長・統括保健師	1		1										2
総務係	3											1	4
企画連携係	2		2									1	5
保健医療課 課長			1										1
医事薬事係	3						1	2				1	7
感染症・疾病対策係	4		4							1		4	13
ワクチン接種担当	6											1	7
心の健康支援室			7										7
健康・子育て推進課 課長	1												1
健康づくり係	2		6(1)		2(1)							6	16
子育て支援係	1		5(1)									6	12
親子保健係			5(1)			1						3	9
食育推進係				6									6
健診推進室	2		8(2)	1								9	20
生活安全課 課長							1						1
動物愛護係	4								2			3	9
食品衛生係							1		7(2)			1	9
こども家庭相談センター 所長・所長補佐	2												2
	1		1			1					3	8	14
こども発達支援センター 所長・所長補佐	1		1										2
発達支援係	1					1					2	3	7
特別支援教育係										3	3		6
若草学園											25		25
鳥取東保健センター 所長			1										1
			5(1)	1								3	9
国府町総合支所 市民福祉課	4(2)											2	6
福部町総合支所 市民福祉課	5(1)		1									1	7
河原町総合支所 市民福祉課	7		1										8
用瀬町総合支所 市民福祉課	4		1									3	8
佐治町総合支所 市民福祉課	6		1										7
気高町総合支所 市民福祉課	6		1									2	9
鹿野町総合支所 市民福祉課	6		1									1	8
青谷町総合支所 市民福祉課	6		1									2	9
合 計	78	1	54	8	2	3	1	4	3	7	33	64	258

育休等休暇中の者（ ）再掲

3 とっとり市民元気プラン2021推進状況

分野	令和3年度実施内容および評価
食習慣	<p>【目標】 健康的な食習慣をつくりましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 全てのライフステージで栄養バランスのとれた食事を心がける II 自分の体を大事にする食べ物を選ぶ <hr/> <p>【実施内容】</p> <p>1 普及・啓発（講話、野菜レシピ集の配布等）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 健康教育（随時） <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会（40回 418人） ・幼児食教室・育児サークル食育教室（23回 235人） ・地区健康教室（14回 178人） ・食育推進員教育研修・伝達講習会→出張適塩講座（36回 614人）及びスキルアップ研修（2回 49人） (2) 市報・ケーブルテレビでの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・市報6月号「食育月間」記事掲載 ・市報「食育推進員による『食』コーナー」（「適塩」） ・食育推進員によるCATV「食育らくらくクッキング」放映（「適塩」） ・公式LINE「食育・レシピ」を隔月配信 (3) イメージキャラクター作成による啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・適塩イメージキャラクター「シオとらん」を作成し、適塩を啓発 <p>2 野菜レシピの普及</p> <p>関係窓口、母子対象の健康教育等、若年層を中心に配布およびホームページ掲載</p> <p>【評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止を余儀なくされた事業が多い中、若年層をはじめ啓発する対象者の拡大のため、公式LINEなどメディアを活用する等の「できる啓発」を実施した。今後も継続して、乳幼児期の保護者や学童、生徒など若年層を対象にした効果のある推進、啓発をさらに検討して行くことが必要である。</p>
身体活動・運動	<p>【目標】 楽しく運動しましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 運動習慣をつくる II 日常生活の中で意識して身体を動かす III しゃんしゃん体操を知り、継続する <hr/> <p>【実施内容】</p> <p>1 運動習慣をつくり、日常生活の中で意識して身体を動かすための働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 健康づくり地区推進員を中心に、各地区の自治会の協力を得て、地域でのウォーキング、体操等を実施した。コロナ禍で実施できなかった地域もあったが、日常に取り入れやすい運動のリーフレットの配布を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進員により地域でウォーキングを実施した地区 21地区 1,172人 (2) ホームページにて気軽にできる運動を紹介した。 (3) びょんびょんネットでのフレイル予防体操等放映を実施した。 (4) 身体をつかった遊びや運動をしている子どもが減少していることから、小学校に調査結果を報告し、学校の現状を聞き取るとともに、今後の対策について話し合った。

心の健康	<p>2 しゃんしゃん体操を知り継続できるための活動支援</p> <p>(1) 普及員への研修・会議 情報交換を行い、それぞれのレベルアップを図った。 連絡会、代表者連絡会及びスキルアップ研修会を実施した。</p> <p>(2) 地区のしゃんしゃん体操普及員や健康づくり推進員を中心に、地区の自治会、地区社協とも連携し、しゃんしゃん体操を実施した。</p> <p>(3) コロナ禍で外出機会が制限されることによるフレイルへの移行を予防するため、運動指導員の地域への派遣回数を増やし参加を呼び掛けた。</p> <p>【評価】</p> <p>コロナ禍で計画通りの実施ができなかつたが、各地区で感染対策をした上、工夫して、しゃんしゃん体操、ウォーキング等を開催することができた。</p> <p>来年度も健康づくり地区推進員、各地区自治会、地区社協、しゃんしゃん体操普及員等との連携を深め、地域での運動を推進する。</p>
	<p>【目標】</p> <p>みんなで気にかけて支えあう環境を作り、こころの健康を保ちましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <p>I ライフステージに応じた十分な睡眠と休養をとることができる II 1人で悩みを抱え込むことなく、誰かに相談できる III 家族や地域で温かい人間関係を作り、孤立を防ぐことができる</p> <p>【実施内容】</p> <p>1 ライフステージに応じた十分な睡眠と休養をとることができるために支援</p> <p>小学生のメディア視聴時間が増加し、就寝時刻が遅延していることから、学校へ訪問し、睡眠の状況、生活習慣の状況を聞き取り、情報共有を図った。学校では児童や保護者向けに健康教育を実施したり、生活習慣の調査をされるなどの取り組みがされていた。</p> <p>2 一人で悩みを抱え込むことなく、誰かに相談できる環境を整える</p> <p>(1) 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー養成研修会（窓口対応の鳥取市職員対象 1回 13人） ・自死予防研修会（市民対象 1回 11人） ・メンタルヘルス出前講座（企業など 5事業所 165人） <p>(2) 普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心といのちを守るパネル展（9月、3月） ・若年層への啓発（自死予防啓発チラシ・クリアファイルを作成し、大学、専門学校等に配布） ・企業向けメンタルヘルス研修会（新入社員向け 1回 34人） ・心の健康に関する教育（各地区） ・自死予防啓発（市報、ホームページ等） <p>(3) 相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の健康に関する相談 ・こころの体温計（延 17,914人） <p>【評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発活動等の機会は制限されたが、オンライン研修の開催等、感染症対策を行いながら事業を実施することができた。</p> <p>コロナ禍で直接的な啓発活動が難しい中、ホームページの活用等、効果的な啓発活動等を工夫していく必要がある。</p>

分野	令和3年度実施内容および評価
喫煙・飲酒	<p>【目標】 禁煙をすすめましょう 適正飲酒を守りましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 妊産婦の喫煙者を減らす II 未成年者がたばこの害について理解し、未成年者の喫煙率をゼロにする III 成人の喫煙者を減らす（禁煙したい者が喫煙を止める） IV 受動喫煙を防ぐ環境をつくる V 妊娠中の飲酒をなくす VI 未成年者がアルコールの健康への影響について理解できる VII 成人の適正飲酒（頻度・量）の定着 <hr/> <p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 受動喫煙を防ぐ環境をつくる <ol style="list-style-type: none"> (1) 妊婦、乳幼児保護者へのチラシの配布 (2) 母子健康手帳交付、乳幼児健診等でのチラシ配布 (3) 地域での禁煙の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり地区推進員協議会において禁煙標語を募集し、新たに喫煙防止のポスターを作成した。 ・自治連合会に集会所の喫煙状況調査結果を返すとともにポスターを配布し、掲示した。 2 喫煙が及ぼす健康被害について知識の普及啓発 <ol style="list-style-type: none"> (1) 世界禁煙デー啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・世界禁煙デーに合わせ、啓発物展示や市報掲載など啓発を実施した (2) 教材の活用、展示 3 成人の適正飲酒の啓発 <ol style="list-style-type: none"> (1) 特定健診受診ハイリスク者への保健指導 (2) 地区での教育、啓発 <p>【評価】</p> <p>喫煙防止対策・受動喫煙防止では、例年行っているイベントの機会での啓発が実施できなかったが、健康づくり地区推進員会と連携し、たばこに関するポスターを作成し掲示することで、受動喫煙を防ぐ環境づくりの一助になったと考えられる。</p> <p>母子健康手帳交付時に喫煙している妊婦の指導は実施できたが、産婦の再喫煙防止の取り組みが今後の課題である。</p> <p>適正飲酒の啓発については、今後具体的な取り組みの検討が必要である。</p>
歯の健康	<p>【目標】 歯と口の健康を保ちましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 子どもの頃からの歯みがき習慣を身に着ける II 歯科健診を受ける III 生涯を通じて自分の口で食べることができる <hr/> <p>【実施内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯にわたり歯と口の健康のための支援 <ul style="list-style-type: none"> 健康教育（成人 11回 84人）健康相談（成人 2回 11人） 口腔ケア研修会 1回 12人 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業（オーラルフレイル予防教室）3回 21人 2 乳幼児期からのむし歯予防の推進 <ul style="list-style-type: none"> 健康教育（母子 24回 324人）子育て支援センター、子育てサークル等 3 歯科健診の支援 <ul style="list-style-type: none"> ふしめ歯科検診 320人、妊婦歯科健診 545人 6月「歯と口の健康週間」、11月「いい歯の日」にパネル展示をし、ふしめ歯科検診・妊婦歯科健診の啓発、市報6月、11月号に歯科健診等情報掲載。 <p>【評価】</p> <p>妊婦歯科健診、ふしめ歯科健診と合わせて推進することができた。</p> <p>乳幼児から高齢者まで幅広い世代に対して、啓発や健康教育に取り組むことができた。</p>

分野	令和3年度実施内容および評価
疾病の早期発見・早期対策	<p>【目標】 がん検診を受けて、がんの早期発見と早期治療に努めましょう 特定健診を受けて、生活習慣病を予防しましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 定期的にがん検診を受け、要精密検査の場合は必ず精密検査を受診する II がん予防に有効な生活習慣を知り、生活習慣を改善する III 年1回の特定健診を受ける IV メタボリックシンドロームや糖尿病等を予防、改善する V 生活習慣の改善と早期の適切な治療により、生活習慣病の重症化を防ぐ <hr/> <p>【実施内容】</p> <p>1 啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地区組織活動と協働の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ①健康づくり地区推進員活動 検診受診広報 ②食育推進員活動 伝達講習会での検診受診の呼びかけは全日程中止となった (2) 全市の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ①協会けんぽと協働で実施する健診受診啓発のチラシ作成 ②市報や鳥取市LINE（タイムライン）を活用した広報、ぴょんぴょんネットでのPR放送 ③未受診者に効果的な勧奨資材の送付、看護師の訪問による健診受診勧奨 ④健診啓発ポスター・チラシを作成し、乳幼児健診、スポーツジム、体育館、公衆浴場、医療機関、大学、専門学校等へ配布。 ⑤がん検診普及啓発月間と合わせた啓発展示を市立図書館や鳥取市保健所内、鳥取大丸や鳥取駅地下通路で実施。 ⑥国保世帯へ納付書送付時に健診チラシ同封、国保加入時にチラシを配布 ⑦前年度集団検診のインターネット予約者へ健診開始お知らせメール送信 ⑧東部医師会、薬剤師会東部支部に健診強化の協力を依頼 2 体制整備 (1) 集団検診の実施（125回）、集団検診のインターネット予約の実施 休日健診、レディース検診日を設定 (2) 商業施設でがん検診（肺・大腸）と血糖検査（2か所） (3) 協会けんぽ被扶養者健診（中国労働衛生協会）で肺・大腸がん検診同時実施 3 生活習慣病予防対策 (1) ハイリスク者へ戦略的な保健指導の実施 (2) 「受診勧奨域」となった人への訪問指導の実施 (3) 糖尿病予防教室（2回 24人）、糖尿病友の会の支援 (4) 糖尿病食生活教室（4回 45人）、適塩教室（1回 12人） (5) レディース検診時に骨粗しょう症予防の一日の食事メニュー展示、女性の健康週間イベント会場等にリーフレット配布 4 特定保健指導（R2年利用率 36.0%（前年度比-1.6%）、実施率 35.4%（前年度比-2.9%）） 5 その他 (1) 糖尿病＆COPD予防啓発キャンペーン開催 (11/19 鳥取市民交流センター) 総来場者数68人 血糖検査、血管年齢測定、栄養相談、クイズ、パネル展示を実施 (2) がん検診推進パートナー企業へがん検診や喫煙対策に関する内容を掲載したニュースレターを送付 <p>【評価】</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント開催と合わせた啓発等の実施ができなかつた。地域の関係団体や職域等とも連携しながら、引き続き健診受診啓発に努め、受診率向上につなぎたい。</p> <p>生活習慣病予防について、若年層への啓発や教育の取り組みを今後充実させていきたい。</p>

4 小学校訪問の実施と評価

目的

令和2年2月に実施した元気プランアンケートの結果、学童期の就寝時刻の遅延、スクリーンタイムの増加、運動習慣の減少、毎日の朝食摂取者の減少といった課題が表出した。全市小学校の訪問は、こうした学童期の現状を報告し共有することで、元気プランを協同して推進していく体制をつくること、また、第4期鳥取市健康づくり計画の概要について説明し啓発の機会とする目的とする。

【訪問結果】

1. 実施小学校 40校
2. 日程 6月下旬～7月上旬
3. 配布資料
 - ・とっとり市民元気プラン 2021 ・アンケート結果の概要
 - ・乳幼児期の取り組み（6か月・1歳6か月・3歳児健診での配布資料）
 - ・冊子「スマホを持たせるのは遅い方がよい」著者：中山憶良 倉石宗範（東京六法出版）
 - ・とっとり市民元気プラン 2021 ダイジェスト版 ・糖尿病予防チラシ
4. 学校の状況・悩み
 - ・メディアとの関わり
 - ・生活時間の乱れ（就寝時刻の遅れ）
 - ・う歯罹患率、治療率 ・健康意識の格差等
5. 学校での取り組み
 - メディア学習 ○生活頑張り週間
 - 生活習慣アンケート、健康調査 ○個別アプローチ、指導等
 - ・中学校区で独自に、小学校から中学校まで一連の流れで一貫した取り組みを実施されているところもあった
6. 学校からの質問・要望
 - ・メディアとの付き合い方に関しては家庭差が大きく、乳幼児期から積み上げた習慣を改善することは難しい。健診や育児サークルなどの場を利用して引き続きメディアとの付き合い方を啓発してほしい。
 - ・学校保健委員会で、アンケートの結果について少し話をしてほしい。
 - ・学校保健委員会に限らず、何か協力してできることがあればまた相談させていただきながら取り組んでいきたいと思っている等

【訪問の成果】

- ・保健所では保健事業、学校では健康学習、保健指導とそれぞれの立場で取り組んでいるが、両者で課題を共有し、取り組みについて協議したことによって、縦割りではなく、協同の取り組みにつながるきっかけになった。
- ・学童期の課題、学校が抱える悩みを意識した保健事業を推進していくことの重要性を意識することができた。

【今後に向けて】

- ・今回の一斉の小学校訪問を契機に今後も地区の小学校と情報共有を図りながら連携を取り、生活習慣病予防対策を推進していく。
- ・乳幼児期からの生活習慣が、学童期の生活習慣へつながることを改めて意識し、健診や地域での啓発の仕方、重点とする取り組みを検討する必要がある。

III 鳥取市保健所事業概要

平成30年4月、鳥取市保健所を設置した。令和2年4月に健康こども部の組織再編を行い、5月には駅南庁舎へ移転した。

中核市保健所としての法定事務を実施するとともに、県知事の権限事務についても鳥取県から移譲を受けるとともに県東部の岩美郡岩美町、八頭郡若桜町、智頭町、八頭町の保健所業務の委託を受け、県東部の保健所事業等を実施している。

＜鳥取県東部医療圏の概況＞

① 位置



② 人口・世帯

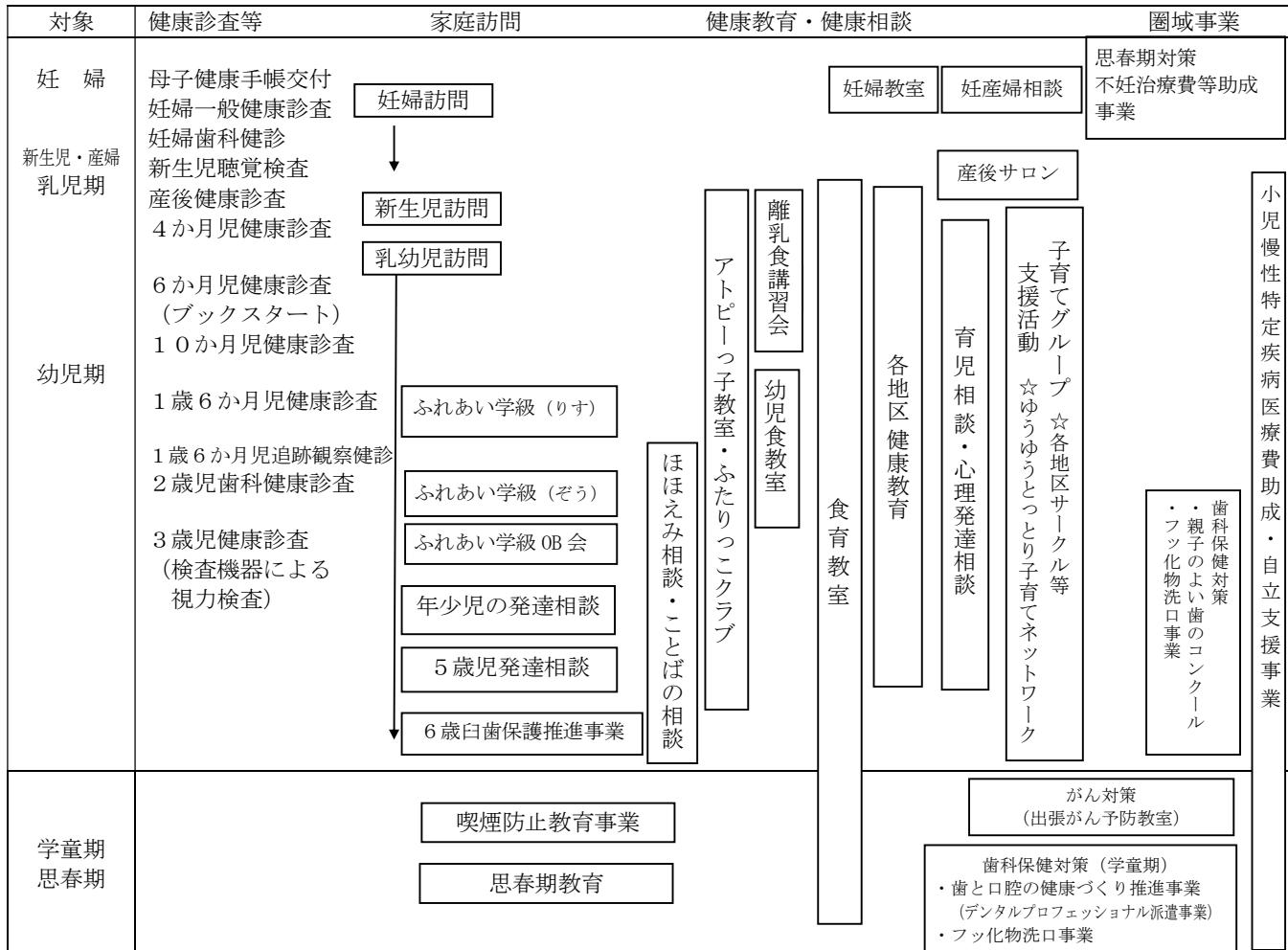
市・町		人口(人)			世帯数(世帯)	高齢化率(%)
		総数	男	女		
鳥取市		187,238	90,767	96,471	77,411	29.62
4 町	岩美町	10,655	5,123	5,532	3,907	38.30
	若桜町	2,767	1,310	1,457	1,159	50.02
	智頭町	6,251	2,926	3,325	2,341	44.66
	八頭町	15,618	7,437	8,181	5,313	37.02
計		222,529	107,563	114,966	90,131	31.23

出典：鳥取県統計課公表「鳥取県推計人口（令和3年10月1日現在）」

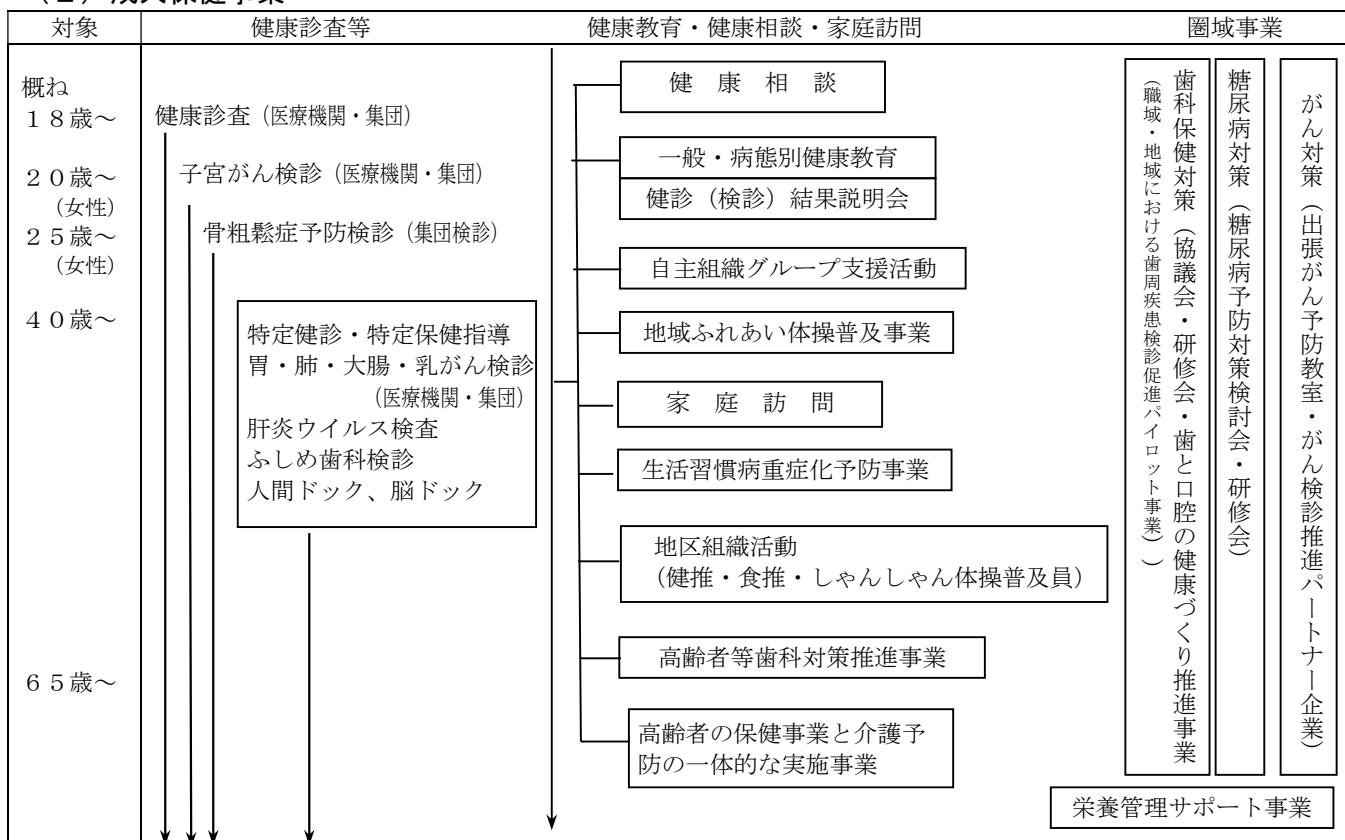
健康・子育て推進課に関する事業

1 保健事業一覧

(1) 母子保健事業



(2) 成人保健事業



2 母子保健事業

[目的] 「すべての子どもたちが健やかに育ち安心して子育てできるまち」の実現を目指す。

- [目標]
- ① 妊娠期からの継続した子育て支援と地域の支援団体のネットワーク化を推進する。
 - ② 乳幼児期からのより良い生活習慣の確立を目指した指導の充実を図る。
 - ③ 乳幼児期から就学までの発達支援体制の充実を図る。

事業名		内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
母子健康手帳交付 (交付場所での統計)	妊娠届出数	1,317	1,159	6	75	18	11	2	28	12	6	
	多胎	29	24	1	2	2	-	-	-	-	-	-
妊婦相談（初回） (転入者含む)	来所 実	1,294	1,157	5	73	13	8	3	24	7	4	
	電話 実	68	45	1	3	3	3	-	5	6	2	
栄養食品支給 (対象: 非課税世帯等)	妊娠婦	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳児	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪問指導	妊産婦・新生児訪問 (乳児家庭全戸訪問含む)	妊婦 実	9	4	-	1	-	-	-	4	-	-
		妊婦 延	13	5	-	3	-	-	-	5	-	-
		産婦 実	1,249	819	11	307	27	15	6	35	16	13
		産婦 延	1,304	850	12	316	34	15	6	42	16	13
		新生児 実	1,269	829	11	308	29	15	6	43	14	14
		新生児 延	1,310	849	11	316	33	15	6	52	14	14
	乳幼児訪問 (健診後の個別対応等)	乳児 実	19	11	-	4	-	2	-	-	1	1
		乳児 延	35	17	1	5	2	2	-	2	1	5
		幼児 実	67	54	1	9	1	-	1	1	-	-
		幼児 延	79	63	1	12	1	-	1	1	-	-
		その他 実	34	22	4	7	-	-	-	1	-	-
		その他 延	49	29	11	8	-	-	-	1	-	-
	再掲: 未熟児	実	34	17	-	13	1	-	-	3	-	-
	計	実	2,647	1,739	27	636	57	32	13	84	31	28
		延	2,790	1,813	36	660	70	32	13	103	31	32
健康相談	来所相談	妊産婦 延	1,447	1,284	14	84	15	10	9	25	5	1
		乳幼児 延	1,994	1,848	6	60	3	19	20	20	2	16
		その他 延	31	15	3	-	-	7	1	2	1	2
		計	3,472	3,147	23	144	18	36	30	47	8	19
	電話相談	計 延	1,814	1,162	32	357	62	60	18	73	28	22
	地域子育て相談	開催数	71	16	11	3	4	11	-	14	8	4
		実人員	217	57	17	9	21	28	-	47	23	15
		延人員	377	59	67	9	26	47	-	104	46	19

【地区(個別)・施設訪問相談】

妊産婦 延	乳幼児 延	未熟児 延	その他 延	合計
2	13	-	-	15

【健康診査】

事業名	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
6か月児健康診査	回数	60	36		12	6			6		
	受診者数	1,302	843	19	312	27	11	1	53	19	17
	フォロー数	261	163	2	77	4	-	-	6	4	5
乳児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	47	38		6	1	-	-	1	-	1
	配布数	1,313	868		316	27	11	1	54	19	17
ブックスタート (6か月児健診、訪問時配布等)	配布率	99.6%									
	回数	59	35		12	6			6		
1歳6か月児健康診査	受診者数	1,329	849	13	328	31	14	4	46	20	24
	フォロー数	432	289	3	104	6	3	1	10	9	7
	フッ素塗布者数	1,269	810	13	311	28	14	4	44	20	25
1歳6か月児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	45	35	1	5	-	-	-	2	-	2
1歳6か月児追跡観察健診	受診者数	141	107		29	2			3		
2歳児歯科健康診査	回数	46	24		12	4			6		
	受診者数	1,198	784	14	285	22	14	4	34	19	22
	受診率	88.5%									
3歳児健康診査	フッ素塗布者数	1,162	761	14	277	20	14	4	33	17	22
	回数	58	36		12	4			6		
	受診者数	1,417	931	22	310	28	22	4	56	18	26
3歳児精密健康診査 (精密医療機関委託)	フォロー数	451	277	9	108	11	8	1	17	7	13
	受診者数	198	118	5	46	6	5	1	7	5	5

*健康診査は住所地での統計である。

【医療機関委託健診】

	妊婦一般健康診査	妊婦健診時の子宮がん検診	歯科健診	産後健診	乳児健康診査	
					3~4か月	9~10か月
受診者数	延 17,385 ※内多胎 実0 延0	実 1,266 ※要精査者 23	545	実1,343 延2,244	1,301	1,250

【費用助成検査事業】

新生児聴覚検査
1,093 ※要観察者58

【地域支援会議】

事業名	内容	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	西地域
会議	地域子育て支援に関する会議	開催数	27	3	-	13	-	-	3	4	-	2	2
		延人員	138	20	-	49	-	-	25	8	-	7	29

【健康教育】

(地域子育て支援 : 全市)

事業名	ふたりっこクラブ	親子教室 ふれあい学級：りす	親子教室 ふれあい学級：ぞう	アトピーっ子教室
開催回数	9	9	7	2
延人数	177	110	73	23

(地域子育て支援 : 支所地域)

事業名	東地域 赤ちゃんサロン	南地域 親子ふれあい事業
開催回数	11	3
延人数	120	33

【健康教育】

事業名	内容	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
離乳食講習会	離乳食講話と実演	開催数	40	22		11	3			4		
		延人員	418	298		78	17			25		
食育教室	幼児食教室・サークル	開催数	21	18	-	3	-	-	-	-	-	-
		延人員	180	162	-	18	-	-	-	-	-	-
	その他(保・幼・小中高その他)	開催数	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-
		延人員	58	40	-	18	-	-	-	-	-	-
地域子育て支援	サークル等(地区)	開催数	44	32		8	4					
		延人員	615	455		86	74					
	支援センター・児童館など	開催数	23	6	5	-	-	-	-	4	8	-
		延人員	295	72	65	-	-	-	-	66	92	-
	その他(ファミサポ等)	開催数	4	3	-	-	-	-	-	-	-	1
		延人員	53	46	-	-	-	-	-	-	-	7
歯科教育	保育所・サークル等	開催数	24	20	1	3						
		延人員	324	277	12	35						
6歳臼歯保護推進	歯科医師講話、指導(各園)	開催園	43	26	1	10	1	1	1	2	1	-
		年長児	1,059	554	20	332	45	18	5	57	28	-
		保護者他	643	348	12	176	25	20	7	41	14	-
学校保健関係	講演等(小学校)	開催数	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-
		実人員	98	46	-	45	7	-	-	-	-	-

(1) 子育て世代包括支援センター(こそだてらす)

○父親への妊婦体験：母子健康手帳交付時に父親を対象に妊婦スーツでの妊婦体験を実施(68人)

○全妊婦相談：全妊婦(1,365人 内転入48人含む)を対象に身体や生活面の相談にのる。

・質問票回答率(99.9%) ・妊婦相談(電話含む)の実施者(実施率99.8%)

○子育て包括支援会議：全妊婦相談を基に生活背景等を確認し、支援の必要性を検討する。

・ケース検討会議：65回(中央51回、東5回、西6回、南3回)

こそだてらす助産師、こども家庭相談センター(以下こ家相)保健師。各支所は保健師複数でも検討。

*関係機関と連携を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する。

令和3年度	要支援者数(率)	中央	福部	東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
要支援者妊婦(実)	359 (26.3%)	314	2	22	8	1	-	6	5	1
電話のみ希望妊婦(実)	121 (8.9%)	109	2	6	2	-	-	2	-	-

<令和2年度 妊産婦・乳幼児支援の状況>(R2年4月1日～R3年3月31日母子健康手帳交付者・転入者)

支援開始時期	妊娠期支援(R2.4～)					新生児訪問					6か月児健診(~R4.5受診)			備考		
	対象	妊娠期支援	未実施理由	支援者		訪問	訪問者			継続支援		受診者	継続支援必要	未受診		
				こそだてらす	保健師		母子保健推進員	保健師	こ家相同伴	必要	不要					
母子健康手帳交付時等 518	要支援者 379	358	電話つながらず12、電話できず3、出生6	26	275	57	349	48	214	87	226	123	334	126	208	3
		94.5%	7.3%	77.0%	15.9%	%										転出20 出生なし 18未訪問1 など
	希望者 139	127	電話つながらず10、電話できず1、出生1	108	19	-	129	93	33	3	34	95	135	13	122	-
		91.4%	85.0%	15.0%	-		※1 20	4	13	3	14	6	20	9	11	-
新生児訪問時 142							142	38	97	7	84	58	137	44	93	1
6か月児健診時 23							※1 61	10	48	3	37	24	58	16	42	1
													※2 23	15	8	

※1 再) エジンバラ質問票 事後有

※2 新生児訪問以後、支援対象となった方(産後ケア事業の利用等含む)

(2) 妊婦教室・産後健康健診

①妊婦教室

[目的] 産科医療機関では、感染症対策のため妊婦教室が開催されていない現状を受け、初めての出産を迎える妊婦を対象に妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、また妊婦同士の交流を通して悩みや不安を軽減・解消する。

[回数] 7回 [参加者] 77人
 [内容] ミニ講話、実技(抱き方、おむつ交換)、グループワーク
 [個別] 14回(実9人)

②産後健康診査

[対象] 産後8週以内の褥婦に対し1人あたり1~2回実施する

2回の実施は医師及び助産師が受診が必要と認めた褥婦と受診を希望する褥婦

[受診状況]

【産後2週目】 ※2回実施のうち1回目の実施

【産後4週目】 ※産後健診1回のみ実施

2回実施のうち2回目の実施

受診者数	再掲) 里帰り出産等で協力医療機関以外での受診者
899	11

(単位:人)

受診者数	再掲) 里帰り出産等で協力医療機関以外での受診者
1,344	25

(単位:人)

エジンバラ産後うつ病質問票点数	件数	再掲) 市町村の支援の必要性「有」
8点以下	802	30
9点	17	17
10点~14点	60	59
15~19点	15	15
20~24点	4	4
25点以上	1	1
合計	899	126

エジンバラ産後うつ病質問票点数	件数	再掲) 市町村の支援の必要性「有」
8点以下	1,243	101
9点	23	23
10点~14点	65	65
15~19点	9	8
20~24点	3	3
25点以上	1	1
合計	1,344	201

エジンバラ産後うつ病質問票のうち、下記項目の回答状況	件数	再掲) 市町村支援の必要性「有」
【10】自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた		
はい、かなりしばしばそうだった	2	2
時々そうだった	11	11
めったになかった	25	25
全くなかった	861	88
合計	899	126

エジンバラ産後うつ病質問票のうち、下記項目の回答状況	件数	再掲) 市町村支援の必要性「有」
【10】自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた		
はい、かなりしばしばそうだった	3	3
時々そうだった	12	11
めったになかった	43	41
全くなかった	1,286	146
合計	1,344	201

総合判定	件数
異常なし	770
経過観察	125
要精密検査	1
要治療	3
合計	899

精神科への紹介数
1

総合判定	件数
異常なし	1,193
経過観察	147
要精密検査	1
要治療	3
合計	1,344

精神科への紹介数	再掲) 1回目の健診時8点以下で支援不要とされた件数
1	-

(3) 訪問指導

①新生児訪問(乳児家庭全戸訪問事業含む)

[目的]

新生児期から生後満4か月までの乳児の家庭を訪問し、母子の状況や養育環境等を把握して子育てに関する助言および情報提供を行うことで、保護者が安心して子育てできるよう支援する。必要に応じて継続相談を受け、適切なサービスを提供し母子の孤立化を防ぐ。

【訪問状況】

対象数	訪問数	訪問率	再掲) 他市町への訪問依頼
1,321人	1,283	97.1%	20人

未訪問理由	人数	訪問拒否の状況把握・対応	人数
拒否	15	来所相談	10
出生後早期の転出	5	こども家庭相談センター相談中	1
入院中	6	保護者のみ面会	3
その他	12	保護者や親族等に電話で確認	1
合計	38	合計	15

* 未訪問理由のその他12には、コロナ蔓延のため里帰り期間が延びた4件、来所対応に変更3件を含む

②未熟児訪問指導(令和3年度中の養育医療申請児)

養育医療申請者	家庭訪問
34件(実31人)	24人

未訪問7人

未訪問の状況	人数
入院中・日程調整中	4
訪問拒否	3
合計	7

(4) 乳児の集い

①産後サロン～ひだまりサロン～（鳥取市保健所）

[目的] 産後間もない母親と赤ちゃんが交流する場を作り、子育ての不安解消及び育児支援を行う。

[対象] 中央地域で出生した赤ちゃんと母親（第1子 7か月未満）

[スタッフ] 助産師、保健師、子育てボランティア

[回数] 19回（毎月1～2回）※8月は中止

[内容] 計測、育児相談、母親同士の交流、

ふれあい遊び等

[参加者] 実111組、延243組

・産後健康診査でエジンバラの値が高かった参加者は27.9%だった。

[アンケート] 産後サロンでは児が6か月になる卒業時と1歳になる月にアンケートを実施している。

（卒業時アンケート）

・参加者の満足度は、「とても満足」が59.3%「まあまあ満足」が38.9%「やや不満」「不満」が0%「未記入」が1.8%であった。感想として、楽しかった、気分転換になった、1歳以降も開催してほしい等の意見があった。

（1歳アンケート）

・育児の悩みの内容は「育児に自信がもてない」が33.3%「育て方がわからない」が30.2%で、半数を占めていた。コロナ禍でも開催されたことが有難かったという意見もあった。

②赤ちゃんサロン（鳥取東保健センター）

[目的] 地域の中で、安心して子育てできるよう保護者同士や地域とのつながりを持てる場所として開催。また、育児・栄養相談や保護者同士の交流等を通して、子育ての不安解消及び育児支援を行う。

[対象者] 東地域で出生したお子さん（生後8か月までの第1子）とその保護者

[内容] 每月1回実施※8月は中止

ふれあい遊び、保護者同士の交流（座談会）、身体計測、育児相談、栄養相談

参加実人員	個別相談件数	初参加平均月齢
46組 (延120組)	育児：延20件 栄養：延21件	4.7か月 (生後1～8か月)

*中学校区…

国府中17組、桜ヶ丘中18組、東中11組

*8か月以降のお子さんについては、地域のサークルや支援センターを紹介し、地域へつなげていく場としている。

[アンケート] 初参加時とお子さんが1歳になる月に実施。

【初参加時アンケート】サロンへの参加動機として子育て情報の入手や保護者同士の交流、気分転換という意見が多くかった。

【1歳アンケート】サロンでの紹介をきっかけに育児サークルや支援センターを利用された方が55%と、地域につなげていく場となっている。

③こんにちはの会（南部地域）

[目的] 保護者同士の交流の場を持つことで、子育ての孤立化を防ぎ、地域とのつながりがもてる場とする。また、ふれあい遊びを通して、保護者が子どもとの関わり方・ふれあう楽しさを学べたり、計測や育児相談を通して、保護者の不安解消や育児支援の一助とする。

[対象者] 離乳食講習会に参加する3～7か月児と保護者

[回数] 3か月に1回（5, 8, 11, 2月）※8月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

[内容] わらべうたやふれあい遊び、計測、育児相談、保護者同士の交流

	参加数（実）	参加率
南部の合計	15組	34.9%
河原	10組	33.3%
用瀬	4組	36.4%
佐治	1組	50.0%
南部以外	1組	—

参加者の状況として、第1子の参加率は50%だった。参加時の月齢は5か月が50%と最も多く、次いで4か月が25%だった。参加者の62.5%は核家族だった。

アンケートより、「育児に自信がもてない」と回答した保護者も「ふれあい遊びは楽しめた。他の家族と触れ合える場に参加できてよかったです。こうやって月齢の近い子どもに会える機会が少ないので嬉しかった。」等感想にあり、ふれあい遊びも保護者の育児支援の一助となっている。また、必要に応じて、地域の子育て支援センターの紹介も行い、地域につなぐ場となっている。

参加者	核家族	実家が市外	要支援者
実 111 組			
延 243 組	66.7%	23.4%	10組

参加者の月齢（延）					
1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月
6.3%	27.0%	22.6%	24.3%	15.3%	4.5%

(5) 6か月児健康診査

①一般健康診査

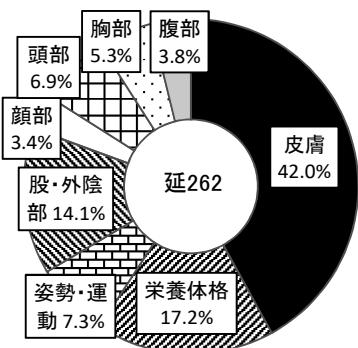
【受診者】

対象者数	1,317
受診者数	1,302
受診率	98.9%

【受診結果】

区分	健康	要経過観察	要精密	要治療	既医療
人数	1,077	63	55	17	90
225					

【所見内容別受診結果】



*有所見を区別別にみると、最も多いのは「皮膚」110件（42.0%）次いで「栄養・体格」が45件（17.2%）であった。

*平成15年度から6か月児健診時にブックスタートが始まった。ボランティアや図書館のスタッフによる絵本の読み聞かせやわらべたの後、絵本やアドバイス集を全員に配布している。未受診者にも訪問などで絵本を直接手渡すようにしており、鳥取市に生まれたすべての赤ちゃんが、親子で楽しいひとときを過ごせるように支援をしている。

②精密健康診査

【受診結果】

(単位：延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	体重増加不良	4	4	1	-	3	-	-
	その他	3	3	1	-	2	-	-
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	アトピー	-	-	-	-	-	-	-
	血管腫	-	-	-	-	-	-	-
	貧血	5	5	2	-	1	1	1
	その他	3	3	-	-	3	-	-
頭顔部	大頭	2	2	-	-	1	1	-
	斜視	4	3	2	1	-	-	-
	聴力	-	-	-	-	-	-	-
	その他	3	1	-	-	-	1	-
胸部	心雜音	2	2	1	-	1	-	-
	乳房腫大	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
腹部	ヘルニア	-	-	-	-	-	-	-
	肝腫大・脾腫	3	3	1	-	-	2	-
股・外陰部	股関節開排制限	11	9	6	1	2	-	-
	停留睾丸	3	3	-	-	1	1	1
	その他	10	7	2	-	-	1	4
姿勢・運動	姿勢運動の遅れ	1	1	-	-	1	-	-
	低緊張	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	2	-	1	-	-	1
合 計		56	48	16	3	15	7	7
(実 入 員)		55	47					

*精密健康診査の受診率は、85.5%であった。

【令和3年度配布絵本】

第1子用：「いないないばあ」「くだもの」

第2子用：「ととけっこうよがあけた」「どうぶつのおかあさん」

差し替え用絵本：「じゃあじやあびりびり」「よくきたね」「ぴょーん」「まるてんいろいろ」「がたんごとん」「くっついた」「おつきさまこんばんは」「ごぶごぶごぼごぼ」「おひさまあはは」



(6) 1歳6か月児健康診査

①一般健康診査

【受診者】

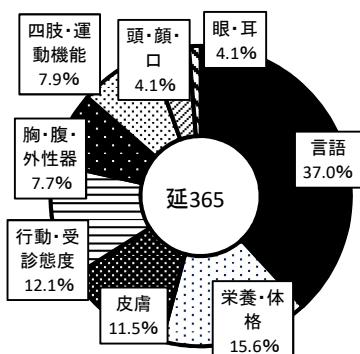
対象者数	1,341
受診者数	1,329
受診率	99.1%

【受診結果】

区分	健康	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
人数	1,023	167	52	3	84

306

【所見内容別受診結果】



*有所見を区別別にみると、最も多いのは「言語」の135件(37.0%)次いで「栄養・体格」が57件(15.6%)であった。

【心理発達相談結果】

区分	相談者数	心理発達相談結果		
		特になし	助言指導	経過観察
人数	86	7	3	76

②精密健康診査

【受診結果】

(単位: 延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	低身長・小柄	6	6	-	-	4	2	-
	その他	3	2	-	-	1	-	1
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	アトピー	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	2	1	-	1	-	-
頭・顔・口	大頭	1	1	-	-	1	-	-
	その他	2	2	-	-	1	1	-
胸腹部・外性器	心雜音	2	2	1	-	1	-	-
	ヘルニア	2	2	-	-	-	1	1
	停留睾丸	-	-	-	-	-	-	-
	その他(肝肥大、しこり)	11	9	2	1	2	2	2
四肢・運動機能	歩行	1	1	-	-	-	1	-
	運動発達の遅れ	2	1	-	-	-	1	-
	その他(0脚)	5	4	2	2	-	-	-
言語	言葉の遅れ等	7	5	-	-	3	2	-
行動	多動	-	-	-	-	-	-	-
発達	発達の遅れ等	2	1	-	-	1	-	-
眼・耳	斜視・眼瞼下垂	7	7	2	2	2	-	1
	聴力	3	3	1	1	-	1	-
	その他	1	1	1	-	-	-	-
合 計		57	49	10	6	17	11	5
(実人員)		52	45	* 精密健康診査の受診率は86.5%であった。				

③健診の未受診者状況

未受診理由	人
翌年度に受診	-
他受診(医療機関・他自治体)	1
児の病気・治療中・観察中	2
転出	2
家族の都合	5
連絡つかず	-
その他	2
合計	12

*未受診者は12人(0.9%)であった。

*未受診者には訪問・電話で受診勧奨し、状況を把握するよう努めている。

(7) 1歳6か月児追跡観察診査(2歳児健康診査)

【受診者数】

対象者数	受診者数	(再掲) 2歳児心理発達相談
149	141	31

【受診理由】

区分	言語	理解	行動面	体格	歩行	その他
延人数	102	32	6	8	1	-

【受診結果】

区分	異常なし	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
実人数	90	36	13	-	2

*受診理由として「言語」「理解」等の発達に関することが多く、健診時の心理相談又は健診終了後のカンファレンス等で経過観察が必要と思われる対象者に心理士による心理相談を主とした2歳心理発達相談を実施した。

(8) 3歳児健康診査

①一般健康診査

【受診者】

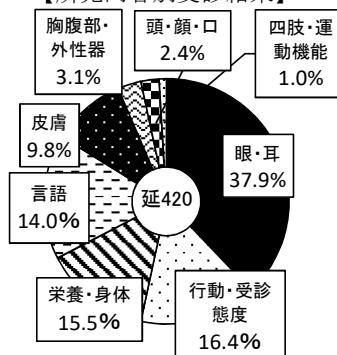
対象者数	1,437
受診者数	1,417
受診率	98.6%

【受診結果】

区分	異常なし	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
人数	1,043	58	239	1	76

374

【所見内容別受診結果】



②精密健康診査

【受診結果】

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	低身長・小柄	20	17	3	-	13	1	-
	肥満	3	2	-	-	1	1	-
	貧血	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
頭・顔・口	大頭	6	5	2	1	2	-	-
	その他	3	3	1	1	1	-	-
胸腹部・外性器	心雜音	2	2	-	-	2	-	-
	停留睾丸	2	1	-	-	1	-	-
	小陰唇癒着	1	-	-	-	-	-	-
	その他	2	1	1	-	-	-	-
四肢・運動	O脚、X脚、内反足	-	-	-	-	-	-	-
	歩行	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
言語	言語の遅れ等	17	12	1	-	6	4	1
行動	多動等	-	-	-	-	-	-	-
発達	発達の遅れ等	-	-	-	-	-	-	-
眼・耳	斜視、乱視、視力	184	136	22	5	66	21	22
	聴力	35	19	10	1	2	3	3
	その他	13	6	1	1	3	1	-
尿	尿検査	9	8	3	-	5	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
合 計		298	212	44	9	102	31	26
(実人數)		275	198					

*精密健康診査の受診率は、72.0%であった。

③健診の未受診者状況

未受診理由	人
翌年度に受診・受診予定	3
他受診（医療機関・他自治体）	1
児の病気・治療中・観察中	4
転出	-
家族の都合	3
連絡つかず	1
その他	8
合 計	20

*未受診者には、訪問・電話等で受診勧奨をし、状況を把握するよう努めている。

*「その他」の理由としては、「コロナウイルス感染症が怖く、集団の場を避けたいため」、「海外へ滞在しているため」であった。

④視力検査器による視力検査

【受診結果】

	疾患名	異常なし	助言指導	追跡観察	精密検査	要治療	計（延）
検査器	乱視	7	-	16	3	4	30
	弱視	-	-	9(9)	12(9)	10	31(18)
	遠視	-	-	6	1	1	8
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	-	3(1)	5(1)	-	8(2)
	異常なし	3	-	-	-	-	3
絵指標	乱視	1	1	11	-	-	13
	弱視	3(3)	-	9(9)	2(2)	-	14(14)
	遠視	-	1	5(1)	-	-	6(1)
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	-	1	-	-	1
	異常なし	1	-	-	-	-	1
両方	乱視	-	-	2	-	2	4
	弱視	-	-	3(3)	1(1)	8	12(4)
	遠視	-	-	1	-	-	1
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	-	1	-	-	1
	異常なし	-	-	-	-	-	-
計（延）	乱視	8	1	29	3	6	47
	弱視	3(3)	-	21(21)	15(12)	18	57(36)
	遠視	-	1	12(1)	1	1	15(1)
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	-	5(1)	5(1)	-	10(2)
	異常なし	4	-	-	-	-	4

*（ ）は疑いのあるものを再掲。

* 3歳児健康診査受診結果が要精密だった298人のうち、眼科領域で要精密となったのは184人（61.7%）であった。

乱視：両混合性乱視、両遠視性乱視、両近视性乱視 等

弱視：不同視弱視、屈折異常弱視 等

(9) 健康相談・健康教育

①全市の発達相談事業

目的：乳幼児期の発達が気がかりな児と保護者を対象に、保護者の不安軽減や児への発達支援を目的とし、医師、心理士、言語療法士による相談を実施している。

心理発達相談	心理士	来所相談			訪問相談					
		回数	実人数	延人数	回数	実人数	延人数			
		47	47	47	0	0	0			
ほほえみ相談	小児科医	回数	実人数	相談結果						
				助言	追跡観察	要医療	要精密	要療育		
	心理士	4	7	0	4	2	0	1		
ことばの相談	言語聴覚士	回数	実人数	相談結果						
				助言	追跡観察	要医療	要療育			
	心理士	4	9	1	6	1	0	3		
年少児発達相談	心理士	回数	実人数	相談結果						
				助言	追跡観察	要医療	訓練紹介			
	心理士	7	7	1	6	0	0	0		
5歳児発達相談	小児科医	回数	実人数	相談結果				心理	就学相談 事後紹介 事後で医療紹介	
				健康	助言	追跡観察	医療受診			
	小児科医	17	64	4	1	43	16	0	18	48

<5歳児発達相談>

- ・鳥取市内の保育園、幼稚園に在園している年長児、年中児に案内を行った。
- ・参加者の内訳は、年長児27人、年中児37人であった。
- ・医師の診察所見の結果では、ADHD疑30人、ASD疑23人、MR疑15人、発達性強調運動障害疑10人
その他（構音障害、愛着障害疑、LD疑 等）16人であった。（重複あり）
- ・健診時に発達の心配を把握されていた児は1歳6か月児健診で55.2%、3歳児健診で61.7%あった。
- ・5歳児発達相談に園の先生が同伴された児は62人（96.9%）であった。

○5歳児発達相談事業検討会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議にて開催（令和4年3月）

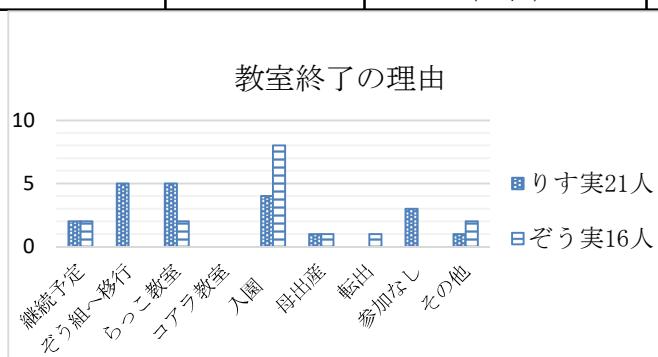
[参加者]医師、こども発達支援センター所長、健康・子育て推進課長、保育士、心理士、保健師

[内容]5歳児発達相談の実施結果をもとに事業の振り返りを行い、実施方法や内容について検討した。事業の目的や次年度の実施体制を共有した。

②ふれあい学級（幼児学級）

健診等で要追跡観察となった幼児の発達支援と育児不安を抱える保護者支援を目的に、2歳前後をりす組、3歳前後をぞう組として月1回実施している。

	開催回数	対象者 実	参加者 実	参加者 延
りす組	各組月1回 (令和3年度は 年間16回実施)	42人 (21組)	41人 (18組と他5名)	110人 (49組と他12名)
ぞう組		32人 (16組)	33人 (15組と他3名)	73人 (33組と他7名)



*コロナ禍であり、例年より少ない年間16回の実施となった。昨年度同様、母の育児不安の増強・母子の孤立を防ぐため、対象者を10組程度に制限し、時間を短縮して実施。

*ぞう組の人数が少なかったため、りす組を2クラスに分けた形で実施。概ね1歳代の児をりす組、2-3歳代の児をぞう組とした。

*スタッフ：保育士、保健師、臨床心理士、言語聴覚士、こども発達支援センター・若草学園スタッフ

③ふれあい学級OB会

ふれあい学級ぞう組終了後の発達状況や集団での適応状況を確認し、今後の支援の必要性を検討することを目的として、平成30年度より開始した。令和3年度は、令和元年度・令和2年度にぞう組だった児を対象に実施予定であったが、大雪警報のため中止。地区担当保健師が保護者に電話し、近況について聞き取りを行った。

対象月齢	対象者	出席予定者
年少児	14人（7組）	6人（3組）
年中児	16人（8組）	8人（4組）

*保護者へ連絡がとれた方で支援のニーズを話された方は4名。その後心理相談へつながった方は2名であった。あと2名は支援学級・療育についての相談であり、地区担当保健師が継続して対応した。

*こちらが気にかけていても、電話で保護者に心配ないと言われると積極的介入が難しい。実際に児の姿をみて母と話ができる環境が望ましいため、来年度は実施をしたい。



④育児セミナー（西部地域）

ねらい	育児の知識や親同士の交流を深め、地域の中で温かく見守られることにより、安心して子育てができ、親子のふれあいを通して健やかな子育てに繋がるような支援の場とする。
対象	令和2年度生まれの児の保育に関わる方すべて(対象児：気高63人、鹿野26人、青谷16人)
内容 ※情報 交換 を含む (毎回)	<p>第1回：講演①「親と子の生活習慣」保健師</p> <p>②「子どもの心と身体を育てる食卓・食事」栄養士</p> <p>第2回：講演・実技「ベビーヨガリズム」 Fitness Ja~んぐる 健康運動実践指導者 岸田 真美氏</p> <p>第3回：講演 「パパも一緒に 子育て親育ち」 鳥取県立図書館 司書 高橋 真太郎氏、家庭教育アドバイザー山田 節子氏</p> <p>第4回：講演・実技「みんなわが子☆じげの子☆地域の宝」 鳥取市西部地域の子育て支援者のみなさん (読み聞かせボランティア、主任児童委員、子育て支援センター職員、子ども食堂ボランティア、図書館司書、ファミリーサポートセンター職員)</p>
	上記のとおり企画をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため全4回を中止とした。 特にコロナ禍では、社会との接点の減少や家族の感染、健康への心配等から出産・子育てに関する不安やストレスの増大、孤立した育児が課題となっている。育児セミナーの中止の代替えとして、孤立した育児を防ぐことと第4回目に企画していた地域の子育て支援者紹介を兼ね、西部地域子育て支援者連絡会の会員に協力を依頼し、西部地域子育て支援情報をA3両面にまとめて対象者に通知した。保護者が子育て支援情報の把握により、少しでも地域とつながる機会を得ることにつながると期待したい。 次年度はコロナ禍でも開催できる形を検討し、育児についての教育や親子の集いの場・支援の場を提供していきたい。
評価	<p>「西部地域子育て支援のご紹介」↓</p>

(10) 鳥取市の母子保健を取り巻く状況

①家族状況（令和2年国勢調査より）

	件数（戸）	%
核家族の割合	39,713	51.7

②母子健康手帳交付時の妊婦の週数と喫煙状況（令和3年度鳥取市母子管理カードより）

	満11週以内		満12～19週		満20～27週		満28週～分娩まで		分娩後		不詳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
妊娠週数	1,270	96.5	42	3.2	3	0.3	2	0.2	0	0.0	0	0.0

	喫煙者数（人）	%
妊婦の喫煙状況	24	1.9

(1,317人中)

③出生時の状況（令和2年人口動態調査より）

	2,500g以上		2,500g未満		再) 2,000g未満		不詳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出生体重	1,217	89.6	141	10.4	30	2.2	0	0.0

	第1児		第2児		第3児		第4児以降	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出生順位	631	46.5	473	34.8	193	14.2	61	4.5

	20歳未満		20歳～24歳		25歳～29歳		30歳～34歳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出産時の母の年齢	20	1.5	125	9.2	342	25.2	471	34.7

(1,358人中)

④乳幼児健診問診・アンケート項目より抜粋

項目	内容	6か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
		実数	%	実数	%	実数	%
昼間の主たる保育者	母	1,180	90.8	389	29.3	162	11.4
	その他の家族	7	0.5	29	2.2	12	0.8
	集団保育	109	8.4	904	68.1	1,231	86.9
	その他	4	0.3	5	0.4	11	0.8
事故で入院(受診)の有無	あり	49	3.8	7	0.5	15	1.1
児のアレルギーの有無	あり	95	7.3	125	9.4	110	7.8
児がテレビを見ているか	2時間以上			275	21.2		
	2時間未満			933	71.8		
	見せていない			91	7.0		
児へ絵本を読んであげる頻度	毎日						
	週3～4回						
	週1～2回						
	ほとんど読まない						
児の起床時間・就寝時間	起～7時			1,208	91.0	1,290	91.0
	8時			101	7.6	115	8.1
	9時～			18	1.4	11	0.8
	就寝～20時			331	24.9	174	12.3
	21時			787	59.3	746	52.6
喫煙率	22時～			209	15.8	496	35.0
	あり	574	44.1	544	40.9	662	46.7
育児の楽しさ	楽しい	1,066	82.2	990	74.8	899	63.4
	ときどき楽しくない	227	17.5	321	24.3	495	34.9
	あまり楽しくない	4	0.3	12	0.9	18	1.3
保護者の育児の悩み	悩みはない	260	20.0				
	悩んでも解決できる	838	64.6				
	悩んでいる	184	14.2				
	悩みたくない	15	1.2				

令和3年度結果(テレビを見ている頻度)3種

頻度	実数	%
毎日	275	21.2
週3～4回	933	71.8
週1～2回	91	7.0
ほとんど読まない	110	8.3

令和3年度結果(育児の悩み)6種

悩み	実数	%
悩みはない	1,208	91.0
悩んでも解決できる	101	7.6
悩んでいる	18	1.4
悩みたくない	331	24.9
悩みたくない	787	59.3
悩みたくない	209	15.8

項目	内容	6か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
		実数	%	実数	%	実数	%
母の産後の気持ちの落ち込み	現在は症状がない	414	31.8	なし		63	
	現在も症状がある	53	4.1	あり(今も症状あり)	1	1	
悩みや育児の相談者	あり	1,300	99.8	あり(今は症状なし)	30	23	
	内訳(延)	100 88.6 81.3 29.2 33.2 26.7 配偶者	85.1 74.6 71.5 63.3 56.9 58.2 配偶者の父母	1,316 99.0	1,407 99.3	28.2 36.7 14.3 7.2 13.7 7.8 小児科医 保育士 保健師 その他	8.3 9.0 2.6 11.3 6.3 2.6 ※6健 ■1.6健 ▨3健

令和3年度結果(産後の気持ちの落ち込み)6健

令和3年度結果(育児の相談者)

⑤健やか親子21 アンケート項目抜粋

項目	内容	3~4か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
		実数	%	実数	%	実数	%
産後1ヶ月間に十分にケア・指導が受けられたか	はい	1,128	87.5				
	いいえ	18	1.4				
	どちらともいえない	143	11.1				
地域で子育てしていきたいか	そう思う	1,007	78.1	971	73.5	1,038	73.3
	どちらかといえばそう思う	258	20.0	321	24.3	341	24.1
	どちらかといえばそう思わない	24	1.8	21	1.6	25	1.8
	そう思わない	2	0.1	8	0.6	6	0.4
ゆったりとした気持ちで子育てをしているか	はい	1,206	93.3	1,057	80.0	1,099	77.6
	いいえ	7	0.5	30	2.3	41	2.9
	なんとも言えない	80	6.2	233	17.7	268	18.9
育てにくさを感じるか	いつも感じる	2	0.2	9	0.7	14	1.0
	時々感じる	109	8.5	251	19.0	438	30.9
	感じない	1,177	91.3	1,062	80.3	962	67.9
父親の育児への参加	よくやっている	932	73.4	864	68.2	924	65.2
	時々やっている	284	22.4	328	25.9	347	24.5
	ほとんどしない	31	2.4	42	3.3	48	3.4
	何ともいえない	23	1.8	33	2.6	33	2.3
妊娠中の飲酒	あり	7	0.5				
妊娠中の喫煙	あり	20	1.6				
現在の母の喫煙	あり	39	3.0	50	3.8	90	6.4
現在の父の喫煙	あり	409	32.1	406	31.3	479	33.8
家庭であったこと	内訳(延)	30 % 25 % 20 % 15 % 10 % 5 % 0 %	2.4 0.9 0.5 0.5 2.6 4.0 しつけのし過ぎがあった	27.8 13.1 3.0 感情的に叫いた	0.3 0.3 0.0 0.0 0.1 0.1 0.0 乳幼児を残して外出した	0.3 0.3 0.0 0.0 0.1 0.1 0.0 長時間食事を与えなかった	0.3 0.3 0.0 0.0 0.1 0.1 0.0 感情的な言葉で怒鳴った
		該当なし	1,171	90.1	1,093	82.2	974

令和3年度結果(家庭であったことの内訳)

<子育て環境>

*テレビ視聴では、「2時間以上」が1歳6か月児健診で21.2%、3歳児健診では26.9%であった。また、就寝時間については、「22時以降」が1歳6か月児健診で15.8%、3歳児健診では35.0%であった。テレビ視聴の仕方や生活リズムを整えることの大切さについての啓発を、新生児訪問、集団教育等で引き続き行っていきたい。

*保護者の育児の悩みについて、64.6%の保護者が「悩んでも解決できる」一方で、「悩んでいる」が14.2%、「悩みたくない」が1.2%であった。また、気持ちの落ち込みで「現在も症状がある」と回答した方が4.1%であった。悩み・落ち込みの症状がある保護者に対して、より丁寧な支援を今後も継続していきたい。

(11) 助成事業

①特定不妊治療費等助成事業

子どもを授かりたいと願う夫婦を応援するため、不妊検査及び不妊治療、不育治療に要する経費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り治療しやすい環境を整えることを目的とする。

<東部圏域委託（国県制度）事業（中核市）>

【不妊治療費（特定不妊治療・人工授精・不妊検査・不育症検査）助成】 (延件数)

区分	特定不妊治療助成	人工授精助成	不妊検査助成	不育症検査助成
鳥取市	640	146	51	2
4町	77	20	8	-
計	717	166	59	2

<単市事業>

【不妊治療費（特定不妊治療・人工授精）追加助成事業】

区分	特定不妊	一般不妊
交付実人数	275	112
延 件 数	590	131

【不育症検査及び治療費助成交付事業】

交付実人数	4
延 件 数	4

②小児慢性特定疾病

慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり治療を必要とする児童等の健全な育成を図るため、その治療の確立と普及を図り、あわせて患児家庭の医療費の負担軽減を図ることを目的に医療費助成を行う。併せて地域の社会資源を活用して自立に向けた相談支援を行う。

【小児慢性特定疾病医療費助成】

審査会状況（件）

区分	受給者数 R4.3.31(人)	新規認定	更新	疾病 変更・追加	重症度変更
鳥取市	184	21	168	2	1
4町	30	5	27	-	-
計	214	26	195	2	1

【小児慢性特定疾病自立支援事業】

令和元年度から小児慢性特定疾病自立支援員を配置。

案内通知にあわせてニーズ把握のためのアンケートを実施し、電話等で相談に応じている。

3 成人保健事業

〔目的〕 「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を図るため、市民が主体的に健康づくりを実践できるように支援する。

〔目標〕 ①鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」の推進。

②疾病の予防と健康増進を図る。

③各種健診の受診率向上及び事後指導の充実を図る。

(令和4年6月30日現在)

(単位：人)

事業名	内訳		合計	中央	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
健康診査	特定健康診査		9,606	6,895	474	209	476	261	165	476	193	457	
	高齢者健康診査		5,544	4,060	375	63	234	129	117	214	86	266	
	その他健康診査		296	244	8	1	8	7	7	9	5	7	
	計		15,446	11,199	857	273	718	397	289	699	284	730	
肝炎ウイルス検査	集団		429	339	17	8	14	13	3	23	3	9	
	個別		881	703	37	4	20	21	9	36	13	38	
	計		1,310	1,042	54	12	34	34	12	59	16	47	
がん検診	胃	集団X線		1,954	1,281	96	65	127	62	41	100	43	139
		個別X線		346	228	9	16	26	10	4	21	12	20
		個別内視鏡		13,561	10,445	700	184	508	291	211	589	260	373
		計		15,861	11,954	805	265	661	363	256	710	315	532
		(受診率)		26.9%									
	肺	集団		3,400	2,095	170	153	222	147	111	170	120	212
		個別		14,563	11,038	815	177	510	296	195	642	263	627
		計		17,963	13,133	985	330	732	443	306	812	383	839
		(受診率)		30.4%									
	大腸	集団		3,680	2,471	164	125	223	138	92	168	98	201
		個別		13,771	10,538	677	186	498	279	190	618	254	531
		計		17,451	13,009	841	311	721	417	282	786	352	732
		(受診率)		29.6%									
	子宮	集団		3,028	2,183	174	73	130	77	72	120	61	138
		個別		6,910	5,583	317	96	201	116	47	270	116	164
		計		9,938	7,766	491	169	331	193	119	390	177	302
		(受診率)		33.6%									
	乳	(再掲) 同時 体部		281	240	14	2	6	3	2	6	4	4
		後日		113	94	3	1	8	2	-	3	-	2
		集団		2,336	1,676	151	48	99	60	53	83	53	113
		個別		3,159	2,525	109	36	122	61	21	128	57	100
		計		5,495	4,201	260	84	221	121	74	211	110	213
		(受診率)		27.8%									
人間ドック	計		3,226	2,210	140	93	202	79	76	186	81	159	
脳ドック	計		543	399	28	9	26	16	11	24	6	24	
骨	集団		1,102	631	81	40	74	58	61	59	26	72	
特定保健 指導	対象者数		946	686	32	29	50	22	17	49	16	45	
	利用者数		283	202	11	6	11	8	13	14	4	14	
支援別 内訳	積極的	対象者	209	156	3	8	7	8	1	10	3	13	
		利用者	45	31	1	-	3	2	1	3	1	3	
	動機付	対象者	737	530	29	21	43	14	16	39	13	32	
		利用者	238	171	10	6	8	6	12	11	3	11	

※ 檢診対象者数は、平成27年国勢調査より引用。

※ 子宮がん・乳がん検診の受診率は、2年に1回の受診率（国の算定方式による）で算出。

※ 成人の各種健診事業は、中央および各支所ごとの受診人員で表す。

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業名			内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
成人・高齢者	健康教育	地区	回数	81	39	6	6	3	10	7	-	5	5
			延人員	1,322	703	56	58	75	120	114	-	121	75
		プロツク	回数	6	-	-	-		3			3	
			延人員	49	-	-	-		29			20	
	保健指導	来所	289	93	22	24	8	7	117	12	3	3	
		電話	342	106	16	75	8	15	78	35	1	8	
	健康相談	回数	62	11	4	4	-	14	26	3	-	-	
		延人員	632	302	33	17	-	81	186	13	-	-	
	訪問指導	延人員	396	312	13	23	-	3	40	4	1	-	
地域ふれあい 体操普及事業 (しゃんしゃん体操)	継続実施	実施箇所	59					59					
		実人員	819					819					
	単発実施	回数	52					52					
		実人員	846					846					
栄養改善	健康教育	回数	14	10	-	1	-	1	-	-	-	-	2
		延人員	178	124	-	7	-	7	-	-	-	-	40
	栄養相談	来所	22					22					
		電話	58					58					
歯科保健	健康教育	回数	11	2	-	-	1	1	4	-	2	1	
		延人員	84	17	-	-	5	10	29	-	16	7	
	健康相談	回数	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
		延人員	11	-	-	-	-	-	11	-	-	-	
	ふしめ	40～70歳	実人員	320	208	3	75	11	5	1	5	4	8
	高齢者 歯科 対策	寝たきり、高齢者施設等	訪問(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			施設(回)	17	17	-	-	-	-	-	-	-	-
		施設(人)	75	75	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神保健	訪問指導	実人員	109	66	1	5	5	7	5	10	4	6	
		延人員	279	139	15	7	8	36	5	35	25	9	
	来所・電話メール相談	件数	1,428	581	35	47	88	144	80	336	56	61	

(1) 国保特定健康診査(中途国保含む)

(令和4年6月30日現在)

①受診者及び指導区分等の状況

(単位:人)

		健康診査 受診者数 (年度中)	個別 健診		保健指導区別実人員			メタボ判定			
合計			9,606	8,185	1,421	3,523	5,137	737	209	1,885	
割合		-	85.2%	14.8%	36.7%	53.5%	7.6%	2.2%	19.6%	10.3%	
全市	男	40歳～	290	214	76	167	40	29	54	47	57
		50歳～	306	245	61	134	96	22	54	83	52
		60歳～	369	305	64	122	176	23	48	131	62
		65歳～	1,174	1,025	149	306	699	169	-	374	213
		70歳～	2,121	1,893	228	513	1,369	239	-	705	336
		計	4,260	3,682	578	1,242	2,380	482	156	1,340	720
		割合	-	-	-	29.1%	55.9%	11.3%	3.7%	31.5%	16.9%
	女	40歳～	236	163	73	189	17	18	12	8	17
		50歳～	385	278	107	253	93	17	22	31	28
		60歳～	573	459	114	303	231	20	19	47	28
		65歳～	1,598	1,332	266	706	794	98	-	159	76
		70歳～	2,554	2,271	283	830	1,622	102	-	300	124
		計	5,346	4,503	843	2,281	2,757	255	53	545	273
		割合	-	-	-	42.6%	51.6%	4.8%	1.0%	10.2%	5.1%
中央		6,895	6,011	884	2,637	3,572	530	156	1,336	722	
国府		474	396	78	152	290	29	3	106	36	
福部		209	137	72	76	104	21	8	37	31	
河原		476	364	112	166	260	43	7	98	57	
用瀬		261	198	63	65	174	14	8	52	21	
佐治		165	114	51	60	88	16	1	32	14	
気高		476	406	70	169	258	39	10	94	42	
鹿野		193	176	17	74	103	13	3	32	23	
青谷		457	383	74	124	288	32	13	98	47	

*未受診者に対し、勧奨資材の送付や個別訪問や電話による受診勧奨を実施した。東部医師会、薬剤師会に健診受診勧奨の協力依頼、商業施設や公共施設等でポスター掲示やチラシ設置による受診勧奨に努めた。

②主な検診項目別人員

(単位:人)

		高血圧症 予備群	高血圧症 有病者	脂質異常	糖尿病 予備群	糖尿病 有病者	貧血 要指導者 を含む	肝機能 要指導者 を含む	尿検査 異常者	たばこ
合計		1,224	5,269	6,044	4,072	1,384	1,749	2,754	848	8,611 995
割合		12.7%	54.9%	62.9%	42.4%	14.4%	18.2%	28.7%	8.8%	89.6% 10.4%
全市	男	521	2,550	2,542	1,839	815	551	1,752	537	3,423 837
	割合	12.2%	59.9%	59.7%	43.2%	19.1%	12.9%	41.1%	12.6%	80.4% 19.6%
	女	703	2,719	3,502	2,233	569	1,198	1,002	311	5,188 158
	割合	13.2%	50.9%	65.5%	41.8%	10.6%	22.4%	18.7%	5.8%	97.0% 3.0%
中央		896	3,680	4,354	2,883	940	1,339	1,938	584	6,180 715
国府		56	286	306	182	79	131	146	59	428 46
福部		27	116	123	92	33	19	69	13	181 28
河原		61	275	273	236	67	49	155	44	422 54
用瀬		35	160	167	117	55	26	87	28	236 25
佐治		28	99	92	71	23	20	52	5	150 15
気高		43	282	305	214	79	55	132	53	421 55
鹿野		29	104	120	82	25	16	53	17	175 18
青谷		49	267	304	195	83	94	122	45	418 39

*有所見者割合は、高血圧、脂質異常、高血糖は前年度同様に、いずれも5~6割を占めている。

*昨年度と比較し、有所見者割合は高血圧で0.2ポイント増加、脂質異常0.2ポイント増加、糖尿病有病者0.7ポイント増加と年々増加傾向であり、今後も生活習慣病対策に取り組んでいきたい。

③特定健康診査の目標値および実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込)
目標値	60.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
実績	33.9%	34.7%	34.8%	32.9%	32.4%

※平成25年度～29年度は第2期、平成30年度以降は第3期国保特定健康診査等実施計画に基づく目標値。

平成29年度～令和2年度実績は法定報告（毎年11月末に確定）。

④受診者数の年次推移

年齢		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度 (R4.6.30時点見込数)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
40-49歳	男性	258	14.5%	258	14.8%	270	16.2%	259	15.5%	290	
	女性	239	18.3%	255	20.2%	235	19.2%	216	18.2%	236	
	小計	497	16.1%	513	17.1%	505	17.5%	475	16.6%	526	
50-59歳	男性	333	18.1%	282	16.6%	287	16.8%	298	17.2%	306	
	女性	402	23.4%	371	23.7%	342	22.5%	330	22.2%	385	
	小計	735	20.6%	653	20.0%	629	19.5%	628	19.5%	691	
60-69歳	男性	2,103	33.9%	1,942	34.0%	1,772	34.1%	1,529	32.5%	1,543	
	女性	2,992	40.3%	2,758	40.1%	2,586	40.8%	2,145	37.1%	2,171	
	小計	5,095	37.4%	4,700	37.3%	4,358	37.8%	3,674	35.0%	3,714	
70-74歳	男性	1,407	38.0%	1,661	40.2%	1,803	39.7%	1,870	37.8%	2,121	
	女性	1,818	43.2%	2,034	44.9%	2,154	43.7%	2,249	41.0%	2,554	
	小計	3,225	41.2%	3,695	42.6%	3,957	41.8%	4,119	39.5%	4,675	
男性合計		4,101	30.3%	4,143	31.2%	4,132	31.5%	3,956	30.3%	4,260	
女性合計		5,451	37.2%	5,418	38.1%	5,317	38.0%	4,940	35.4%	5,346	
総 計		9,552	33.9%	9,561	34.7%	9,449	34.8%	8,896	32.9%	9,606	

⑤特定健診未受診者勧奨の実績

・受診勧奨通知（DM）

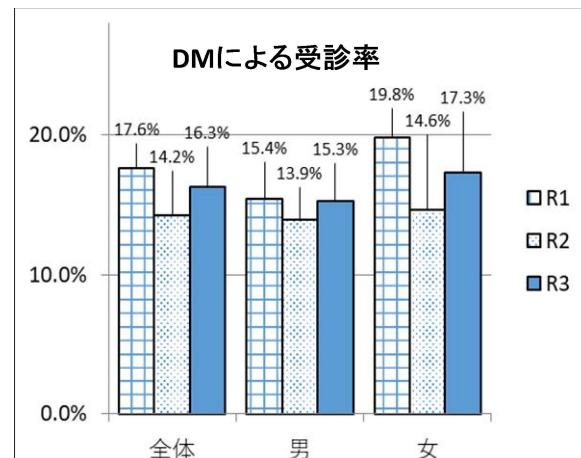
対象は、前年度未受診で過去5年以内に受診歴が1回ある人、今年度はじめて特定健診対象になった人を抽出し受診勧奨通知を発送。通知内容は、特定健診査の受け方をステップ毎で明瞭化したり、毎年継続して健診受診することの必要性を伝えた。

対象者4,968人中、男性350人、女性462人の計812人（16.3%）が受診につながった。新型コロナウイルス感染症で受診控えがあったと考えられた前年度よりも2.1%上昇。今後も受診率向上に向か、対象者の選定や勧奨資材の検討が必要である。

・看護師による未受診者訪問

受診率の低い地区等、2地区を選定し受診勧奨を実施した。対象者702人中、182人にアプローチし、23人が健診受診につながった。また、すでに22人が健診受診済みであることを確認した。

アプローチの中で「医療機関に通院中で特定健診の受診は考えていない」という方が4割近くおられた。治療中の方への特定健診情報提供事業と併せて、通院中でも特定健診受診につながるよう効果的な方法を検討していきたい。



(2) 特定保健指導

①特定保健指導の目標値および実績

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込）
目標値	60.0%	45.0%	47.5%	50.0%	52.5%
利用率	41.1%	40.3%	37.6%	36.0%	29.9%
実施率	41.4%	39.7%	38.3%	35.4%	-

※平成29年度～令和2年度実績は法定報告(毎年11月末確定)。平成30年度以降の目標値は第3期国保特定健康診査等実施計画より実施率。

②実施状況の年次推移

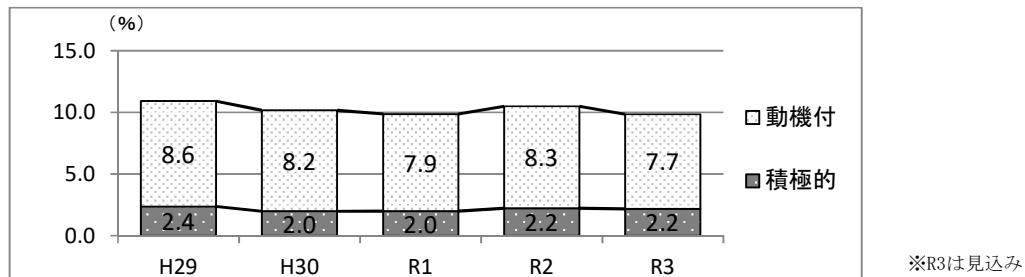
・利用者数

	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度（見込）		
受診者 数	9,522人			9,561人			9,449人			8,896人			9,606人		
支援別	対象者 数	利用 人数	利用率	対象者 数	利用 人数	利用率									
積極的	225	49	21.8%	189	40	21.2%	188	28	14.9%	197	35	17.8%	209	45	21.5%
動機付	817	379	46.4%	784	352	44.9%	744	322	43.3%	736	301	40.9%	737	238	32.3%
合計	1042	428	41.1%	973	392	40.3%	932	350	37.6%	933	336	36.0%	946	283	29.9%

※平成29年度～令和2年度は法定報告。令和3年度は令和4年6月30日現在。

- * 令和3年度利用者数は前年度と比較して動機付け支援は減少したが、積極的支援は増加した。利用勧奨により利用に繋がるケースが主であるが、コロナ禍が長期化する中、次年度はオンライン面接を軌道に乗せると共に、対象者のニーズを把握しながら利用につながる対策を講じていきたい。

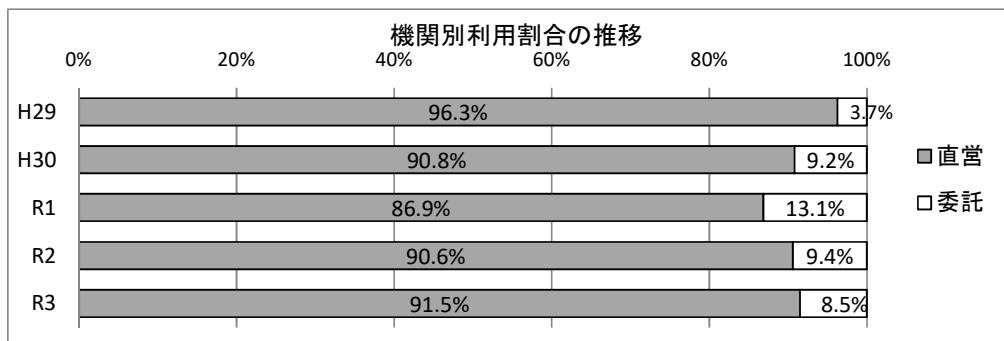
・支援別対象者割合



・機関別実施者数および総支援回数

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度（見込）	
	直営	委託	直営	委託	直営	委託	直営	委託	直営	委託
積極的	46	3	32	8	21	7	25	5	38	7
動機付	366	13	324	28	283	39	274	26	221	17
計	412	16	356	36	304	46	299	31	259	24
総計	428		392		350		330		283	
総支援回数	1,120		1,125		1,040		835		750	

※平成29年度～令和2年度は法定報告。令和3年度は令和4年6月30日現在。



- * 委託機関でも健診時の利用勧奨を取り組んでいただいているが、令和3年度の利用者はより減少した。

③令和3年度特定保健指導（直営）の実施状況（令和3年9月～令和4年6月実施）

（令和4年6月30日現在）

【方法と会場別実績】

《直営教室》

教室名	会場	クール数	全回数	実人数	積極的（人）	動機付（人）
減らせ内臓脂肪教室	さわやか会館	3	10	23	—	23

* 新型コロナ感染症の感染予防のため、2クール目初回教室を2グループ（2日）に分けて実施した。

《直営個別相談》

（単位：人）

	中央	鳥取東	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	合計
積極的	実人数	23	5	—	2	2	1	1	3	38
	内：来所	22	5	—	1	1	1	—	2	33
	内：訪問	1	0	—	1	1	—	1	1	5
動機付	実人数	137	17	5	5	6	12	4	9	198
	内：来所	40	9	1	5	3	9	1	5	74
	内：訪問	97	8	4	—	3	3	3	4	124
合計		160	22	5	7	8	13	5	12	236

* 令和3年度は積極的支援対象者の個別相談利用は前年度より多く、利用勧奨の成果があった。訪問による保健指導は訪問を控えた時期もあり、例年より低下した。今後も経年対象者への対策を検討し対象者のニーズに合ったより利用しやすい環境づくりに努めていきたい。

《運動教室（特定保健指導利用者のフォロー教室）について》 （令和3年4月～令和4年3月の利用状況）

教室名	会場	全実施回数	延利用人数	実利用人数	積極的（人）	動機付（人）
スタイルアップ教室	さわやか会館	40	367	48	1	47

* 令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響で中止を繰り返したが、9月後半から1日2グループを3グループ制とし、実技時間を1回30分間に短縮、1回平均出席10名以下となるように人数制限し実施した。実利用人数は年々増加している。

【対象者への利用勧奨実績】

（単位：人）

	中央	鳥取東	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	合計
積極的	訪問・面接	20	15	2	3	1	—	2	2	51
	電話・手紙	74	25	4	2	5	1	1	—	113
	本人申込他	12	2	—	2	2	—	2	—	21
動機付	訪問・面接	76	37	9	8	4	5	7	8	166
	電話・手紙	277	101	3	17	9	11	23	3	446
	本人申込他	30	20	1	1	1	—	2	—	60
合計		489	200	19	33	22	17	37	13	857

《利用勧奨・状況把握結果》

	積極的	動機付	計
利用：本人申込他	18	49	67人
利用：訪問電話等	27	189	216人
利用しない	109	349	458人
検討中	7	15	22人
不在	24	70	94人
状況把握総数	185	672	857人
利用勧奨者数	167	623	790人
(内：意向把握割合)	(85.6%)	(88.8%)	(88.1%)

《訪問・電話等で利用につながった割合》

	勧奨者	利用者	利用率	計	利用者に占める割合
積極的	164	27	16.5%	24.8%	76.3%
動機付	612	189	30.9%		

《利用しない理由》 (n = 458人)

理由の内訳	人数	割合
自分で取り組む	165	36.0%
通院中・主治医に相談する	128	27.9%
関心がない・必要がない	96	21.0%
仕事や家族看護等で多忙等	69	15.1%

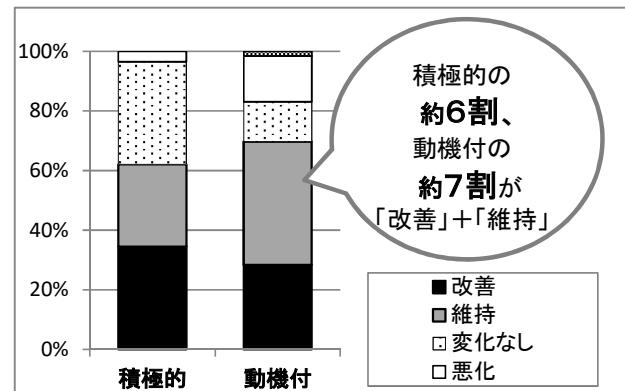
* 対象者全員への利用勧奨を目標に取り組んでいるが、令和3年度は日中及び夜間電話による利用勧奨に重点を置いて実施した。対象者の83.5%にアプローチし、勧奨者の88.1%の意向を把握することができ、勧奨者の24.8%が利用につながった。利用しない理由は「自分で取り組む」が36.0%と令和3年度も一番多かった。今後も利用しないケースにも生活改善のために必要な助言もしながら健康に対する意識が向上できるよう支援していきたい。

④令和2年度 特定保健指導の評価 (直営+委託)

・令和2年度特定保健指導利用者の令和3年度健診結果

《メタボ判定の変化》

	令和3年度 受診者数	2年連続 受診割合		人数	割合
積極的 41人	29人 (内:服薬開始5人)	70.7%	改善	10	34.5%
			維持	8	27.6%
			変化なし	10	34.5%
			悪化	1	3.4%
			計	29	
動機付 309人	254人 (内:服薬開始25人)	82.2%	改善	72	28.3%
			維持	105	41.3%
			変化なし	34	13.4%
			悪化	39	15.4%
			判定不能	4	1.6%
			計	254	



* 「維持」はメタボ判定が[非該当]⇒[非該当]および[予備群]⇒[予備群]「変化なし」は[基準該当]⇒[基準該当]、「判定不能」はR3腹囲測定未実施者

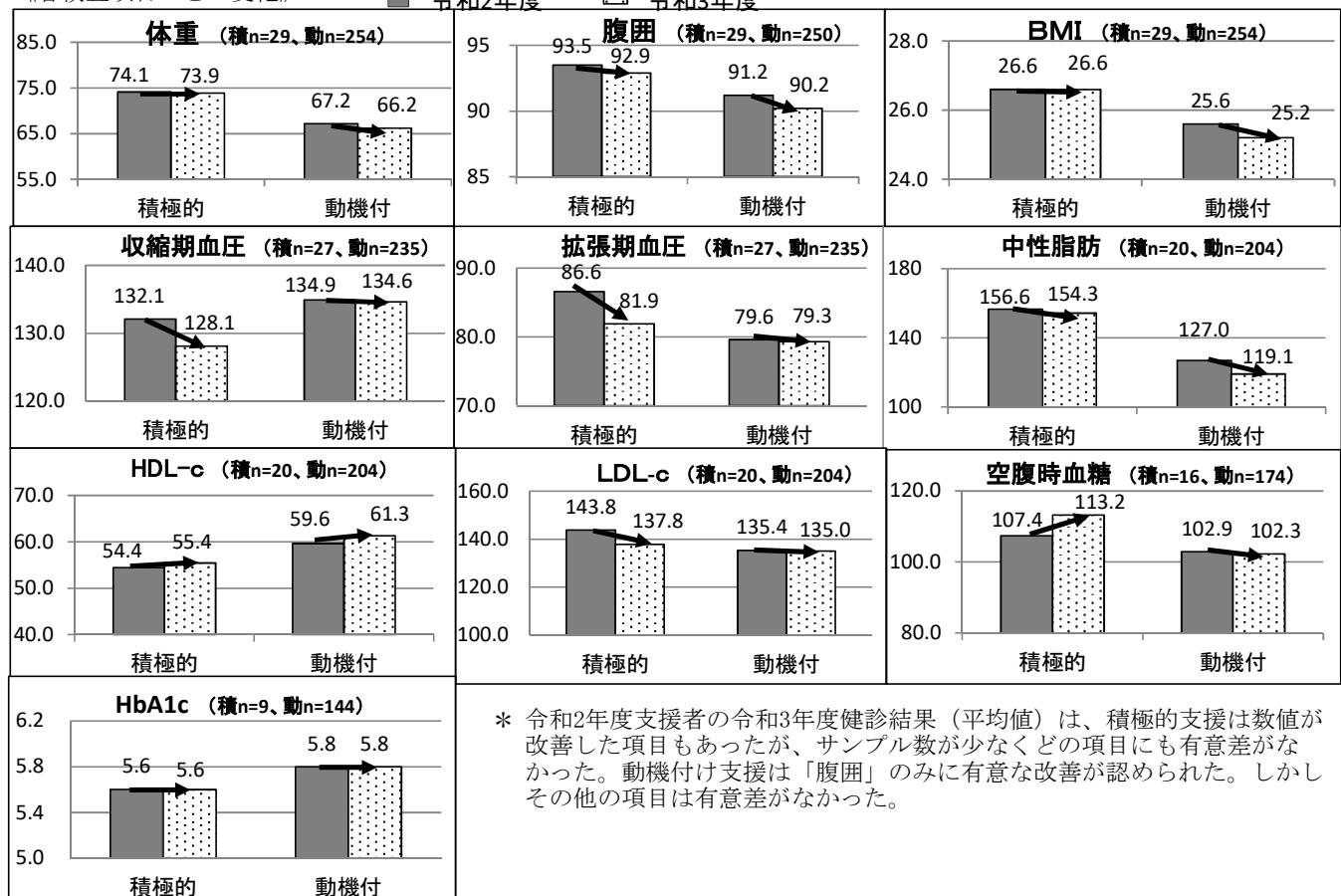
* 令和2年度に特定保健指導を受けた人の令和3年度特定健診のメタボ判定を見ると、積極的・動機付共に約3割が改善していた。維持を含めると積極的は約6割、動機付は約7割を占めた。

《健診結果の改善効果 (平均値)》

		体重 (kg)	腹囲 (cm)	BMI	収縮期 血圧 (mmHg)	拡張期 血圧 (mmHg)	中性脂肪 (mg/dl)	HDL-c (mg/dl)	LDL-c (mg/dl)	空腹時 血糖 (mg/dl)	HbA1c (%)
積 極 的	R2	74.1	93.5	26.6	132.1	86.6	156.6	54.4	143.8	107.4	5.6
	R3	73.9	92.9	26.6	128.1	81.9	154.3	55.4	137.8	113.2	5.6
	平均値差 有意差	-0.2 n. s.	-0.6 n. s.	0.0 n. s.	-4.0 n. s.	-4.7 n. s.	-2.3 n. s.	1.0 n. s.	-6.0 n. s.	5.8 n. s.	0.0 n. s.
	R2	67.2	91.2	25.6	134.9	79.6	127.0	59.6	135.4	102.9	5.8
動 機 付	R3	66.2	88.7	25.2	134.6	79.3	119.1	61.3	135.0	102.3	5.8
	平均値差 有意差	-1.0 n. s.	-2.5 *	-0.4 n. s.	-0.3 n. s.	-0.3 n. s.	-7.9 n. s.	1.7 n. s.	-0.4 n. s.	-0.6 n. s.	0.0 n. s.

※検定方法: 対応のある t 検定 ** : p < 0.01 * : p < 0.05 n. s. : 有意差なし

《各検査項目ごとの変化》



(3) 肝炎ウイルス検査

(令和4年6月30日現在)

(単位：人)

		一次検診			精密検査												
		検査結果			B型					C型							
		受診者数	正常	B+	C+	受診者数	キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん	受診者数	キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん
総合計		1,310	1,297	10	3	7	5	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-
全市	合計	男	591	584	5	2	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-
		女	719	713	5	1	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	40歳～	男	124	124	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	222	222	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45歳～	男	56	55	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	80	80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳～	男	44	43	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
		女	67	65	2	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	55歳～	男	42	42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	60	59	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳～	男	89	88	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		女	117	115	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65歳～	男	125	122	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	87	87	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70歳～	男	111	110	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	86	85	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中央		男	451	446	4	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		女	591	585	5	1	5	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-
国 府		男	28	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	26	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福 部		男	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河 原		男	18	17	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
		女	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
用 潬		男	18	17	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	16	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐 治		男	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気 高		男	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	29	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿 野		男	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青 谷		男	23	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	24	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②定期検査結果

(単位：人)

		B型					C型									
		対象者数	受診者数	結果				対象者数	受診者数	結果						
				キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑			キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑			
総合計		374	192	148	36	8	-	-	120	61	10	13	38	-	-	
全市	男	151	80	57	18	5	-	-	33	16	1	2	13	-	-	
	女	223	112	91	18	3	-	-	87	45	9	11	25	-	-	
中 央		234	127	104	17	6	-	-	40	22	1	1	20	-	-	
国 府		44	19	11	6	2	-	-	6	3	1	1	1	-	-	
福 部		17	5	3	2	-	-	-	30	8	1	1	6	-	-	
河 原		17	9	8	1	-	-	-	4	3	-	-	3	-	-	
用 潬		17	9	8	1	-	-	-	22	15	2	7	6	-	-	
佐 治		11	8	4	4	-	-	-	13	9	5	3	1	-	-	
気 高		11	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿 野		11	6	5	1	-	-	-	5	1	-	-	1	-	-	-
青 谷		12	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 胃がん検診

(令和4年6月30日現在)

(単位：人)

		一次検診			精密検査							胃 X 発 見 が ん 率			
		結果		受 診 者 数	精 檢 受 診 率	結果									
		異 常 な し	(要 精 檢 率)			異 常 な し	ポ リ ー プ	胃 潰 瘍	十二 潰 瘍 指 腸	そ の 他	が ん 疑 い				
	総合計	2,300 (3.9)	2,194	106 (4.61)	91	85.8	8	16	11	2	54	-	-	-	
全市 (胃X線)	合計	男	868	816	52	43	82.7	5	4	6	1	27	-	-	-
		女	1,432	1,378	54	48	88.9	3	12	5	1	27	-	-	-
	40歳～	男	140	136	4	3	75.0	1	1	-	-	1	-	-	-
		女	366	359	7	6	85.7	-	3	-	-	3	-	-	-
	50歳～	男	98	93	5	3	60.0	-	-	1	-	2	-	-	-
		女	265	260	5	4	80.0	-	2	1	-	1	-	-	-
	60歳～	男	314	291	23	17	73.9	2	-	3	1	11	-	-	-
		女	456	439	17	15	88.2	1	4	2	1	7	-	-	-
	70歳～	男	277	260	17	17	100.0	2	3	2	-	10	-	-	-
		女	292	270	22	20	90.9	2	3	2	-	13	-	-	-
集団検診	80歳～	男	39	36	3	3	100.0	-	-	-	-	3	-	-	-
		女	53	50	3	3	100.0	-	-	-	-	3	-	-	-
	個別検診	男	722	679	43	37	86.0	4	4	6	1	22	-	-	-
		女	1,232	1,197	35	33	94.3	2	5	3	1	22	-	-	-
中央	個別検診	男	146	137	9	6	66.7	1	-	-	-	5	-	-	-
		女	200	181	19	15	78.9	1	7	2	-	5	-	-	-
	中央	男	539	512	27	21	77.8	3	1	2	-	15	-	-	-
		女	970	940	30	26	86.7	1	9	3	1	12	-	-	-
	国府	男	33	30	3	3	100.0	1	-	1	1	-	-	-	-
		女	72	70	2	2	100.0	1	-	-	-	1	-	-	-
	福部	男	34	31	3	2	66.7	1	-	-	-	1	-	-	-
		女	47	45	2	1	50.0	-	-	-	-	1	-	-	-
	河原	男	64	62	2	1	50.0	-	-	-	-	1	-	-	-
		女	89	84	5	5	100.0	-	-	-	-	5	-	-	-
用瀬	用瀬	男	31	28	3	3	100.0	-	-	-	-	3	-	-	-
		女	41	39	2	2	100.0	-	-	-	-	2	-	-	-
	佐治	男	19	18	1	1	100.0	-	-	1	-	-	-	-	-
気高	佐治	女	26	25	1	1	100.0	-	1	-	-	-	-	-	-
	気高	男	52	47	5	4	80.0	-	-	2	-	2	-	-	-
		女	69	64	5	5	100.0	1	1	-	-	3	-	-	-
鹿野	鹿野	男	27	26	1	1	100.0	-	1	-	-	-	-	-	-
		女	28	27	1	1	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-
青谷	青谷	男	69	62	7	7	100.0	-	2	-	-	5	-	-	-
		女	90	84	6	5	83.3	-	1	2	-	2	-	-	-

※検診対象者数 59,003人

(2)無料クーポン事業：再掲（胃X線・胃内視鏡）

(単位：人)

		一次検診			精密検査							が ん 発 見 率			
		(再掲)		受 診 者 数	精 檢 受 診 率	結果									
		初 回 受 診 者 数	初 回 の 受 割 診 合 者			異 常 な し	(要 精 檢 率)	受 診 者 数	精 檢 受 診 率	異 常 な し	ポ リ ー プ	胃 潰 瘍	十二 潰 瘍 指 腸	そ の 他	が ん
	合計	1,327 (11.2)	834	62.8%	1,321	6 (0.45)		6	100.0	-	3	1	-	2	-
全市	41歳	245	212	86.5%	244	1		1	100.0	-	1	-	-	-	-
	46歳	245	197	80.4%	243	2		2	100.0	-	1	-	-	1	-
	51歳	218	129	59.2%	218	-		-	-	-	-	-	-	-	-
	56歳	244	106	43.4%	243	1		1	100.0	-	-	1	-	-	-
	61歳	375	190	50.7%	373	2		2	100.0	-	1	-	-	1	-
	集団検診	225	113	50.2%	223	2		2	100.0	-	-	1	-	1	-
	個別検診	1,102	721	65.4%	1,098	4		4	100.0	-	3	-	-	1	-

※検診対象者数 11,816人

(令和4年6月30日現在)

(単位:人)

③胃内視鏡検診結果 (一次検診結果)

		受診者率 (受診者数)	異常なし	その他の疾病	結果							がん疑い	がん	がん内視鏡発見率
					非悪性上皮腫性瘍	胃腺腫	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸	腸	その他			
総合計		13,561 (23.0)	1,856	11,659	-	45	3,128	556	313	7,617	8	38	0.28	
全市 (胃内視鏡)	合計	男 女	5,752 7,809	686 1,170	5,035 6,624	- -	29 16	1,043 2,085	360 196	181 132	3,422 4,195	4 4	27 11	0.47 0.14
	40歳～	男 女	459 753	144 252	315 501	- -	- -	103 257	10 9	12 12	190 223	- -	- -	- -
	50歳～	男 女	493 980	105 207	387 773	- -	- -	109 369	15 10	18 19	245 375	- -	1 -	0.20 -
	60歳～	男 女	1,594 2,205	180 305	1,411 1,899	- -	6 3	294 579	102 61	59 44	950 1,212	1 1	2 -	0.13 -
	70歳～	男 女	2,441 2,817	208 299	2,214 2,512	- -	17 7	408 667	182 75	79 46	1,528 1,717	3 2	16 4	0.66 0.14
	80歳～	男 女	765 1,054	49 107	708 939	- -	6 6	129 213	51 41	13 11	509 668	- 1	8 7	1.05 0.66
	中央	男 女	4,318 6,127	582 972	3,713 5,141	- -	21 11	776 1,649	275 150	136 105	2,505 3,226	4 4	19 10	
	国府	男 女	301 399	16 42	284 357	- -	2 2	63 98	12 9	12 6	195 242	- -	1 -	
福部	男	89	9	80	-	1	14	5	3	57	-	-	-	
	女	95	13	82	-	-	20	4	4	54	-	-	-	
河原	男	231	10	218	-	3	40	21	4	150	-	-	3	
	女	277	38	239	-	1	72	7	9	150	-	-	-	
用瀬	男	132	9	123	-	-	18	11	6	88	-	-	-	
	女	159	13	146	-	1	41	6	3	95	-	-	-	
佐治	男	103	2	101	-	-	21	5	-	75	-	-	-	
	女	108	3	105	-	-	29	2	1	73	-	-	-	
気高	男	279	30	247	-	2	53	14	6	172	-	-	2	
	女	310	50	260	-	1	79	8	3	169	-	-	-	
鹿野	男	116	9	107	-	-	25	4	6	72	-	-	-	
	女	144	16	127	-	-	42	6	-	79	-	-	1	
青谷	男	183	19	162	-	-	33	13	8	108	-	-	2	
	女	190	23	167	-	-	55	4	1	107	-	-	-	

※検診対象者数 59,003人

④発見がん患者受診状況

項目	人数			初回受診			非初回受診			発見率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
種別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
X線	進行がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	早期がん	-	-	-	-	-	-	-	-	-
内視鏡	進行がん	3	1	4	2	1	3	0.02	1	-
	早期がん	24	10	34	6	4	10	0.07	18	6
計		27	11	38	8	5	13	0.10	19	6
非初回は、過去3年間に受診歴のある者をいう。										

(単位:人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
胃X線	2,655	2,257	2,300
胃内視鏡	14,496	12,960	13,561
計	17,151	15,217	15,861

* 胃がん検診（全体）の受診者数は、前年度より644人増加した。内視鏡検診の受診率は、大幅な減少傾向にあった前年度より601人増え、1.0ポイント上昇した。男性のがん発見者が多く、今後も早期発見・早期治療につなげるため、検診の啓発や精密検査の受診勧奨に取り組んでいきたい。

(令和4年6月30日現在)

(単位:人)

(5) 肺がん・結核検診

①肺がん検診（一次検診及び精密検査結果）

	一次検診							精密検査					がん発見率				
	胸部X線検査			喀痰細胞診検査				要精検者合計	受診者数	精検受診率	結果						
	受診者数 (受診者率) （受診者率）	異常なし	要精検率 (要精検率)	X中線高受診者群	喀痰細胞診受診者数	異常なし	要精検				その他	がん疑い	がん				
総合計	17,963 (30.4)	17,372	591 (3.29)	2,516	772	770	2	593	543	91.6	244	244	46	9 0.05			
全市	合計	男 女	7,038 10,925	6,786 10,586	252 339	2,377 139	734 38	732 38	2 -	254 339	230 313	90.6 92.3	99 145	100 144	24 22	7 0.10 2 0.02	
	40歳～	男 女	513 1,017	501 999	12 18	- -	- -	- -	- -	12 18	11 17	91.7 94.4	10 11	1 6	- -	- -	
	50歳～	男 女	469 1,132	457 1,116	12 16	141 21	44 8	44 8	- -	12 16	11 14	91.7 87.5	5 7	5 7	- -	- -	
	60歳～	男 女	1,900 2,980	1,838 2,913	62 67	724 56	261 13	261 13	- -	62 67	53 60	85.5 89.6	20 27	26 28	5 4	2 0.11 1 0.03	
	70歳～	男 女	3,051 3,943	2,931 3,792	120 151	1,229 52	351 16	349 16	2 -	122 151	115 143	94.3 94.7	49 67	48 61	13 14	5 0.16 1 0.03	
	80歳～	男 女	1,105 1,853	1,059 1,766	46 87	283 10	78 1	78 1	- -	46 87	40 79	87.0 90.8	15 33	20 42	5 4	- -	
	集団検診	男 女	1,062 2,338	1,028 2,275	34 63	354 20	70 2	70 2	- -	34 63	30 58	88.2 92.1	12 23	14 32	2 2	2 0.19 1 0.04	
	個別検診	男 女	5,976 8,587	5,758 8,311	218 276	2,023 119	664 36	662 36	2 -	220 276	200 255	90.9 92.4	87 122	86 112	22 20	5 0.08 1 0.01	
	中央	男 女	5,058 8,075	4,885 7,825	173 250	1,665 115	490 34	488 34	2 -	175 250	158 228	90.3 91.2	69 112	68 100	14 16	7	
	国府	男 女	368 617	353 598	15 19	113 8	31 1	31 1	- -	15 19	14 19	93.3 100.0	2 9	9 8	3 2		
	福部	男 女	140 190	136 180	4 10	54 2	17 -	17 -	- -	4 10	4 8	100.0 80.0	3 4	1 4	- -		
	河原	男 女	315 417	306 409	9 8	117 4	48 2	48 2	- -	9 8	9 8	100.0 100.0	2 2	5 4	2 2		
	用瀬	男 女	184 259	179 250	5 9	76 -	32 -	32 -	- -	5 9	4 9	80.0 100.0	- 3	3 5	1 -1		
	佐治	男 女	135 171	131 167	4 4	56 -	14 -	14 -	- -	4 4	4 2	100.0 50.0	1 -	2 2	1 -		
	気高	男 女	347 465	328 446	19 19	127 5	49 1	49 1	- -	19 19	17 19	89.5 100.0	7 7	8 10	2 1		
	鹿野	男 女	160 223	150 217	10 6	54 1	13 -	13 -	- -	10 6	7 6	70.0 100.0	5 4	2 1	- -		
	青谷	男 女	331 508	318 494	13 14	115 4	40 -	40 -	- -	13 14	13 14	100.0 100.0	10 4	2 10	1 -		

※検診対象者数 59,003人

②無料クーポン事業：再掲

	一次検診							精密検査					がん発見率			
	受診者数	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果			その他	がん疑い				
		初回受診者数	初回の受割診合者	異常なし	(要精検率)			異常なし	その他	がん疑い	がん					
合計	1,240 (10.5)	753	60.7%	1,215	25 (2.02)	24	96.0	12	11	1	-	-	-	-		
全市	41歳	236	137	58.1%	235	1	100.0	1	-	-	-	-	-	-	-	
	46歳	221	144	65.2%	217	4	100.0	2	2	-	-	-	-	-	-	
	51歳	205	116	56.6%	201	4	100.0	1	3	-	-	-	-	-	-	
	56歳	229	136	59.4%	223	6	100.0	4	2	-	-	-	-	-	-	
	61歳	349	220	63.0%	339	10	90.0	4	4	1	-	-	-	-	-	
	集団検診	321	173	53.9%	315	6	83.3	3	2	-	-	-	-	-	-	
	個別検診	919	580	63.1%	900	19	100.0	9	9	1	-	-	-	-	-	

※検診対象者数 11,816人

③発見がん患者受診状況

(単位：人)

項目 種別	受診者数						初回受診				非初回受診			
	男	女	計	(再掲) 高危険群		男	女	計	発見率	男	女	計	発見率	
				男	女									
がん	7	2	9	4	-	1	-	1	0.02	6	2	8	0.07	

※非初回は、前年に受診歴のある者をいう。

* 肺がん検診は401人増加し、受診率は0.6ポイント増加した。

* 精検受診率は昨年度より0.3ポイント増加した。引き続き検診の啓発や精検の受診勧奨に取り組んでいきたい。

(令和4年6月30日現在)

④結核検診（一次検診及び精密検査結果）

(単位：人)

全市		一次検診			精密検査						
		受診者数	結果		受診者数	判定結果			異常なし	その他の疾病	
			異常なし	結核精検		異常なし	1	2			
総合計			13,137	13,120	17	15	-	15	-	-	
	合計	男	5,485	5,480	5	4	-	4	-	-	
		女	7,652	7,640	12	11	-	11	-	-	
	65～69歳	男	1,329	1,328	1	1	-	1	-	-	
		女	1,856	1,855	1	1	-	1	-	-	
	70～74歳	男	2,037	2,035	2	2	-	2	-	-	
		女	2,569	2,566	3	3	-	3	-	-	
	75～79歳	男	1,014	1,012	2	1	-	1	-	-	
		女	1,374	1,369	5	4	-	4	-	-	
	80歳以上	男	1,105	1,105	-	-	-	-	-	-	
		女	1,853	1,850	3	3	-	3	-	-	
	集団検診	男	743	743	-	-	-	-	-	-	
		女	1,245	1,242	3	3	-	3	-	-	
	個別検診	男	4,742	4,737	5	4	-	4	-	-	
		女	6,407	6,398	9	8	-	8	-	-	
中央			3,872	3,867	5	4	-	4	-	-	
			5,479	5,470	9	8	-	8	-	-	
国府			310	310	-	-	-	-	-	-	
			470	469	1	1	-	1	-	-	
福部			109	109	-	-	-	-	-	-	
			128	128	-	-	-	-	-	-	
河原			243	243	-	-	-	-	-	-	
			297	297	-	-	-	-	-	-	
用瀬			146	146	-	-	-	-	-	-	
			211	211	-	-	-	-	-	-	
佐治			115	115	-	-	-	-	-	-	
			143	143	-	-	-	-	-	-	
気高			280	280	-	-	-	-	-	-	
			357	356	1	1	-	1	-	-	
鹿野			133	133	-	-	-	-	-	-	
			161	161	-	-	-	-	-	-	
青谷			277	277	-	-	-	-	-	-	
			406	405	1	1	-	1	-	-	

(6) 大腸がん検診

(令和4年6月30日現在)

①一次検診及び精密検査結果

(単位：人)

		一次検診			精密検査							がん発見率		
		結果		受診者数	精検受診率	結果								
		受診者数(受診率)	異常なし(要精検率)			ポリープ	大腸憩室	その他	がん疑い	がん				
総合計		17,451 (29.6)	16,217	1,234 (7.07)	910	73.7	235	465	77	81	4	48	0.28	
全市	合計	男	6,769	6,186	583	423	72.6	64	264	34	33	1	27	0.40
		女	10,682	10,031	651	487	74.8	171	201	43	48	3	21	0.20
	40歳～	男	539	518	21	13	61.9	5	6	－	1	－	1	0.19
		女	1,256	1,187	69	40	58.0	20	11	3	5	－	1	0.08
	50歳～	男	501	474	27	20	74.1	3	7	1	3	1	5	1.00
		女	1,363	1,302	61	48	78.7	28	11	4	4	－	1	0.07
	60歳～	男	1,926	1,776	150	108	72.0	11	73	8	13	－	3	0.16
		女	3,063	2,915	148	115	77.7	38	49	8	13	1	6	0.20
	70歳～	男	2,881	2,611	270	215	79.6	32	137	17	13	－	16	0.56
		女	3,659	3,412	247	202	81.8	61	94	19	18	－	10	0.27
	80歳～	男	922	807	115	67	58.3	13	41	8	3	－	2	0.22
		女	1,341	1,215	126	82	65.1	24	36	9	8	2	3	0.22
	集団検診	男	1,105	1,042	63	49	77.8	7	31	4	3	－	4	0.36
		女	2,575	2,451	124	90	72.6	34	35	5	8	2	6	0.23
	個別検診	男	5,664	5,144	520	373	71.7	57	232	30	30	1	23	0.41
		女	8,107	7,580	527	397	75.3	137	166	38	40	1	15	0.19
中央		男	4,905	4,485	420	302	71.9	50	189	23	25	1	14	
		女	8,104	7,606	498	379	76.1	139	150	35	35	1	19	
国府		男	334	302	32	24	75.0	5	14	2	2	－	1	
		女	507	476	31	26	83.9	7	13	2	2	1	1	
福部		男	128	118	10	6	60.0	1	4	－	－	－	1	
		女	183	176	7	5	71.4	2	1	－	2	－	－	
河原		男	302	276	26	21	80.8	－	11	4	－	－	6	
		女	419	396	23	14	60.9	7	5	1	1	－	－	
用瀬		男	176	164	12	9	75.0	－	8	－	1	－	－	
		女	241	232	9	6	66.7	2	3	－	1	－	－	
佐治		男	121	110	11	8	72.7	1	4	1	1	－	1	
		女	161	153	8	6	75.0	1	4	－	－	1	－	
気高		男	347	317	30	22	73.3	4	15	－	3	－	－	
		女	439	407	32	23	71.9	5	10	3	5	－	－	
鹿野		男	150	139	11	8	72.7	2	4	1	－	－	1	
		女	202	187	15	9	60.0	4	3	－	1	－	1	
青谷		男	306	275	31	23	74.2	1	15	3	1	－	3	
		女	426	398	28	19	67.9	4	12	2	1	－	－	

※検診対象者数 59,003人

②発見がん患者受診状況

項目	人数			初回受診			非初回受診			発見率
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
進行がん	9	5	14	5	3	8	0.05	4	2	6 0.03
早期がん	18	16	34	8	5	13	0.07	10	11	21 0.12
計	27	21	48	13	8	21	0.12	14	13	27 0.15

※非初回は、過去3年間に受診歴のある者をいう。

* 大腸がん検診は722人増加し、受診率は1.2ポイント増加した。

* 精検受診率が73.7%と低いことが課題である。今後も引き続き精検対象となった場合に、精検受診の必要性を伝える等、啓発に取り組み、精検受診率の向上に努めたい。

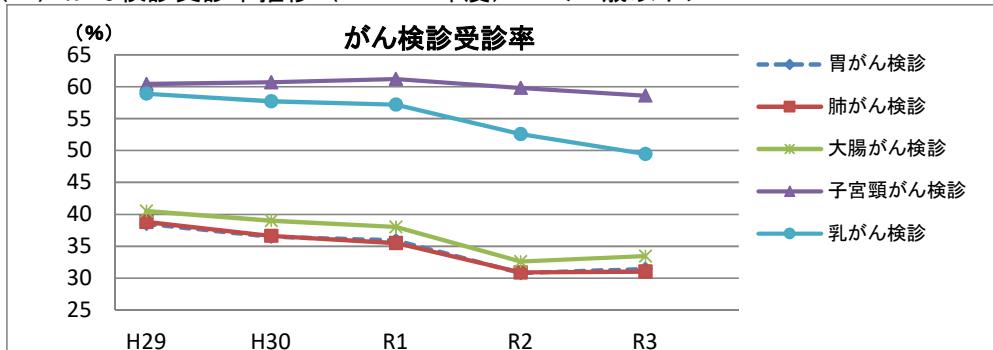
③無料クーポン事業:再掲

(単位:人)

受診者数 (受診率)	一次検診				精密検査							がん発見率			
	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果								
	初回受診者数	初回の受割診合者	異常なし	(要精検率)			異常なし	ポリープ	大腸憩室	その他	がん疑い	がん			
合計	1,385 (11.7)	646	46.6%	1,314	71 (5.13)	52	73.2	20	21	3	5	1	2	0.14	
全市	41歳	266	163	61.3%	256	10	3	30.0	1	1	-	-	-	-	
	46歳	258	111	43.0%	247	11	8	72.7	4	4	-	-	-	-	
	51歳	231	79	34.2%	222	9	7	77.8	4	-	2	-	1	0.43	
	56歳	249	96	38.6%	239	10	8	80.0	6	-	2	-	-	-	
	61歳	381	197	51.7%	350	31	26	83.9	5	16	2	1	1	0.26	
	集団検診	402	153	38.1%	380	22	16	72.7	8	5	1	-	1	0.25	
	個別検診	983	493	50.2%	934	49	36	73.5	12	16	2	5	-	1	0.10

※検診対象者数 11,816人

(7) がん検診受診率推移 (H29～R3年度) <69歳以下>

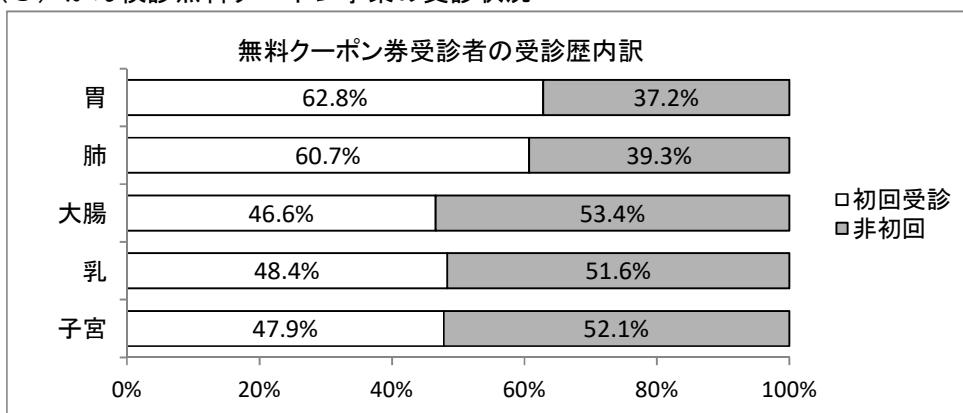


	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
胃がん検診	38.5	36.5	35.9	30.8	31.4
肺がん検診	38.8	36.6	35.5	30.9	31.0
大腸がん検診	40.5	39.0	38.0	32.6	33.5
子宮頸がん検診	60.4	60.7	61.2	59.8	58.6
乳がん検診	58.9	57.7	57.2	52.6	49.5

※子宮頸がん、乳がん検診の受診率は2年に1回受診した人の割合

*がん検診の受診者数が落ち込んだ前年度と比較して全体的には回復傾向にあるものの、69歳以下の受診率に関しては伸び悩む結果となった。若い世代への受診勧奨の取り組み強化が、依然課題である。

(8) がん検診無料クーポン事業の受診状況



*無料クーポン券の受診者の約半数が初回受診者であり、特に、胃がん、肺がん検診は共に60%を超え、無料クーポン券が受診のきっかけになっていると考える。

(9) 子宮がん検診

(令和4年6月30日現在)

①頸部がん検診結果(一次検診及び精密検査結果)

(単位：人)

	一次検診		精密検査					がん発見率		
	受診者数 (受診者率)	結果		受診者数	精検受診率	結果				
		異常なし	(要精検率)			異常なし	その他	がん疑い	がん	
合計	9,938 (33.6)	9,799	139 (1.40)	124	89.2	38	25	61	-	-
全市	20歳～	777	745	32	27	84.4	14	3	10	-
	30歳～	1,821	1,780	41	38	92.7	12	6	20	-
	40歳～	2,219	2,171	48	43	89.6	7	11	25	-
	50歳～	1,645	1,634	11	9	81.8	2	3	4	-
	60歳～	1,949	1,943	6	6	100.0	2	2	2	-
	70歳～	1,323	1,323	-	-	-	-	-	-	-
	80歳～	204	203	1	1	100.0	1	-	-	-
	集団検診	3,028	3,002	26	24	92.3	7	6	11	-
	個別検診	6,910	6,797	113	100	88.5	31	19	50	-
中央	7,766	7,654	112	100	89.3	29	22	49	-	がん発見率
国府	491	484	7	7	100.0	3	1	3	-	
福部	169	166	3	2	66.7	-	-	2	-	
河原	331	326	5	4	80.0	2	-	2	-	
用瀬	193	191	2	2	100.0	-	-	2	-	
佐治	119	118	1	1	100.0	-	1	-	-	
気高	390	384	6	5	83.3	3	1	1	-	
鹿野	177	176	1	1	100.0	1	-	-	-	
青谷	302	300	2	2	100.0	-	-	2	-	

※検診対象者数 41,588人

※受診率は、2年に1回受診した人の割合。

②無料クーポン事業：再掲

(単位：人)

	一次検診					精密検査					がん発見率	
	受診者数 (受診者率)	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果				
		初回受診者数	初回の受診割合	H P V 實施者数	異常なし			異常なし	その他	がん疑い	頸がん	
合計	2,190 (23.3)	1,048	47.9%	558	2,149	41 (1.87)	36	87.8 (1.68)	9	6	21	-
全市	21歳	92	74	80.4%	89	3	2	66.7	1	-	1	-
	26歳	159	128	80.5%	154	5	4	80.0	3	-	1	-
	31歳	241	132	54.8%	241	7	6	85.7	2	1	3	-
	36歳	317	181	57.1%	317	10	9	90.0	2	2	5	-
	41歳	331	115	34.7%	323	8	8	100.0	1	1	6	-
	46歳	315	122	38.7%	309	6	6	100.0	-	1	5	-
	51歳	250	87	34.8%	248	2	1	50.0	-	1	-	-
	56歳	248	103	41.5%	248	-	-	-	-	-	-	-
	61歳	237	106	44.7%	237	-	-	-	-	-	-	-
集団検診	513	240	46.8%	52	510	3	3	100.0	-	1	2	-
個別検診	1,677	808	48.2%	506	1,639	38	33	86.8	9	5	19	-

※検診対象者数 9,387人

* 一次検診受診者数は前年度比469人増加した。2年に1回の受診率は0.5ポイント減少した。

* 精検受診率は、昨年度と比較して1.4ポイント増加した。精検の受診勧奨に継続して取り組み、受診率向上に努めたい。

* HPV検査結果

	細胞診結果			
	異常なし	要精検	異常なし	要精検
	HPV (-)	HPV (+)		
31歳	207	2	27	5
36歳	283	3	24	7
合計	490	5	51	12

* HPV陽性者への事後フォローを丁寧に実施し、早期発見につなげたい。

(令和4年6月30日現在)

(単位:人)

③子宮体部がん検診

	体部がん検診対象者	受診者数	結果					未把握者	
			異常なし	内膜症	その他	(がんがん発見率)	検査できず		
合計		453	404	386	1	1	3 (0.74)	13	49
全市	20歳～	6	6	6	—	—	—	—	—
	30歳～	97	91	90	—	—	—	1	6
	40歳～	212	186	180	—	—	1	5	26
	50歳～	107	97	88	1	1	2	5	10
	60歳～	18	13	12	—	—	—	1	5
	70歳～	11	9	8	—	—	—	1	2
	80歳～	2	2	2	—	—	—	—	—
	集団検診	71	38	31	—	—	1	6	33
	個別検診	382	366	355	1	1	2	7	16
中央	386	342	326	1	1	3	11	44	
国府	20	17	17	—	—	—	—	3	
福部	4	3	3	—	—	—	—	1	
河原	14	14	14	—	—	—	—	—	
用瀬	5	5	5	—	—	—	—	—	
佐治	2	2	2	—	—	—	—	—	
気高	9	9	9	—	—	—	—	—	
鹿野	7	6	4	—	—	—	2	1	
青谷	6	6	6	—	—	—	—	—	

* 体部がん検診の受診率は89.2%で、前年度より0.3ポイント増加した。

未把握者への受診勧奨を重点的に行い受診率向上に努めたい。

(10) 乳がん検診

(令和4年6月30日現在)

(単位：人)

受診者数	一次検診		精密検査				がん発見率				
	結果		受診者数	精検受診率	結果						
	異常なし	(要精検率)			異常なし	その他	がん疑い	がん			
合計	5,495 (27.8)	5,235	260 (4.73)	246	94.6	97	133	1	15	0.27	
全市	40歳～	1,312	1,216	96	90	93.8	30	59	-	1	0.08
	50歳～	1,227	1,171	56	55	98.2	23	27	-	5	0.41
	60歳～	1,606	1,549	57	54	94.7	25	27	1	1	0.06
	70歳～	1,144	1,102	42	38	90.5	17	14	-	7	0.61
	80歳～	206	197	9	9	100.0	2	6	-	1	0.49
	集団検診	2,336	2,216	120	116	96.7	44	64	-	8	0.34
	個別検診	3,159	3,019	140	130	92.9	53	69	1	7	0.22
中央	4,201	4,002	199	187	94.0	70	106	1	10		
国府	260	246	14	14	100.0	8	5	-	1		
福部	84	79	5	5	100.0	-	4	-	1		
河原	221	213	8	8	100.0	2	6	-	-		
用瀬	121	115	6	6	100.0	4	2	-	-		
佐治	74	70	4	4	100.0	2	1	-	1		
気高	211	205	6	5	83.3	2	2	-	1		
鹿野	110	102	8	7	87.5	2	5	-	-		
青谷	213	203	10	10	100.0	7	2	-	1		

※検診対象者数 35,981人

※受診率は、2年に1回受診した人の割合。

(2) 無料クーポン事業：再掲

(単位：人)

受診者数	一次検診			精密検査				がん発見率					
	(再掲)		結果	受診者数	精検受診率	結果							
	初回受診者	初回の受診割合	異常なし			異常なし	(要精検率)	がん疑い					
合計	1,335 (22.4)	646	48.4%	1,258	77 (5.77)	74	96.1	26	45	-	3	0.22	
全市	41歳	251	151	60.2%	233	18	100.0	8	10	-	-	-	
	46歳	293	135	46.1%	268	25	92.0	5	18	-	-	-	
	51歳	237	92	38.8%	220	17	94.1	4	12	-	-	-	
	56歳	276	134	48.6%	268	8	100.0	4	2	-	2	0.72	
	61歳	278	134	48.2%	269	9	100.0	5	3	-	1	0.36	
	集団検診	544	251	46.1%	513	31	30	96.8	11	17	-	2	0.37
	個別検診	791	395	49.9%	745	46	44	95.7	15	28	-	1	0.13

※検診対象者数 5,960人

(3) 発見がん患者受診状況

(単位：人)

人数	初回受診		非初回受診		
	人数	発見率	人数	発見率	
がん	15	5	0.09	10	0.18

※非初回とは、過去3年間に受診歴のある者をいう。

* 乳がん検診の受診者は、前年度より256人増加した。2年に1回の受診率は前年度の29.1%より1.3ポイント減少した。

* 発見がん患者は15人、うち40～60代が7人、70代が7人であった。乳がん好発年齢である40代からの受診を促すため、引き続き受診啓発等の対策を充実させ、早期発見に務めていく。

(11) 脳ドック

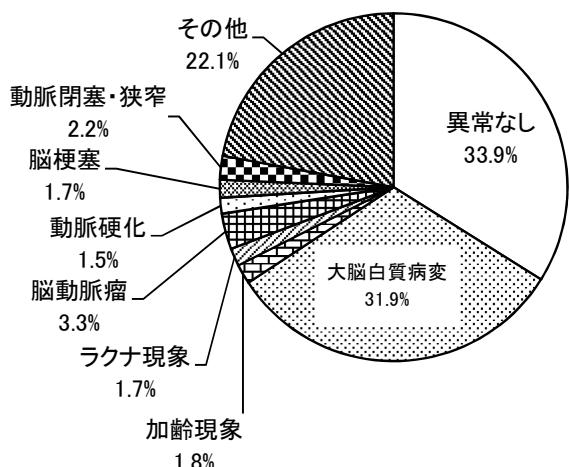
(令和4年6月30日現在)

①一次検査結果 (内訳: 国保489人 一般54人)

(単位: 人)

	受診者数	結果					
		異常なし	要指導	経過観察	要精検	要医療	治療中
合計	543	184	244	67	45	1	2
全市	40歳	10	9	-	-	1	-
	45歳	11	8	2	1	-	-
	50歳	23	15	6	-	2	-
	55歳	19	11	5	2	-	-
	60歳	38	20	16	1	1	-
	65歳	128	45	59	14	10	-
	70歳	314	76	156	49	30	1

全受診者における異常の発見率



* 前年度と比較し、受診者数は20人減少した。
受診者の8割は65歳以上が占めている。
40~50代の若年者へも検査の目的を伝え、啓発に努めたい。

②精密検査結果 (内訳: 国保41人 一般4人)

(単位: 人)

	受診者数	今後の方針					
		治療不要	薬物治療	経過観察	手術	他医療機関紹介	その他
合計	45	8	4	27	1	4	1
全市	40歳	1	-	-	1	-	-
	45歳	-	-	-	-	-	-
	50歳	2	1	-	1	-	-
	55歳	1	1	-	-	-	-
	60歳	1	-	-	-	-	1
	65歳	10	-	-	8	-	2
	70歳	30	6	4	17	1	2

	診断名								
	異常なし	脳動脈瘤	無症候性脳梗塞	無症候性脳出血	脳腫瘍	大脳白質病変	血管狭窄	動脈硬化	その他
合計	3	10	3	1	3	1	6	2	16
全市	40歳	-	-	-	-	-	-	-	1
	45歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳	-	-	-	-	-	-	-	2
	55歳	1	-	-	-	-	-	-	-
	60歳	-	-	-	-	-	-	-	1
	65歳	-	7	-	1	-	-	-	2
	70歳	2	3	3	-	3	1	2	10

* 一次検診機関の協力により、要精検者の精密検査予約までの手続きがスムーズに行われ、令和3年度は全ての人が精検受診につながった。

* 脳ドック受診者のうち、一次検診で4人、精密検査で10人に脳動脈瘤が発見され医療につながった。

(12) 骨粗しょう症予防検診
一次検診及び精密検査結果

(令和4年6月30日現在)
(単位:人)

受診者数	一次検診結果			精密検査結果				
	異常なし	要指導	要精検	受診者数	結果			
					異常なし	その他	骨粗いしょく症及び疑	
合計	1,102	480	435	187	69	23	2	44
割合 (%)		43.6	39.5	17.0		33.3	2.9	63.8
全市	25～29歳	5	4	1	-	-	-	-
	30～39歳	34	23	8	3	1	-	-
	40～49歳	148	125	21	2	1	-	1
	50～59歳	192	113	73	6	3	1	1
	60～69歳	310	111	145	54	23	9	-
	70～79歳	347	94	164	89	35	12	22
	80歳以上	66	10	23	33	6	1	-
中央	631	299	247	85	33	9	1	23
国府	81	36	31	14	4	2	-	2
福部	40	18	11	11	3	-	1	2
河原	74	27	30	17	7	3	-	4
用瀬	58	9	33	16	8	6	-	2
佐治	61	19	27	15	5	2	-	3
気高	59	23	26	10	4	1	-	3
鹿野	26	13	8	5	-	-	-	-
青谷	72	36	22	14	5	-	-	5

*要指導者・要精検者は1,102人中662人(56.4%)であった。

(13) がん対策

がんによる死亡者の減少を目指して、学校や企業に出向いての健康教育、がん検診に関する普及啓発等を行った。

① 出張がん予防教室 (単位:回)

区分	出張がん予防教室	回数	
		学校	企業等
鳥取市	8	7	1
4町	1	1	-

② がん検診推進パートナー企業 (単位:件)

区分	がん検診推進パートナー企業の認定期数 (新規)	がん検診推進パートナー企業訪問件数	
		新規	既存
鳥取市	260 (3)		3
4町	30 (-)		-

③ 東部圏域がん対策推進のための会議等の開催

- ・東部圏域がん対策担当者連絡会(書面開催)
 - ・鳥取市がん対策推進会議及び鳥取県東部圏域がん対策推進会議合同会議(書面開催)
- ※新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、書面開催とした。

(14) がん患者の社会参加応援事業(ウィッグ・補整下着購入費助成)

がん治療による外見変貌を補完する補整用具等の購入費用の助成を行った。

(単位:件)

区分	補助合計	購入費用	
		ウィッグ	補整下着等
鳥取市	65	54	11
4町	16	9	7

(15) 抗がん剤治療副作用対策支援事業(頭皮冷却用インナーキャップ・脱毛予防用品購入用助成)

抗がん剤治療による脱毛対策ケアに使用する用品の購入費用の助成を行った。

(単位:件)

区分	補助合計	購入費用	
		キャップ	脱毛予防用品
鳥取市	7	-	7
4町	2	-	2

(16) 健康教育・健康相談

[目的]

生活習慣病の予防や介護予防を図るために、健康の増進に関する正しい知識を普及、心身の健康に関する個別の相談及び必要な助言・指導を行うことで、健康の保持増進に資する。

①健康教育（地域ふれあい事業、精神保健事業、歯科保健事業、栄養改善事業は除く）

種別	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
病態別 〔・糖尿病・高血圧 ・心臓病・肥満〕	回数	22	9	6	4	-	1	-	-	-	1
	延人員	211	95	56	33	-	17	-	-	-	10
生活習慣病予防 ・その他	回数	47	26	-	2	1	3	7	-	5	3
	延人員	874	498	-	25	13	44	114	-	121	59
ロコモティブ シンドローム (運動器症候群)	回数	13	4	-	-	2	6	-	-	-	1
	延人員	237	110	-	-	62	59	-	-	-	6
計	回数	81	39	6	6	3	10	7	-	5	5
	延人員	1,322	703	56	58	75	120	114	-	121	75

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康教育の回数や人数が昨年度と比較し減少傾向となった。

・ロックでの実施状況

(糖尿病予防教室、フォローアップ教室、友の会交流等、ロックで実施したもの)を掲載)

種別	内訳	計	中央	福部・鳥取東	河原・用瀬・佐治	気高・鹿野・青谷
病態別 〔・糖尿病・高血圧 ・心臓病・肥満〕	回数	6	-	-	3	3
	延人員	49	-	-	29	20

・介護予防事業 実施状況

介護予防事業 (ロコモ・フレイル 認知症)	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	回数	52	17	12	13	4	4	-	-	1	1
	延人員	559	210	72	118	48	72	-	-	16	23

*高齢化に伴い生活習慣病予防に加えて介護予防教育の必要性は各地域で高くなっている。各地域の状況に応じて、地域包括支援センターなど関係機関と連携しながら取り組んでいくことが必要と考える。

②健康相談（地域ふれあい事業、精神保健事業、歯科保健事業、栄養改善事業は除く）

相談内容	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
重点健康相談 糖尿病	回数	7	2	2	3	-	-	-	-	-	-
	延人員	83	56	15	12	-	-	-	-	-	-
高血圧	回数	4	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	延人員	41	23	18	-	-	-	-	-	-	-
骨粗鬆症	回数	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	延人員	7	-	-	-	-	7	-	-	-	-
総合健康相談ほか	回数	50	7	-	1	-	13	26	3	-	-
	延人員	501	223	-	5	-	74	186	13	-	-
計	回数	62	11	4	4	-	14	26	3	-	-
	延人員	632	302	33	17	-	81	186	13	-	-

*昨年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康ひろばやイベント、公民館まつり等の中止があり、回数と人数の実績は大幅には増えなかった。

【糖尿病予防に関する健康教育】

健康・子育て推進課、鳥取東保健センター、各総合支所では、健康増進法、「とっとり市民元気プラン2021」に基づき、特定保健指導非該当者への生活習慣病予防に重点的に取り組んでいる。その中でも特に糖尿病予防対策を重点活動として取り組んでいる。

①糖尿病予防教室

鳥取市の糖尿病の有所見者割合（予備群含）は毎年5割以上を占めており、糖尿病の発症及び重症化を予防することの重要性が示唆される。このことから、教室等によって健診結果から自らの健康状態を認識し、生活習慣を振り返る動機づけとなり、自らが行動変容できるように支援している。

	教室名	回数	実(延)人員	内 容 等
中央		半日2日間のコース(2回)	14 (24)	昨年度に引き続き、半日2日間コースとし、保健師・栄養士の講話、健康運動指導士の講話・運動指導を実施。各自で立てた目標を発表してもらい、参加者全員で共有することで意欲向上につながった。教室終了後のアンケートでは、病態や食生活・運動の大切さについて全員が理解できたと回答。「実際に教えてもらうと効果が分かった」との声もあり、生活習慣改善について正しい知識を身につける機会となった。
福部	血糖値を下げる教室	半日2日間のコース	8 (15)	保健師・栄養士の講話、健康運動指導士の講話・運動指導を実施。気付きや学びを個人ファイルに書き留める時間を設け、生活の振り返りや自分に合った目標を立てられるよう工夫した。2日目の運動指導の実施前に保健師・栄養士より1日目の復習を行ったことで生活習慣の改善の必要性の再認識してもらったうえで運動の講話・実技に繋げることができた。またグループワークで、これまでの取り組み状況について共有したことが、継続への意欲向上につながった。
鳥取東地域 ・国府 ・東中学校区 ・桜ヶ丘中学校区	元気アップ糖尿病予防教室	半日コース(2回) フォローアップ教室(1回)	8 (18)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、半日コースを2回と5か月後のフォローアップを1回、昨年度に引き続き実施した。コロナの感染流行による受講控えが懸念されたが、自主的な申し込みだった。フォローアップも含めて5か月間で3回実施したこと、意識が継続でき、取り組みを継続できた方が多かった。教室前後のアンケートでは、からだや体調の変化を感じた、健康を意識するようになったと回答された方がほとんどであった。初めての取り組みとして、計測にてベジチェックを実施し、野菜の充足度を測定することで、食生活の意識改善につながったと考える。
南部地域 ・河原 ・用瀬 ・佐治	元気アップ糖尿病予防教室	半日コース(2回) フォローアップ教室(1回)	18 (29)	医師・管理栄養士、運動指導士による講話や実践で具体的な知識や生活習慣の見直し、改善方法について学んだ。参加者のアンケートから全員が分かりやすかったと回答。「なぜ自分がこの教室に呼ばれたかやっと理解ができた。」との声もあり、現状を理解し生活習慣を振り返ることができていた。グループワークの代わりに各自で目標を立て発表してもらったが、参加者全員で目標を共有することで意欲向上につながった。フォローアップ教室では糖尿病友の会と教室参加者で情報交換ができ参考になったとの意見が多数あった。
西部地域 ・気高 ・鹿野 ・青谷	糖尿病予防教室	半日コース(2回) フォローアップ教室(半日1回)	10 (20)	人数制限等の感染症予防対策を行い、実施した。医師・栄養士の講話や健康運動指導士の実践等を通して、糖尿病の基礎知識・生活改善の方法を学び、自分の健康状態を把握し、自分に合った目標が設定できた。例年、グループワークは、参加者同士のモチベーションの継続につながるため、今年度も、感染症防止に気をつけて実施。「自分以外の人の話を聞けてよかったです」等の声があり、アンケートにおいても「ためになつた」と9割以上が回答し、グループワークを活かした教室となつた。
計		12回	58 (106)	

②糖尿病食生活教室

	教室名	回数	実(延)人員	内 容 等
全市	糖尿病食生活教室	4回	45 (45)	空腹時血糖値、隨時血糖値及びHbA1cのいずれかが高めの該当者及び既に医療機関において治療段階の人を中心とし、今年度はフォロー教室を中止し回数を4回とし、幅広い年代層での参加者の増加を図った。
計		4	45 (45)	

③糖尿病予防友の会支援

目的：糖尿病の発症・重症化予防のための自主グループ

対象者：糖尿病予防教室修了者、会の目的に賛同する人

	友の会名称	内 容	回数	実(延)人員
中央	山茶花クラブ	情報交換・振り返り 勉強会（健診結果から自分の状態を知る、歯の健康等）、運動、ウォーキング、しゃんしゃん体操、健康チェック、血液検査等	8	19 (63)
福部	らっちゃん健康くらぶ		4	18 (41)
鳥取東	桜の会		4	9 (27)
河原	がんばろう会		10	12 (73)
用瀬	さつき会		9	10 (42)
佐治	みつまた会		10	31 (96)
気高	糖尿病予防で健康づくり友の会		8	10 (60)
鹿野	コスモス会		6	4 (16)
青谷	糖尿病予防とともに会		7	15 (59)
計			66	128 (477)

*河原、佐治では、医師の講演も行われた。

*参加者同士が様々な活動を通して、意見交換ができる場となっている。

・友の会交流会

支所	内 容	回数	延人員
用瀬 佐治	交流会を佐治で開催。健康チェックを実施し、それぞれが実施していない項目の見方について学んだり評価の仕方について教えあつたりした。ボッチャを3人1組のチームで実施し交流を深めあつた。	1	12
気高 鹿野 青谷	糖尿病予防とともに会（青谷）を中心に、測定（血圧・体組成）、しゃんしゃん体操を実施。その後、各地域の活動状況や、糖尿病予防の為に各自が取り組んでいることについて情報交換を行った。	1	8

【生活習慣病予防に関する健康教育】

全市	事 業 名	回数	延人員	内 容 等
全般	健康づくり 講演会	1	-	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会ではなく、ケーブルテレビによる放送とし、「自宅でできる健康づくり～元気な身体でロコモ・フレイル予防～」というテーマで視聴方式で行った。
食生活	適塩講座	1	12	血圧の高い方及びその家族を対象に、適正な食塩摂取の方法や高血圧等の生活習慣病の予防について、講話、調理デモンストレーション、血圧測定などを講義形式で行った。
タバコ	世界禁煙デー啓発イベント			新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを中止。

【運動習慣に関する支援】

	事業名	回数	延人員	内容等
福部	バウンスボールクラブ福部	20	95	健康づくり地区推進員会が活動を支援している。健康増進を目的に、中高年の運動習慣づくりの場となっている。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、回数や参加者数の減少があったが、クラブ員で話合いながら実施した。参加者にとってバウンスボールが楽しみとなっている。今後もバウンスボールの普及啓発支援をしていく。
河原	「てくてく歩こう会」グループ支援	9	111	毎月様々なコースのウォーキングを仲間と共に楽しみ、運動習慣の必要性を感じながら健康づくりに努めている。感染対策に気を付けながら、運動研修や町外でのウォーキングも実施し、会員の意欲向上に繋がっている。
用瀬	「流しひなあるこう会」グループ支援	14	97	定例の活動として町内ウォーキングを主にグラウンドゴルフや健康に関する学習会等も取り入れている。体力測定会も行い、会員の活動の成果の実感と意欲向上にもつながっている。会員数は増加しており、地域の自主グループとして活発的な活動ができる。
鹿野	続けてみようストレッチ！	4	91	新型コロナウイルス感染症防止のため、回数や参加者数の減少があったが、年齢を問わずできるストレッチとして、実施の際には多くの方が参加されている。

【健診（検診）結果説明会】

	回数	延人員	内容等
中央	2	26	地区で実施した集団健診受診者を対象に、健診結果の見方を説明し、栄養士・保健師等による健康診査（特定・高齢者）の結果説明・健康相談を実施した。
鳥取東	3	14	集団健診及び人間ドック・各医療機関での健康診査受診者、および希望者を対象に、栄養士、保健師等による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。
福部	1	5	集団健診受診者を対象に、栄養士・保健師による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。
用瀬	2	4	用瀬作業所の健康診査（特定・高齢者・健康診査）受診者を対象に、個別で結果説明及び健康相談を実施した。今後の健康状態や生活・食生活について一緒に考えてもらう場とした。
佐治	1	13	作業所の集団健診受診者を対象に、結果説明・健康相談を実施した。集落の結果説明は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
気高	3	13	就労継続支援B型作業所の健康診査受診者を対象に保健師による結果説明及び個別健康相談を実施。肥満や生活習慣病の罹患が多く、健康状態や生活習慣について考えてもらう機会とした。
鹿野	1	2	地区で実施した集団健診受診者を対象に、管理栄養士・保健師による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。
青谷	△	△	計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
計	13	77	

【グループ支援】

	事業名	回数	延人員	内容等
鹿野	にこにこ教室	11	88	認知症予防を目的として、毎月2回集まり、鳥取西地域キャラバン・メイト連絡会等の協力を得ながら、企画から運営まで自分たちで行っている。新型コロナウイルス感染症予防に留意し、情報交換や体操、レクリエーションなどを実施した。

(17) 訪問指導

健診結果で保健指導が必要な人への生活習慣病予防を中心に、保健師・看護師・栄養士が訪問指導を実施した。

①生活習慣病予防

(単位：人)

区分	対象者		計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
要指導者	ハイリスク者 ^{※1}	～39歳	実 延	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		40～64歳	実 延	4 4	- -	- -	3 3	- -	- -	1 1	- -	- -
		65～74歳	実 延	33 34	2 2	4 5	19 19	- -	2 2	2 2	3 3	1 1
		～39歳	実 延	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		40～64歳	実 延	73 73	68 68	- -	- -	- -	- -	5 5	- -	- -
		65～74歳	実 延	245 245	241 241	- -	- -	- -	- -	4 4	- -	- -
	保健指導他 ^{※3}	～39歳	実 延	1 1	1 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
		40～64歳	実 延	4 4	- -	- -	- -	- -	- -	4 4	- -	- -
		65～74歳	実 延	34 35	- -	7 8	1 1	- -	1 1	25 25	- -	- -
		計	実 延	394 396	312 312	11 13	23 23	- -	3 3	40 40	4 4	1 1

※¹ハイリスク者：健診の結果、血圧や脂質、血糖などに高度の異常所見を認め、受療や生活習慣の改善が特に必要な者。

※²受診勧奨該当者

※³保健指導等該当者：「標準的な健診、保健指導プログラム（厚労省）」に基づく基準による対象者
＊年度当初は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での訪問指導を制限したこともあり、訪問件数は減少した。

②その他（閉じこもり予防・介護家族者・寝たきり者・認知症の者等）

(単位：人)

40～64歳	実	9	65～74歳	実	18	75歳以上	実	16
	延	20		延	38		延	21

4 栄養改善事業

[目的]

健康づくりの基礎となる食生活について、ライフステージに応じた正しい知識の普及を図ることにより、正しい食生活を実践できるように支援し、市民の健康の保持増進につなげる。

(1) 母子栄養改善事業

①健康診査時栄養相談

区分 内訳	6か月児	1歳6か月児	3歳児	計
回数	60	59	58	177
延人員	1,291	1,315	1,412	4,018

②健康教育

区分 内訳	離乳食講習会	アトピーっ子教室	妊婦教室	計
回数	40	2	7	49
延人員	418	12	77	507

③食育教室

区分 内訳	子育てサークル	幼児食教室	保育園・幼稚園	小・中・高等学校	その他	計
回数	18	3	-	-	2	23
延人員	132	48	-	-	58	238

④健康相談及び訪問指導

区分・内訳	相談内容	離乳食	幼児食	授乳	間食(補食)	調理方法	生活リズム	計
来所	延人員	156	31	14	7	6	3	217
電話	延人員	64	12	3	1	1	1	82
オンライン	延人員	1	1	-	1	-	1	4

区分 内訳	離乳食講習会後の相談	赤ちゃんサローネ後の相談	幼児食教室・サークル後相談	その他母子事業相談	訪問指導
回数	40	11	7	21	8
延人員	166	19	27	55	8

(2) 成人栄養改善事業

①健康教育

(地域別)

区分	地区	合計		中央		福部		鳥取東		河原		用瀬		佐治		気高		鹿野		青谷	
		講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習
生活習慣病	1 21	1 21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
糖尿病	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高血圧	3 24	2 17	-	-	-	1 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
脂質異常	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中止
骨粗鬆症	1 7	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高齢者栄養	7 95	5 55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 40	-	-
認知症予防	- -	- -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 31	2 31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	14 178	10 124	-	-	-	1 7	-	-	-	-	1 7	-	-	-	-	-	-	-	2 40	-	-

*区分の上欄は延回数、下欄は延人員

(地域合同事業別)

	合計	中央	福部	鳥取東	南部地域	西部地域
糖尿病 予防教室	12	2	2	3	2	3
	89	13	15	18	23	20

区分	合計		中央・福部・鳥取東		南部地域		西部地域	
	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習
精神 デイケア	4	中止	1	中止	2	中止	1	中止
	24		4		10		10	

区分	合計		中央		福部		鳥取東		河原		用瀬		佐治		気高		鹿野		青谷	
	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習
糖尿病友 の会支援	12	中止	1	中止	4	中止	1	中止	-	中止	-	中止	2	中止	2	中止	1	中止	1	中止
	95		8		41		8		-		-		13		13		2		10	

*区分の上欄は延回数、下欄は延人員

(全市事業)

区分 内訳	糖尿病食生活教室		糖尿病食生活教室 フォロー教室		適塩講座	
	講話	実習	講話	実習	講話	実習
延回数	4	中止	-	-	1	中止
延人員	45		-	-	12	中止

(職域対象)

回 人	生活習慣病予防講座
	講話
	回
	3

②健康相談及び訪問指導

区分・内訳	相談内容		生活 習慣病	糖尿病	高血圧	脂質 異常症	骨粗鬆症	肥満	その他	計
	来 所	延人員	1	5	-	-	1	6	9	22
電 話	延人員	2	12	-	2	2	24	16	58	

区分 内訳	健診結果 説明会		総合相談		医療機関 より紹介		訪問指導	
	回 数	延人員	1	15	-	4		
延人員	6		70		-	4		

(3) 食育地区組織養成・支援事業

①食育推進員養成講座・教育研修・スキルアップ研修会

区分	回数	延人員	会場数
スキルアップ研修会	2	49	2
養成講座	15	112	2
教育研修	中止		

②地区組織支援

回数	会議 等
29	



(4) 食育推進、食品表示相談等

食育関係者研修会、食品表示講習会の開催、食品表示法、健康増進法に基づいた食品の適切な広告・表示に関する相談に対応する。

①食品表示関係

(単位：件)

区分	食品表示相談	食品表示指導	立入指導
鳥取市	133	126	9
4町	14	13	5

うち、健康増進法に基づいた相談・指導件数 (再掲) (単位：件)

区分	誇大表示相談	指導	立入指導
鳥取市	12	12	4
4町	2	2	2

(単位：件)

区分	相談受付 食品数	指導・ 助言件数	主な指導・助言の概要
食品表示法 (栄養成分表示、機能性表示食品)	483	149	・食品表示基準に基づく栄養成分表示を行うこと。 ・食品表示基準に基づく栄養成分表示に修正すること。
健康増進法 (特別用途食品、誇大表示等)	37	21	・虚偽誇大表示のおそれがあるため、修正すること。 ・健康保持増進効果等の表示について、科学的根拠を持って事実に基づく表示を行うこと。

②食育地域ネットワーク強化事業

県民の健全な食習慣の定着等を推進するため、幅広い分野の食育実践者同士のネットワークづくり、資質向上、食育活動の地域への定着等を図る。

- 令和3年度東部圏域食育関係者研修会の開催

令和4年2月21日(月) オンライン開催

内容：講演「食育とSDGsのカギをにぎる和食のおいしさ」

伏木亨先生(京都大学名誉教授 甲子園大学副学長)

事例発表(きらりと光る食育活動関連1例)

参加者：食育関係者91名(市内57名、4町33名、県外1名)

(5) 特定給食施設等指導等

健康増進法に基づく特定給食施設(学校給食センター、老人福祉施設等)等に対し、栄養管理及び衛生管理の見地から必要な指導及び助言を行い、利用者の栄養状態の改善及び健康増進を図る。

①対象施設の選定方針

《対象施設》「鳥取市健康増進法施行細則」及び「鳥取市特定給食施設等栄養管理指導実施要綱」に基づく届出により、把握している特定給食施設及びその他の給食施設。

《選定基準》 新規届出施設、管理栄養士・栄養士未配置施設、新任管理栄養士・栄養士のみの施設、過去の指導事項多数の施設、長期巡回未実施の施設

※病院については、医療法により、立入検査の対象となった施設

②指導監査実施体制

- 栄養指導員(管理栄養士) 5名

③当年度重点指導監査事項

- 栄養管理について、対象者の把握、計画、実施、評価等が適切に行われているか(PDCAに基づく栄養管理)状況を確認する。

(令和4年3月31日現在)

区分	特定給食施設数 (1回につき100食以上)	その他の給食施設数 (1回につき50食以上)
鳥取市	87施設	34施設
4町	18施設	9施設

④巡回指導の推移（4町施設分含む）

年度	令和元年	令和2年	令和3年
届出数	143施設	146施設	148施設
巡回施設数	50施設	51施設	32施設
指導件数	67	123	62
助言件数	72	144	79

(ア) 巡回指導の状況

(単位：件)

区分	巡回指導数	改善指導事項		主な改善指導事項の概要
		施設数	指導項目数	
特定給食施設	26	20	47	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士又は栄養士の配置について（児童福祉×2件） ・食事提供における施設利用者状況の定期的な把握、栄養管理、品質管理及び評価の実施について。（学校×2件、老人福祉×2件、児童福祉×9件、社会福祉×1件、事業所×1件、一般給食センター×1件） ・利用者の状況に配慮した献立作成について（学校×1件、児童福祉×4件、一般給食センター×1件） ・献立表の掲示、栄養成分表示等による利用者への情報提供について（学校×8件、老人福祉×2件、児童福祉×6件、事業所×1件、一般給食センター×1件） ・献立表その他必要な帳簿等の適正な作成及び備え付けについて（学校×2件、児童福祉×2件、一般給食センター×1件） ・食品衛生法（昭和22年法律第233号）その他関係法令の定めによる衛生管理の実施について。（※助言51件） ・災害時の体制及び備蓄等について（※助言2件）
その他の給食施設	6	6	15	<ul style="list-style-type: none"> ・特定給食施設に準じた指導内容（病院×5件、老人福祉施設×1件、児童福祉×8件、社会福祉×1件） ・衛生管理の実施等について（※助言25件）

※ 助言は国通知の内容について行ったものであるため、指導件数には含めない。

(イ) 研修会の開催

- ・令和3年度鳥取市特定給食施設等栄養管理実務者研修会 ハイブリット方式による開催
令和4年3月14日（月）、15日（火）鳥取市役所本庁舎6階第5～8会議室
内容：テーマ「特定給食施設等における栄養管理のポイント」
～日本人の食事摂取基準（2020年版）の考え方を踏まえて～

講演、行政説明

参加者：特定給食施設等で栄養管理を行う管理栄養士・栄養士及び事務局等93名
(参加者内訳：市69名、4町16名、事務局8名)

(ウ) 東部圏域栄養管理情報連携サポート事業

- ・ワーキング部会の開催 年2回
(第1回：10月13日、第2回：令和4年1月7日)
- 参加者：病院、介護老人保健施設及び老人福祉施設の管理栄養士5名、事務局4名 計9名
- ・検討会の開催 新型コロナウイルス感染状況により中止
- ・介護支援専門員研修会の開催 計8回
(9月17日、10月15日、10月18日、10月21日（午前・午後）、10月25日、11月2日、11月18日)

内容「東部圏域栄養管理情報連携サポート事業とは」

講義、行政説明、嚥下調整食の食形態等確認体験

参加者：東部圏域内地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所職員144名
(参加者内訳：市125名、4町19名、ワーキング部会3名、事務局3名)

- ・介護支援専門員研修会に係る実務者協議
(令和3年7月19日)

参加者：検討会委員2名（介護支援専門員）、ワーキング部会委員3名（介護老人保健施設及び老人福祉施設の管理栄養士）事務局4名 計9名

・実態調査の実施 調査期間：①令和3年1月 ②令和4年2月 ③令和4年3月

内容：①「療養者の栄養管理情報提供に関する調査」

対象施設：東部圏域内医療機関・介護保険施設 59施設 回答率：100%

②「介護食の取扱状況について」

対象施設：東部圏域内介護・看護関連事業所 178事業所 回答率：27.5%

対象店舗：調剤薬局・薬店・ドラッグストア 144店舗 回答率：54.9%

・事業ツール更新（栄養管理状況連絡票（施設間、在宅）、食形態対応マップ、各施設食形態対応一覧表）

（6）国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査の実施状況

令和3年度中止

（7）その他

①東部圏域行政管理栄養士栄養改善業務検討会

1市4町の行政栄養士が圏域や地域の課題に対し、栄養改善および食育推進活動が適切かつ円滑に実施できるよう、グループワークや情報交換を行い、技術的支援を行う。

・令和3年6月18日（金）・9月3日（金）・令和4年2月18日（金） 計3回実施

内容：大規模災害時における栄養・食生活支援活動について（ケースメソッド、アクションカード等）

（8）第3次鳥取市食育推進計画の推進について

①計画の概要

食育基本法に基づく「市町村食育推進計画」および「第4期鳥取市健康づくり計画 とっとり市民元気プラン 2021」の分野別計画であり、本市における食育推進関係各課の計画や方針と連携をとりながら市民と協働で推進していくものと位置付ける。

②計画の期間

令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間

③計画の基本理念及び基本方針

前計画から引き続き『自然の恵みに感謝し、「食」を通して健全な心身と豊かな人間性を育み、健康的な食習慣を身につけると共に、豊かな食文化を継承していく』を基本理念とし、

（1）すべての年代において健康的な食習慣を身につける。

（2）食に関する体験を通じ、食べ物に感謝する心を育て、食を楽しむ。

（3）食品の安全性について関心を持ち、地元産の食材を活用する。

（4）伝統的な食文化を継承する。

の4つの基本方針をもとに計画を推進する。

④令和3年度実施内容

（ア）食育月間（6月）の取組

・食育推進関係各課においてポスター掲示、のぼり旗掲示

・駅南庁舎（鳥取市立図書館）：朝食摂取、野菜摂取啓発のパネル展示及びリーフレット配布等

・離乳食講習会等集団の教室及び乳幼児健診栄養相談時に啓発ティッシュ・リーフレットの配布

・CATVにて食育月間の取り組みを放送

・福祉の店「レインボウ」にて野菜販売時にリーフレット配布

・学校給食に鳥取市の姉妹都市であるドイツ・ハーナウ市と韓国・清州市のそれぞれの家庭料理を取り入れた献立を8つの学校給食センター管内の小・中・義務教育学校の全56校に提供

・鳥取市立保育園において、旬の魚介類の写真展示をし、また、園児に旬の飛び魚を給食でから揚げや団子汁にして提供

・鳥取市立保育園において、菜園で収穫した夏野菜を天ぷらや炒め物、和え物等にして提供

（イ）その他食育の取組

・地域食堂（こども食堂）において、食事提供を通して食育の啓発

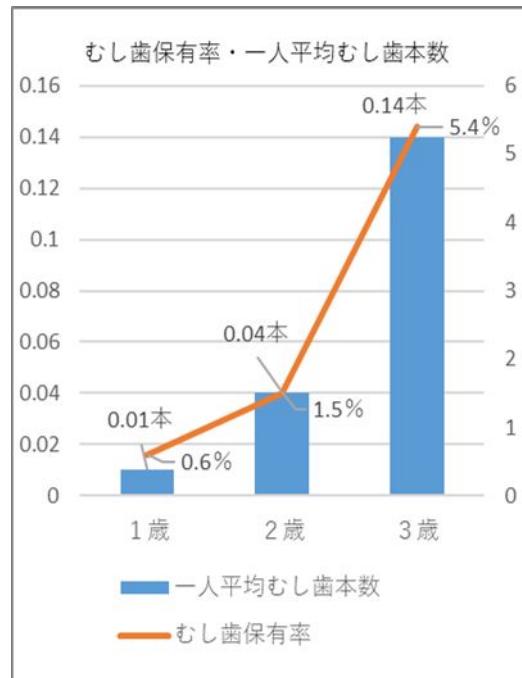
・地元の特産品を活用したイベントの開催

5 歯科保健事業

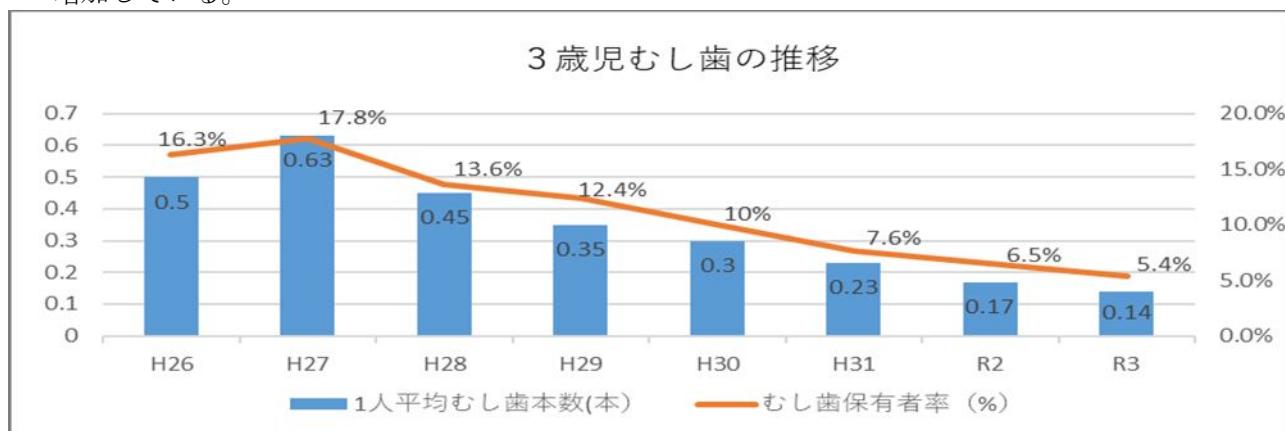
(1) 乳幼児歯科保健

① 幼児歯科健康診査実績（全市対象）

	1歳6か月 児歯科健診	2歳児 歯科健診	3歳児 歯科健診	
対象者数	1,341人	1,353人	1,436人	
受診者数 (受診率)	1,328人 99.0(%)	1,198人 88.5(%)	1,417人 98.7(%)	
むし歯の状況	むし歯保有者数 (率)	8人 0.6(%)	18人 1.5(%)	77人 5.4(%)
	むし歯総数	18本	63本	205本
	一人平均むし歯本数	0.01本	0.04本	0.14本
	未処置歯数	18本	43本	190本
	処置歯数 (率)	0本 0.0(%)	4本 6.3(%)	15本 7.3(%)
その他	咬合異常のある者	123人	148人	228人
	軟組織疾患のある者	134人	79人	161人



* むし歯保有者率は1歳6か月児歯科健診で0.6%、2歳児歯科健診で1.5%だが、3歳児歯科健診で5.4%と増加している。また、一人平均むし歯本数も2歳児0.04本から3歳児になると0.14本と増加している。



* 3歳児歯科健診のむし歯の状況は、一人平均むし歯本数、むし歯保有者率ともに減少傾向にある一方、処置歯率は下がっている。むし歯保有者の中には、一人で多数のむし歯を保有するケースもある。

② 6歳臼歯保護推進事業

内容：年長児とその保護者を対象に歯科医師による講話とブラッシング指導、口腔機能向上の話と遊びを集団指導にて実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限や実施内容の変更が多く、中止の園も見られた。

	幼稚園（幼保園含む）	保育園	計
対象施設数	20	37	57
実施施設数	14	29	43
実施対象児数	777	853	1,630
参加状況	年長児	557	1,059
	保護者他	456	643

③ その他の事業

事業名	回数	延人員	内容等
妊婦歯科健診	545件	545人	鳥取市に住居を有する妊婦を対象とした負担金無料の歯科健診。
母子歯科保健教育	24回	324人	地区の乳幼児サークル、子育て支援センターなどでむし歯予防の講話、ブラッシング指導の実施。

(2) 成人歯科保健

①ふしみ歯科検診推進事業（令和3年度受診者数）

	対象者	受診者 数	受診率 (%)	現在歯・喪失歯の状況（平均）						判定結果（人）		
				現在 歯数	健全 歯数	未処置 歯数	処置 歯数	要補 綴歯数	欠損 補綴歯 数	異常 なし	要指導	要精検
全市	11,630	320	2.8	26.8	13.6	0.9	12.4	0.2	1.3	33	54	233
40歳	2,210	63	2.9	28.6	19.8	1.0	7.8	0.1	0.0	4	18	41
45歳	308	9	2.9	28.8	16.6	1.4	10.8	0.0	0.0	3	1	5
50歳	2,593	69	2.7	28.7	15.4	0.7	12.6	0.0	0.3	8	13	48
55歳	312	4	1.3	26.1	8.3	1.0	16.8	0.5	2.0	-	-	4
60歳	2,361	72	3.0	26.6	11.8	0.7	14.1	0.2	1.0	8	10	54
65歳	1,092	47	4.3	25.6	10.0	0.4	15.2	0.4	2.2	6	2	39
70歳	2,754	56	2.0	23.7	9.7	1.4	12.6	0.4	3.8	4	10	42

*受診率は低い状態である。受診者のうち73%の方が精密検査の必要があった。

②ふしみ歯科検診推進事業（令和2年度要精密検査者検査結果）

	対象者	受診者数		要精密 検査者 数	精密検査受診の有無別人数					
		男	女		精密検査受診者			未受診	未把握	
					異常認めず	歯周病であった者	歯周病以外であった者			
40歳	2,394	30	65	66	4	35	10	17	-	
50歳	2,298	11	24	27	3	17	1	6	-	
60歳	2,298	11	31	36	3	29	-	4	-	
70歳	3,006	21	44	50	7	36	-	7	-	
計	9,996	73	164	179	17	117	11	34	-	

*精密検査受診者のうち65%が歯周病という結果であった。

③高齢者等歯科対策推進事業

		合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
在宅訪問調査	受診者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設訪問調査	実施回数	17	17	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診者	75	75	-	-	-	-	-	-	-	-

*施設訪問調査は、6施設21回の申し込みがあったが、1施設4回が中止となった。

④口腔ケア研修会

演題：「適切な口腔ケア」は「キュアに繋がる」

講師：国民健康保険智頭病院 歯科 科長 久保 克行さん

参加者 12人（会場聴講1名 リモート聴講11名）

*高齢者等施設職員対象の研修会であった。施設職員向けの高度な内容で、日頃から高齢者の口腔ケアに携わっている職員からは、大変勉強になったという感想があった。

⑤成人歯科健康教育・健康相談実施状況

	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
実施回数	13	2	-	-	1	1	6	-	2	1
参加人員	95	17	-	-	5	10	40	-	16	7

*健康教育は高齢者が対象の教育を中心であった。

⑥高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業（オーラルフレイル予防教室）

中学校区	合計	鳥取南	江山
実施回数	3	1	2
参加人数	21	9	12

*口腔機能の大切さを理解してもらいオーラルフレイル予防について学んだ。

6 歯科保健・糖尿病予防対策東部圏域保健事業

(1)歯科保健対策等

歯科保健関係者研修会の開催等による歯科保健の推進と人材育成、歯と口腔の健康づくり推進事業として学校、事業所等に歯科医師、歯科衛生士を派遣し歯科健康教室を実施し、むし歯予防、歯周疾患の罹患率の低下を図る。

ア デンタルプロフェッショナル派遣事業

モデル校	実施日	内容
八頭町立船岡小学校	令和3年6月10日（木）	・歯科医師による講話 (むし歯予防について)
	令和3年9月16日（木）	・歯科衛生士による歯科保健指導
	令和3年12月16日（木）	(適切なブラッシング方法について等)
鳥取市立東郷小学校	令和3年10月14日（木）	

R3年度より新たな2校がモデル校となった。

イ 職域・地域における歯周疾患検診促進パイロット事業

項目	件数	実施日	内容
職域 (鳥取市内事業所)	3	令和3年7月29日・11月2日/2回	・生活歯援プログラムの実施
		令和3年11月10日・令和4年2月 14日/2回	・歯科医師による口腔内診査
		令和3年11月11日・令和4年2月 3日/2回	・歯科衛生士による歯科保健 指導
地域（鳥取市内）	1	令和3年7月5日・12月6日/2回	

職域については、事業所職員を対象とし、2回目は歯科保健指導に加えて保健師による個別保健指導も行った。本事業実施後には歯周病予防等の歯科保健対策への興味関心が高まった。

ウ 親子のよい歯のコンクール（一次審査）の実施状況

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ 歯科保健対策（8020運動）推進事業

事業名	開催日	内容
鳥取市歯科保健推進協議会及び東部圏域歯科保健推進協議会 合同会議	令和4年1月13日（木）	・鳥取県東部圏域における歯科保健の課題等について検討
東部地域歯科保健関係者研修会	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	

鳥取市歯科保健推進協議会及び東部圏域歯科保健推進協議会合同会議については、東部圏域1市4町の歯科保健事業の実施状況及び課題等を検討し、今後の東部圏域の歯科保健施策の方針について協議した。

(2)糖尿病予防対策連携強化事業

糖尿病予備群、糖尿病有病者等を取り巻く様々な課題について知識を深め、関係機関が連携・協力し、対策を検討することで、東部圏域における糖尿病予防対策の推進を図る。

事業名	開催日	内容
東部圏域糖尿病 予防対策検討会	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため書面開催	令和3年度の事業実績及び令和4年度活動予定、 課題や検討したい事項等の意見を取りまとめた。
東部圏域糖尿病 予防対策研修会	令和3年12月15日（水）	市町の保健指導従事者等を対象に事例検討を実施。 19名参加。

【糖尿病予防啓発活動】

事業名	開催日	内容
世界糖尿病デー・ 世界COPDデー 啓発活動	令和3年11月19日（金）	医療費適正化推進室と連携して血糖値測定・保健 指導、栄養相談、クイズや啓発展示等を実施。 来場者68名。

7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

(1) 目的

慢性疾患や認知機能の低下、社会的な孤立など多様な課題を抱えている高齢者の増加に伴い、保健分野、医療分野、介護分野の連携した取り組みが不可欠となってきている。保健事業と地域支援事業を一体的に実施することで、多様化する高齢者の課題に迅速かつ効果的にアプローチし、高齢者が健康で自立した生活を送りながら安心して暮らせる地域社会を構築する。



(2) 実施圏域

令和3年度：3圏域（南中学校区、江山園校区、湖東中学校区）

(3) 事業内容・実績

【高齢者に対する個別支援（ハイリスクアプローチ）】

①低栄養防止・フレイル予防事業対象者

対象者全体	初回訪問終了者(人)	評価訪問終了者(人)
全体	143	118
江山	23	19
南	120	99

体重変化の評価	
改善（1kg以上増加）	21.8%
維持（変化±1kg未満）	47.5%
悪化（1kg以上減少）	30.7%

- 体重変化において、維持・改善割合の合計が 69.3%となっており、先行事例の 79.5%に達していない。より専門的な指導のため、管理栄養士との連携が必要。

②糖尿病性腎症重症化予防事業

（国保糖尿病性腎症重症化予防プログラム連携事業として医療費適正化推進室と実施）

- 糖尿病管理状況：介入した8名中5名がコントロール不良。全員が受診継続。
- 後期高齢者質問票結果：全員外出出来ており、約3割に口腔フレイル傾向を認めた。
- 健康意識が高いと考えられる参加者においても、コントロール不良であったり、要介護状態になっている者もいた。治療状況（許容範囲）に幅があり指導が困難なため、医師との連携が必要。

【通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）】

①フレイル予防教室

	フレイル予防教室	フォローアップ教室
実施サロン	6 サロン（2-3回介入/1 サロン）	5 サロン（R2 年度介入したサロン）
フレイル状態の変化 (基本チェックリストによる評価)	・「運動器・低栄養・生活機能全般のフレイル」の各種類において維持または改善したサロンの割合 75% ・「口腔フレイル」で 100% のサロンで維持または改善	R2 年度も教室に参加した者において、身体的フレイルで維持または改善したサロンの割合 21.9% 改善、口腔 9.4% 改善、生活機能全般のフレイルの方は 0 名→1 名

- フレイル予防に社会参加が大切だと住民にも認識され、約4割の人が通いの場不参加の方に参加を呼びかける、新たな通いの場の創出につながるなどの波及効果が認められた。

②健康と暮らしを考える会

- 中山間地域であり少子高齢化に直面する江山学園圏域の3地区公民館区（美穂、大和、神戸）にて、地域の健康福祉課題について、住民主体で話し合って解決していく場づくりの支援として実施。
- 住民自身が様々なアイデアを出せるようグループワークを実施。健康・子育て推進課及び長寿社会課や市社会福祉協議会、地域包括支援センターとの協働実施により、参加機関と地域との顔の見える関係が出来ている。住民自身の意識の変化から、地域における主体的な取り組みにつながるものとして育ちつつある。今後も住民のニーズを捉えた支援を行っていく。

8 健康づくり普及啓発活動

第37回 鳥取市民健康ひろば

「乳幼児期から高齢者まで市民一人ひとりが生涯を通じてその人らしく健康で豊かな人生を送ること」を基本理念とし、第4期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」を推進し、市民が健康づくりの意識と意欲を高めることを目的に、例年、健康づくり講演会のほか、各種コーナーで健康相談等を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により会場での実施は中止となつた。健康づくり講演会、運動紹介のみケーブルテレビでの放映、市ホームページでの視聴を実施した。

[日 時] 令和3年10月26日（火）から30日（土）

[概 要]

放送内容	健康づくり講演会（医師による講演） 講師 鳥取市立病院 総合診療科 懸樋 英一氏 演題 「コロナ禍におけるフレイル対策について」 運動紹介 講師 Fitness Ja-んぐる 澤 晶子氏 内容 「フレイル予防の運動」
------	---

9 地区組織活動

（1）しゃんしゃん体操普及員活動

平成18年から「介護予防」と「地域のふれあい」を目的としたしゃんしゃん体操を行っている。鳥取大学の研究によるとこの体操を継続して行うと、体力年齢の若返り効果につながることが証明されている。また、平成27年度には認知症予防体操として「しゃんしゃんコグニサイズ」を考案。身体機能と認知機能を共に改善していくよう、より多くの市民に普及していくために、今後も普及員を中心に各地域で活動していく。

①しゃんしゃん体操普及員新規養成数の推移

（人）

28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
34	21	20	16	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	14

②しゃんしゃん体操普及員連絡会・研修会

	回数	内容
代表者連絡会	1回（参加者延 8人）	活動の振り返りと今後の活動計画について 養成講座・スキルアップ研修について
普及員連絡会	1回（参加者延 24人）	総会（研修会、活動報告、活動計画について）
西ブロック 普及員連絡会	1回（参加者延 7人）	総会（活動報告、活動計画について）
研修会	2回（参加者延 68人）	「フレイル予防にしゃんしゃん体操を！」 「フレイル予防にしゃんしゃん体操を！～コロナ禍の今こそ！～」
西ブロック 普及員研修会	1回（参加者延 11人）	しゃんしゃん体操・コグニサイズ等
啓発活動 (体操披露)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	

③しゃんしゃん体操普及状況

	開催箇所	延開催箇所	実人員	延人員	主な普及対象者	普及場所
普及員の 年間実績 報告	単発	52	—	—	846	地区住民、デイサービス、サロン、老人会、施設入所者など
	継続	59	1,406	819	18,969	
	総計	111	1,406	819	19,815	

④介護予防測定

実施地区	参加人数	実施地区	参加人数
湖山西地区	11	城北地区	27
松保地区	9	大和地区	6
美保南地区（2か所延）	15	福部地区	10

(2)鳥取市民健康づくり地区推進員活動

・会員数 973 人（会長 1 人、副会長 3 人、会計 1 人、常任理事 6 人、監査 2 人、理事 41 人）（令和 3 年 4 月 1 日現在）

①地区健康づくり推進員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、事業検討委員会や各地区で計画立案し自主活動を実施することができた。

②連絡協議会

	事業名	回数・実施日	内 容	参加者
会議	三役会	8回	各事業検討委員会の取り組み、新任理事研修会について	延 37人
			理事会、各事業の進捗状況について、予算について	
			次年度の計画について	
			備品購入について	
	常任理事会	4回	三役・常任理事の役割分担、事業検討委員会、新任理事研修会について	延 37人
			三役会の報告	
			活動費について	
	(書面議決)		令和 3 年度事業報告、決算（中間報告） 令和 4 年度事業計画、予算、活動費について（案）	—
	理事会	5/11	令和 2 年度協議会事業報告、決算及び会計監査報告 令和 3 年度事業計画、予算、地区活動費（案） ブロック研修会、事業検討委員会、ボランティア保険、とつとり市民元気プラン 2021、各種健診など	38 人
		7/28	理事研修会、各事業の進捗状況、鳥取市民健康ひろば、会計について、ブロック情報交換	39 人
		11/5	常任理事会からの報告、各事業の進捗状況について	33 人
		12/17	禁煙標語の表彰式、検診受診率向上劇、ブロック情報交換	35 人
		3/1	令和 3 年度協議会事業報告（中間報告） 令和 4 年度協議会事業計画、予算、地区活動費（案） 来年度スケジュールなど協議	36 人
	その他	年間 8回	健康ひろば実行委員会、健康づくり推進協議会、県関係会議	延 8 人
事業検討委員会	たより編集委員会	8回	たより内容、発行の検討、発行作業（2回）	延 47 人
	タバコ・アルコール対策委員会	5回	禁煙標語の募集・審査、禁煙ポスターの作成・検討、ポスターの配布・掲示 →作成した禁煙ポスター	延 49 人
	検診受診率向上委員会	9回	受診率向上対策の取り組み検討、地区での啓発活動の情報交換、検診受診率向上劇の練習	延 100 人
	運動推進委員会	7回	運動推進のための啓発活動の検討、ボッチャの練習と理事研修会に向けての準備 ウォーキングマップの作成 →ウォーキングコース下見の様子	延 71 人



研修会	理事研修会	7/28	講話・実技「喉仮スクワット」 	36人
		11/5	実技「ボッチャ」 	31人
		12/17	検診受診啓発劇「大腸がんに関すること」 	33人
研修会 ブロック別	市街地 (遷喬)	7/11	・講話「災害時の健康づくり～食事・運動編～」 ・運動「やってみよう！しゃんしゃん体操」	22人
	邑法 (美保南)	11/3	・講演「高齢者の転倒予防～転ばぬ先の運動教室～」	28人
	湖南 (豊実)	12/19	・講演「鳥取市民元気プラン 2021」 ・健康づくり地区推進員の役割と地区活動の活性化について	28人
	湖東 (千代水)	10/2	・活動報告：城北地区 ・実践：楽しく体を動かそう！～ニュースポーツ体験～	30人
	南 (国英)	12/11	・講演：「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について～もしもの時の心づもり～」 ・運動実技「フレイル予防にしゃんしゃん体操！」	34人
	西 (青谷)	12/5	・講演「100歳まで動き続ける体づくり・実践」 ・グループワーク「健推活動について」	14人
推進員研修会	随時	地区総会に併せて実施		—
新任理事研修会	6/11	講演「元気プラン 2021～地域で活動するために～」、各地区の実践発表		29人
推進員研修会	随時	教育・相談・検診など保健事業への協力 他		—
鳥取市国保保険事業への協力		糖尿病予防啓発キャンペーン (簡易血糖検査、保健指導、栄養相談、内科医相談 等)		—

(3) 鳥取市食育推進員会

本市が実施する養成講座を受講、修了した推進員が「家庭からはじまる食育の輪」をスローガンに食を通じて生涯にわたって健康に過ごせる人を増やす活動を行っている。

内 容	支部名	全 域	鳥 取	国 府	河 原	用 瀬	気 高	鹿 野	青 谷	合 計
	会員数	435	274	15	26	37	38	23	22	
総 会	月 日	4月 22日	4月 12日	4月 14日	4月 6日	4月 3日	4月 13日	4月 7日	4月 12日	181
	人 数	45	31	14	17	27	15	15	17	
スキルアップ研修	回 数	2								2
	人 数	49								49
出張適塩講座	回 数		20	3	3	1	1	4	4	36
	人 数		355	49	61	12	13	54	70	614
	(うち一般)		207	33	47	8	9	41	51	396
	(うち食推)		148	16	14	4	4	13	19	218

①教育研修・各地区伝達講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため全日程中止とし、代替事業として担当栄養士と地区会員が地区公民館等に出向き、高血圧症の予防、改善につなげることを目的に講話やクイズ、市販品の塩分測定、展示等で適正な塩分摂取について周知をする「出張適塩講座」を実施した。

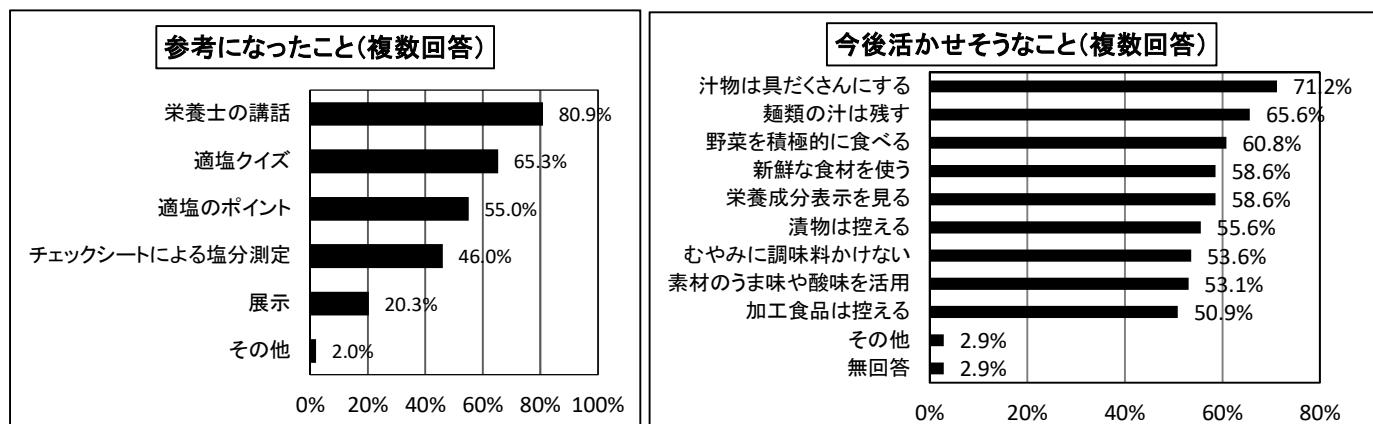
②その他委託事業・協力事業

- ・鳥取市報「食」コーナー掲載
- ・ぴょんぴょんネット「食育らくらくクッキング」
- ・冊子作成（2種）「学童米料理教室レシピ集」（全域）

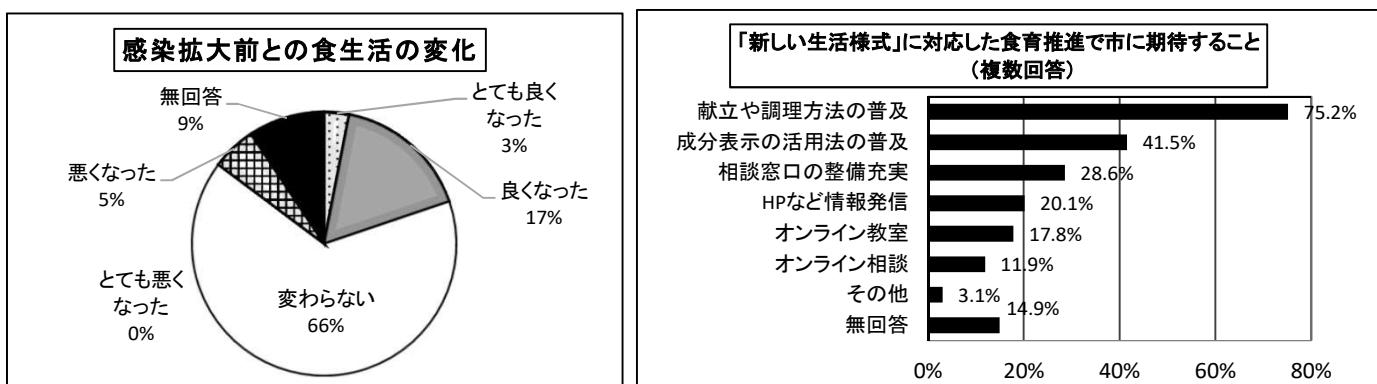


「シオとらん」
鳥取市適塩イメージキャラクター

③出張適塩講座 受講者アンケート結果から（成人計614人受講 556人回収 回収率90.6%）



食育推進員による適塩クイズやポイントの説明は半数以上が参考になったと回答した。今後の食生活で活かせそうることは、「汁物を具だくさんにする」が7割以上で一番多く、次いで「麺類の汁は残す」「野菜を積極的に食べる」だった。



(4) 鳥取市子育て支援ネットワーク 【活動報告】

- ①会議：全体会 2回（2回目は書面会議） 役員会 3回（2回目、3回目は書面会議） 開催
 ②健診ボランティア（1歳6か月児健診時） 1～2名ずつのボランティアで実施
 中央：35回 実21人 延59人参加（登録者22人） 東：11回 実8人 延16人（登録者8人）
 研修交流会：令和4年1月17日 14人参加
 ③ひだまり（産後サロン） 19回 実111組 延243組

(5) ゆうゆうとっとり子育てネットワーク 【活動報告】

年月日	代表者会・交流会	活動 等	年間活動（4～3月）
令和3年5月24日	子育てサークル代表者会総会	ゆうゆう新聞発行	運営委員会 実施回数：4回
令和3年4月16日 9月3日	ゆうゆうとっとり子育てネットワーク ミーティング	情報共有 運営企画・調整	出張ゆうゆう 実施回数：6回
令和4年3月4日			

出張ゆうゆう（随時）	ゆうゆうスタッフが、依頼のあった子育てサークルへ“遊びを出前”。 内容：「絵本」「紙芝居」「パネルシアター」「手遊び」「工作」「親子遊び」等をサークルの希望に合わせて実施。 会場：各子育てサークルの活動拠点（公民館） 対象：ゆうゆうとっとり子育てネットワークに登録の育児サークル 参加人数：68人 実施回数：6回
会議出席（随時）	鳥取市子育て支援ネットワーク・鳥取市総合企画委員会 鳥取市下水道等事業運営審議会・鳥取市民健康づくり推進協議会 鳥取市移動等円滑化協議会・鳥取県福祉のまちづくり推進協議会

(6) ブックスタート事業 【活動報告】

中央会議（令和3年9月6日） 会場：中央図書館 多目的ホール	内容：前年度の活動の振り返り、今年度実施に向けて 参加者：ボランティア（10人）、図書館（3人）、保健師（4人）
研修会（令和3年11月26日） 会場：鳥取市役所駅南庁舎地下B5会議室	内容：「絵本がつなぐ親と子のひととき」 講師：田丸 尚美氏 参加者：ボランティア（12人）、図書館（4人）、保健師（8人）
選書の会（令和3年12月20日） 会場：中央図書館 多目的ホール	内容：令和4年度ブックスタート配布絵本の選書について 参加者：ボランティア（12人）、図書館（7人）、保健師（4人）
西地域ブックスタート連絡会 (令和3年6月2日) 会場：気高保健センター	第1回：今年度実施に向けて、関連事業の実施について 第2回：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 参加者：ボランティア（4人）、図書館（3人）、保健師（3人）

鳥取東保健センターに関する事業

鳥取東保健センターは、健康・子育て推進課の保健センター部分に相当する業務を担っており、乳幼児健診、各種がん検診、健康づくり事業、食育推進事業などを行っている。

担当地域は、東中学校区（修立、岩倉、稻葉山）、桜ヶ丘中学校区（面影、米里、津ノ井、若葉台）、国府中学校区となっており、国府町総合支所町内に設置されている。

（1）職員配置状況

所長（保健師）	1人	訪問看護師	1人
保健師	5人	事務	1人
栄養士	1人		

（2）令和3年度の重点的な取組み

①多機関と連携した地区活動の展開

【東中学校区】

鳥取東地域包括支援センター、鳥取市社会福祉協議会とともに福祉保健関係機関連絡会を開催。介護予防啓発活動、認知症サポーター養成講座など連携する事業について検討した。

【桜ヶ丘中学校区】

校区内の小学校と中学校による合同保健委員会において元気プランの啓発、子どもの生活習慣に関する健康教育を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため紙面での実施となった。

②生活習慣病重症化予防

新型コロナウイルス感染防止のため、訪問指導が実施できない期間があったが、人間ドック手続き時の保健指導、特定健診受診者への電話による指導、健診結果相談会を実施し、予防啓発の機会をつくった。

③乳幼児健康診査の体制の見直し

6か月児・1歳6か月児・2歳児歯科・3歳児の各健康診査において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場の使用方法と対象者の見直しを実施。桜ヶ丘中学校区の対象者を駅南庁舎会場に変更するとともに、国府町総合支所2階大会議室を健診室仕様に修繕し、健診会場の使用スペースを広げることで、安全な利用を図った。

（3）主な活動実績

家庭訪問（延世帯数）	母子 320	成人等 86
保健指導者数（延）	来所 107	電話 486
健診、地域活動等 回数・参加者数（延）	・乳幼児集団健診 48回 1,080人 ・成人集団健診 15回 444人 ・健康教育・健康相談（食育事業含む） （母子） 12回 140人 （成人） 33回 299人 ・健康づくり地区推進員会 13回 213人 ・食育事業 35回 285人	

保健総務課に関する事業

(1) 外部の専門家と連携した保健医療福祉連携強化の取組

①鳥取県立中央病院地域医療支援評議会への参加（4回）

- ・地域委員、病院側委員で構成される評議会に委員として参加
- ・鳥取県立中央病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討

②鳥取赤十字病院地域医療支援病院運営協議会への参加（3回）

- ・医療関係団体、行政機関等の代表者で構成する協議会に委員として参加
- ・鳥取赤十字病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討

③鳥取市立病院地域医療支援病院運営委員会への参加（4回）

- ・医療関係団体、行政機関等の代表者で構成する委員会に委員として参加
- ・鳥取市立病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討

(2) 市行政内部での保健医療福祉連携強化の取組み

①市民医療講演会の開催（市立病院主催、保健総務課・健康・子育て推進課共催）

- ・市民の健康づくりを目的に開催した。（7回）

②「地域包括ケアシステムシンポジウム」（第80回市民医療講演会）の開催

- ・市立病院、鳥取市の共同開催により、「地域包括ケアシステムシンポジウム」を開催し、取組や課題について講演を行った。

○テーマ：「入院前から退院後まで安心して過ごすために

～独居・高齢者・認知症・身寄りがない方（親族が遠方等）が入院となったら～」

講 師：足立 誠司 氏（鳥取市立病院 総合診療科診療局長兼地域医療総合支援センター長）

　　武田 恵子 氏（鳥取市 福祉部鳥取中央地域包括支援センター所長）

　　玉川 陽子 氏（鳥取市 福祉部鳥取中央地域包括支援センター主幹（保健師））

　　増田 和人 氏（鳥取市 福祉部長寿社会課地域包括ケア推進係長）

　　北村 明美 氏（鳥取市立病院 地域医療総合支援センター

　　患者サポートセンター副センター長）

　　長谷川 沙織 氏（鳥取市立病院 地域医療総合支援センター

　　患者サポートセンター入退院支援係主任（MSW））

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により動画配信等による方法で実施。

(3) 鳥取市医療看護専門学校の状況

令和3年度より、新たに医療福祉総合学科が新設された。看護学科については、第4期生が卒業し市内医療機関への就職につながっている。

《令和3年度入学生の状況》

設置学科	学科名	内容	入学者数	/ 定員数
	・看護学科	（昼間・3年制）	76名	/ 80名
	・理学療法士学科	（昼間・3年制）	35名	/ 40名
	・作業療法士学科	（昼間・3年制）	19名	/ 40名
	・医療福祉総合学科	（昼間・2年制）	12名	/ 40名
			合 計 142名	/ 200名

(4) 衛生統計事務

調査名	調査目的	令和3年度実績
人口動態調査	人口動態事象（出生・死亡・死産・婚姻・離婚）を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得る。	毎月報告
国民生活基礎調査	国民生活の基礎的事項を把握し厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の親標本を設定するために実施。	調査日：6月2日 調査地区数：2地区 (4町：0地区)
社会保障・人口問題基本調査	人々の生活、家族関係と社会経済状態、社会保障制度の果たしている機能を把握し、行政施策の基礎資料を得る。	調査日：6月30日 調査地区数：1地区 (4町：0地区)

(5) AED設置状況

①設置台数

設置台数 : 233台（令和4年3月末日時点）
うち貸出可能台数：設置台数のうち3台

②設置場所

- ・市役所各関係施設
- ・各総合支所
- ・生涯学習施設
- ・各地区公民館
- ・スポーツ施設
- ・文化観光施設
- ・各市立小学校
- ・各市立中学校
- ・各市立保育園、幼稚園 等

③屋外設置

平成25年10月、「AED屋外設置に係る方針について」を定め、施設が閉まっている夜間及び休日等もAEDが使用できるように体制を整備
令和3年度末現在、9施設について屋外設置実施

(6) 熱中症予防啓発

①鳥取市公式ウェブサイトによる注意喚起

5月から9月の間、鳥取市公式ウェブサイトに熱中症に関する啓発記事を掲載

【掲載内容】

- ・熱中症の基礎知識、予防方法
- ・新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」における熱中症予防
- ・鳥取県が発令する熱中症警報等の情報、熱中症による救急搬送件数
- ・鳥取市の暑さ指数（W B G T） など

②鳥取市報・広報誌による注意喚起

市報6月号、7月号、8月号、民間企業の広報誌による注意喚起

③鳥取市ケーブルテレビ（ぴょんぴょんネット）による啓発

文字画面放送及び鳥取市広報番組内での啓発・注意喚起

④鳥取市公式LINEによる啓発・注意喚起

⑤保健所内に熱中症予防啓発コーナーを設置

⑥地域での取り組み

- ・各地域での健康教育や健康相談会場における啓発
- ・市内小中学校、保育園、幼稚園に対しての注意喚起
- ・市内高齢者関連施設、職員に対しての注意喚起
- ・市内障がい者関連施設、職員に対しての注意喚起
- ・健康づくり地区推進員、民生委員・児童委員を通じ、訪問や地区活動における啓発

(7) 地域保健医療推進事業

事業概要	実績等
<p>鳥取県東部保健医療圏の地域保健医療協議会及び地域医療構想調整会議を開催し、保健医療計画の策定及び推進に関する協議、地域医療構想推進のための協議を行う。</p> <p>(令和4年度鳥取県医療介護総合確保基金(医療)の圏域要望に係る提案及び対応方針等について協議を実施)</p>	<ul style="list-style-type: none">・東部保健医療圏地域保健医療協議会全体会及び医療提供部会合同会議兼地域医療構想調整会議：2回（うち書面開催1回）・へき地・救急医療部会：未開催・健康づくり部会：未開催・第1、2回医療政策研修会/地域医療構想アドバイザー研修会(厚労省主催)の参加：Web開催2日間

(8) 在宅医療介護連携事業

事業概要	実績等
<p>東部医師会に「在宅医療介護連携推進室」を設置し、行政と医師会が協働して国が示す8項目の事業に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none">・ファシリテーター養成研修：1回・東部地区在宅医療介護連携推進協議会、ワーキング等への参画

(9) 保健師等教育研修事業

事業概要	実績等
<p>本市、東部圏域の町及び県の公衆衛生に従事する保健師等を対象に地域保健技術向上のための研修会を開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・東部圏域保健技術研修会：1回・初任期保健師事例検討会：1回・初任期保健師情報交換会：1回 <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により研修会の回数減</p>

(10) 受動喫煙防止対策事業

事業概要	実績等
<p>健康増進法の改正により受動喫煙防止対策が強化され、令和元年7月から第一種施設(行政機関等)が原則敷地内禁煙に、令和2年4月からは第二種施設(第一種施設以外の、多数の者が利用する施設)が原則屋内禁煙になった。</p> <p>望まない受動喫煙を防止するため、正しい知識の普及啓発や相談対応、現地確認等を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none">・受動喫煙防止に係る相談対応：32件 現地確認：3件・世界禁煙デーや健康増進普及月間にあわせ、啓発物展示や市報掲載など啓発を実施 (新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭キャンペーン及び大学祭にあわせての啓発は中止)・食品衛生責任者講習会での啓発・鳥取県受動喫煙防止対策支援事業補助金 (申請書受理・進達 0件)

(11) その他

①森永ひ素ミルク中毒被害者支援関係事業

事業概要	実績等
森永ひ素ミルク中毒事件被害者が生涯健康に生活できるよう行政協力をを行う。支援団体である公益財団法人ひかり協会と連携し、被害者救済事業を行うため会議等を開催するとともに、事件の風化を防ぐため、関係する職員に伝達を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市行政懇談会：1回 (行政協力要請内容に対し書面回答) ・鳥取市中間協議：0回 ・全国担当係長会議：1回

②健康づくり応援施設事業

事業概要	実績等
健康づくり（運動・食事）に積極的に取り組む施設・団体・個人を「健康づくり応援施設（団）」に認定し、地域の健康づくりに協力して取り組んでいただぐ。	健康づくり応援施設（運動・食事） 令和3年度新規認定：2施設（運動）

③災害医療対策事業

事業概要	実績等
東部圏域（1市4町）の災害時の医療救護を担っており、救急医薬品等の備蓄と、必要物資の供給体制、医療救護活動に迅速に対応できる体制を平時から訓練するとともに、関係者の研修受講を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・DHEAT 基本研修 ※新型コロナウイルス感染症の影響により研修会は中止 ・災害時透析医療ネットワーク意見交換会：1回（Web開催） ・鳥取県災害医療コーディネート研修会参加：1回（Web会議） ・鳥取空港災害対策緊急計画連絡協議会参加：4回 ・鳥取空港消火救難訓練参加：1回（Web開催） ・災害用備蓄品、災害用備蓄医薬品等の補充 ・損害保険加入

保健医療課に関する事業

1 医事薬事

① 医療従事者等の免許申請受理事務

厚生労働大臣又は鳥取県知事が交付する免許について、新規申請、書換え交付申請、再交付申請等を受理。

医療従事者免許申請受理件数

(単位：件)

看護師	保健師	助産師	准看護師(知事)	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	医師・歯科医師	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	管理栄養士	栄養士(知事)	計
263	37	8	20	29	28	2	35	22	10	2	17	38	511

② 医事・薬事に係る許認可等

〈1〉 病院、診療所、薬局、医療機器販売業等の許可、届出の受理等

ア 病院・診療所

(単位：施設、件)

区分	病院・診療所の変更許可	病院の使用許可	診療所の開設許可等	診療所の休・廃止	年度末登録総数	
					病院	診療所
鳥取市	17	9	21	19	12	263
4町	2	1	-	-	2	39

イ 薬局等

(単位：施設、件)

区分		新規許可	許可更新	変更届	廃止届	年度末登録総数
薬局	鳥取市	2	9	166	3	85
	4町	-	2	10	-	9
卸売販売業	鳥取市	-	1	14	1	21
	4町	-	-	-	-	-
店舗販売業	鳥取市	3	13	127	2	45
	4町	1	1	17	-	9
高度管理医療機器販売業・貸与業	鳥取市	11	7	52	4	126
	4町	-	-	2	-	6
管理医療機器販売業・貸与業	鳥取市	45		36	20	521
	4町	30		6	2	82

〈2〉 毒物劇物に係る許認可等

(単位：件)

区分		新規登録	登録更新	変更届	登録変更申請	廃止届	年度末登録総数
毒物劇物販売業	鳥取市	6	12	14	-	5	137
	4町	-	4	6	-	2	18

〈3〉 施術所(あん摩マッサージ指圧師、はり・きゅう等)の届出の受理等

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に基づく届出の受理及び使用制限等の処分を行う。

(単位：件)

区分	開設届	変更届	廃止届	年度末登録総数
鳥取市	5	18	4	127
4町	-	1	-	16

〈4〉 歯科技工所の届出の受理等

歯科技工士法に基づく届出の受理及び使用禁止命令等の処分を行う。

(単位：件)

区分	開設届	変更届	年度末登録総数
鳥取市	-	-	36
4町	-	-	5

③ 医療施設等の検査等の状況

〈1〉 医療関係施設の立入検査の状況

ア 対象施設の選定方針

- ・前年度立入検査を実施していない病院及び前年度指摘のあった病院
- ・新規届出のあった診療所及び確認が必要と判断した診療所
- ・新規届出のあった助産所、施術所、歯科技工所
- ・全衛生検査所

イ 検査実施体制

病院：部門ごとに専門知識のある職員を配置する。医師（診療部門等）保健師（看護部門）、薬剤師（薬剤部門）、栄養士（給食部門）、診療放射線技師（放射線部門）、事務職員（管理部門等）など。

診療所・その他：事務職員、診療放射線技師等必要に応じた職員を配置して実施。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため立入検査を中止し、新規届出の診療所のみ実施。

衛生検査所：鳥取市精度管理専門委員及び保健所職員により実施。

ウ 当年度重点検査事項

前年度に問題のあった項目など

(単位：施設、件)

区分	対象施設数	検査施設数	不備事項 件数等	不備事項等の概要					主な不備事項等の概要
				施設数	件数	処分	告発	指導	
病院	市	12	-	-	-	-	-	-	
	4町	2	-	-	-	-	-	-	
一般診療所	市	163	2	-	-	-	-	-	
	4町	25	-	-	-	-	-	-	
歯科診療所	市	100	3	-	-	-	-	-	
	4町	14	-	-	-	-	-	-	
衛生検査所	市	4	4	-	-	-	-	-	
	4町	0	-	-	-	-	-	-	
その他	市	5	5	-	-	-	-	-	
	4町	0	-	-	-	-	-	-	
合計	市	284	14	-	-	-	-	-	
	4町	41	-	-	-	-	-	-	

注（1）検査施設数は、延べ施設数を記載。

（2）その他には、助産所、施術所、歯科技工所を記載。

〈2〉 薬事監視の状況

ア 対象施設の選定方針

- ・概ね3年に1度の頻度で立入検査を実施する。
- ・前年度に違反事例、指導事例があった事業者や取扱処方箋枚数が多い薬局を優先的に選定する。
- ・前年度の医薬品販売制度実態把握調査の結果を参考にする。

イ 検査実施体制

通常監視は、薬剤師1～2名により対応する。

通報案件等懸案事象に対する薬事監視については、薬剤師2名により対応する。

ウ 当年度重点検査事項

処方箋の付け替えによる調剤記録の不備

薬局の管理者による実地に管理する薬局以外の薬局従事の有無

処方箋なしでの処方箋医薬品販売の有無

(単位：施設、件)

区分	対象施設数	検査施設数	違反等の件数等	違反事項等の概要					主な不備事項等の概要	
				処分等件数						
				施設数	件数	処分	告発	始末書	その他	
医薬品	薬局	94	58	-	-	-	-	-	-	・登録が失効したままで販売
	製造業（薬局）	8	5	-	-	-	-	-	-	
	製造販売業（薬局）	8	5	-	-	-	-	-	-	
	卸売販売業	21	16	-	-	-	-	-	-	
	店舗販売業	54	24	-	-	-	-	-	-	
	薬種商販売業	1	0	-	-	-	-	-	-	
	特例販売業	1	0	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
	再生医療等製品販売業	5	8	-	-	-	-	-	-	
医薬部外品	販売業	※	16	-	-	-	-	-	-	
化粧品	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
医療機器	販売業	※	16	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
医療機器	高度医療機器販売等	131	62	-	-	-	-	-	-	
	管理医療機器販売等	603	46	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱施設	※	-	-	-	-	-	-	-	
毒物劇物	一般販売業	120	70	-	-	-	-	-	-	
	農業用品目販売業	33	1	1	1	0	0	0	1	
	特定品目販売業	1	0	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱者	2	0	-	-	-	-	-	-	
	合 計	1,082	327	1	1	0	0	0	1	

注（1）検査施設数は、延べ施設数を記載。

④ 医療相談、薬事関係啓発事業等

〈1〉 医療相談

医療安全支援センターによる医療相談対応を行う。

ア 医療相談件数

(単位：件)

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
鳥取市	0	5	4	1	10
不明（匿名相談）	13	13	24	18	68
計	13	18	28	19	78

イ 相談内容の内訳

(単位：件)

相談内容							
医療行為等	コミュニケーション ^{※1}	施設	情報 ^{※2}	紹介	医療費	知識 ^{※3}	その他 ^{※4}
22	28	0	0	5	2	1	20
							78

※1 説明等に関するもの、基本的マナーに関すること。 ※2 カルテ開示、セカンドオピニオンを含む。

※3 健康や病気、薬に関する知識に関すること。 ※4 分類されないもの及び医療事故調査支援センターに関すること。

〈2〉 薬物乱用防止普及啓発

○鳥取県薬物乱用防止指導員東部地区協議会理事会の開催 書面開催

鳥取県薬物乱用防止指導員東部地区協議会総会及び講習会の開催 中 止

○令和3年度薬物乱用防止指導員研修会 中 止

○令和3年度「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーン 中 止

〈3〉 献血等の推進

献血推進に係る啓発等を行う。

○「愛の血液助け合い運動」街頭献血キャンペーン 中止

※〈2〉〈3〉については、新型コロナウイルス感染症感染拡大による。

〈4〉 骨髄バンクの登録状況 ※平成31年3月～

実績なし

2 感染症・疾病対策

① 予防接種事業

〈1〉 定期予防接種の接種状況

種類	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ロタワクチン【注1】	1価（2回）		891	1,753
	5価（3回）		379	1,149
B型肝炎（3回）		3,902	3,990	3,791
ヒブワクチン（4回）		5,248	5,545	5,115
小児用肺炎球菌（4回）		5,359	5,448	5,119
四種混合1期（4回）		5,359	5,560	5,158
二種混合2期		1,438	1,580	1,464
不活化ポリオ（4回）		8	-	-
BCG		1,390	1,345	1,301
水痘（2回）		2,584	2,763	2,405
麻しん	1期	-	-	-
	2期	1	-	-
風しん	1期	-	-	-
	2期	1	-	-
麻しん 風しん 混合	1期	1,386	1,376	1,274
	2期	1,554	1,535	1,528
	接種率	94.0%	94.6%	93.2%
日本脳炎	1期（3回）	4,813	4,809	2,789
	2期	1,866	2,120	799

種類	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
HPVワクチン（3回）【注2】		85	183	796
風しん	風しん	19	2	7
5期【注3】	麻しん風しん混合	555	830	477
風しん抗体検査【注3】		1,947	2,747	1,366
インフルエンザ	65歳以上	35,248	40,241	36,919
	接種率	64.3%	72.6%	66.0%
	60～64歳	58	40	48
	接種率	67.4%	50.6%	64.9%
高齢者肺炎球菌感染症	60～64歳	4	15	6
	65歳相当	1,096	1,091	1,006
	70歳相当	310	360	218
	75歳相当	154	146	176
	80歳相当	119	206	165
	85歳相当	128	198	124
	90歳相当	103	162	125
	95歳相当	36	64	78
	100歳相当	10	7	14
	101歳以上	11		
	合計	1,971	2,249	1,912

【注1】ロタワクチンは、令和2年10月1日より定期接種として実施。

【注2】HPV（子宮頸がん予防）ワクチンは平成25年6月の厚生労働省勧告に基づき、以後積極的な勧奨を差し控えているが、令和3年度は個別通知による情報提供を実施。

【注3】風しん抗体検査・第5期定期予防接種は、令和元年度から令和6年度までの期間、成人男性を対象に実施。

※（ ）内の回数は、ワクチンごとの接種回数。記載のないものは1回接種。

〈2〉 インフルエンザ予防接種等費用助成事業(任意接種)

ア インフルエンザ予防接種 (単位：延べ件数)

対象者	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
重度の心身障がい者・ 重症の心身障がい児		203	200	193
就学前乳幼児		6,388	6,632	5,482

イ 風しん予防接種

(単位：人)

対象者【注4】 種類	妊娠希望の女性※	妊婦の夫	妊婦の同居者	妊娠希望の女性の同居者※
風しん	36	6	0	1
麻しん風しん混合	120	31	0	4

【注4】※印の方は、風しん抗体価が低いことが要件

〈3〉新型コロナウイルス感染症に係る予防接種 (単位：人)

接種区分	年 度		令和3年度
	初回接種	追加接種	
1回目（5歳以上）			144,886
2回目（5歳以上）			142,862
3回目（18歳以上）			71,413

② 感染症対策

〈1〉感染症の発生の届出、報告及びまん延防止対策

疫学調査等を実施し、感染拡大を早期に防止するとともに、感染予防のための健康教育や啓発を行う。

ア 感染症の発生等の状況（結核を除く）

(単位：件、人)

区分	新 型 インフル 等	発生状況			疫学調査件数				集団 発生 件数
		件数	患者数	死亡者数	調査件数	調査人数	検査件数	発見患者数	
新型コロナウイルス感染症	3,738	3,738	-	-	-	-	38,807	3,738	-
3類 腸管出血性大腸菌感染症	3	3	-	3	5	7	1	-	-
4類 E型肝炎	0	0	-	-	-	-	-	-	-
4類 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	9	5	-	9	9	11	1	-	-
4類 つつが虫病	3	3	-	-	-	-	-	-	-
4類 日本紅斑熱	3	3	-	3	3	3	3	-	-
4類 レジオネラ症	2	2	-	-	-	-	-	-	-
5類 カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	0	-	1	1	1	1	-	-
5類 急性脳炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-
5類 後天性免疫不全症候群	0	0	-	-	-	-	-	-	-
5類 侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	-	-	-	-	-	-	-
5類 水痘（入院例）	1	1	-	-	-	-	-	-	-
5類 梅毒	9	9	-	-	-	-	-	-	-
5類 百日咳	2	2	-	-	-	-	-	-	-
5類 麻しん	1	0	-	1	1	3	0	-	-
5類 風しん	0	0	-	-	-	-	-	-	-
5類 感染性胃腸炎	13	214	-	13	2,271	2	2	13	
5類 手足口病	3	32	-	3	510	0	0	3	
5類 ヘルパンギーナ	0	0	-	-	-	-	-	1	
計	3,791	4,015	-	33	2,800	38,834	3,746	17	

注 集団発生件数は、内数。

イ 風しん抗体価検査 (単位：件)

血液検査	件数
保健所検査	23
医療機関委託	108

〈2〉エイズ・性感染症の血液検査の実施と相談対応

ア エイズ及び性感染症の相談・検査の状況

(単位：人)

区分	エ イ ズ			梅 毒			クラミジア感染症			合 計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
相談	電話	4	1	5	1	2	1	2	3	6	4	10
	来所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
(迅速検査再掲)	(0)	(0)	(0)	50	40	90	49	36	85	149	115	264
	検査	50	39	89								

イ エイズカウンセラー派遣事業

鳥取市保健所及び鳥取県東部圏域の医療機関に対し、カウンセラーを派遣することによりエイズ患者・感染者等の心理的ケアを行う。

令和3年度の派遣は0件であった。

〈3〉結核対策

結核に関する普及啓発を行うとともに、患者への服薬指導等の療養上の支援や接触者検診等の実施により感染拡大を防ぐ。

ア 結核登録者の状況

(単位：人)

区分	本年度中登録				本年度中登録除外					年度末登録数	
	新規	再登録	転入	計	観察不要	死亡	転症	転出	その他		
鳥取市	15(7)	0(0)	1(0)	16(7)	5	3	1	0	0	9	43
4町	6(1)	0(0)	0(0)	6(1)	1	1	0	0	0	2	17

注 () 内には、LTB I (「潜在性結核感染症」と診断され結核医療の対象とされた者) を別掲。

イ 結核患者接触者健康診断、結核登録者精密検査実施状況

(単位：人)

区分	実施機関名	受診人員	ツベルクリン反応	胸部エックス線撮影者数	結核菌検査者数		IGRA検査者数	被発見者数	
					とまつ	培養		結核(確定例)	潜在性結核感染症
接触者健診	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	129	1	65	3	1	113	0	7
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	129	1	65	3	1	113	0	7
・実対象者数： 96人 実受診者数： 96人				・受診率： 100%					
結核登録者精密検査	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	37	0	37	1	1	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	37	0	37	1	1	0	0	0
・実対象者数： 25人 実受診者数： 24人				・受診率： 96%					
計	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	166	1	102	4	2	113	0	7
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	166	1	102	4	2	113	0	7
・実対象者数： 121人 実受診者数： 120人				・受診率： 99 %					

ウ 結核患者医療費公費負担制度（令和3年度診査会診査状況）

(単位：件)

区分	新規認定(入院)	継続(入院)	新規認定(通院)	継続(通院)
鳥取市	9	6	21	3
4町	2	2	6	0

〈4〉肝炎の相談・検査・治療費助成の状況

(単位：件)

区分	相談件数	検査件数(医療機関分再掲)
鳥取市	7	188(178)
4町	3	37(37)

(単位：件)

区分	肝炎治療特別推進事業		肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業	
	肝炎治療受給者証交付申請件数 (新規件数再掲)	償還払件数	参加証交付件数 (新規件数再掲)	償還払件数
鳥取市	272 (34)	—	— (—)	—

4 町	73 (7)	—	2 (1)	—
-----	-----------	---	----------	---

〈5〉 感染制御地域支援ネットワーク事業実施状況

ア 感染制御相談

(単位：延件)

件数	相談区分					
	感染症全般	感染症事例	感染管理組織	感染予防技術	環境管理	その他
1	—	—	—	1	—	—

イ 実地指導：2回（新型コロナウイルス感染症対応について）

ウ 準備会・情報交換会・会議・研修会

区分	回数・内容	延人員
準備会	2回 他2回は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	東部 ICN、当番 ICT (日赤、医療センター)
情報交換会	2回：新型コロナウイルス感染症対応について 新型コロナウイルス感染症及び冬の感染症対応について ※他2回は開催直前に新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	66人(20機関) 64人(19機関)
会議	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
研修会	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	

③ 難病対策事業

〈1〉 医療受給者証所持者の状況

(単位：人)

区分	特定医療費(指定難病) 医療受給者証所持者数	先天性血液凝固因子障害等 医療受給者証所持者数
鳥取市	1,564	8
4 町	329	1

〈2〉 難病患者の支援

難病患者やその家族が安心して療養生活を送れるよう、関係機関と連携しながら支援する。

ア 指導・相談対応件数

(単位：延べ件数)

区分	訪問指導	来所相談	電話相談
鳥取市	19	8	36
4 町	6	2	12

イ 難病事業の実施状況

区分	回数・内容	延人数
難病患者医療相談会	内容：難病患者及びその家族に対し、病気や療養生活に関する正しい知識を提供するとともに、交流の場を設ける ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
訪問指導事業	内容：在宅難病患者の自宅へ、専門職（医師、看護師、理学療法士等）を派遣し、患者および家族に対して療養指導を行う	1
神経難病在宅支援連絡会	内容：講演、事例検討等 参加機関：約30（保健・医療・福祉の関係機関） ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
在宅難病患者一時入院	内容：在宅難病患者が、家族等の介護者の休息（レスパイト）等の理由により、一時的に在宅で介護等を受けることが困難になった場合に、円滑に適切な医療機関に入院できるよう入院受入体制を整備	1

3 心の健康支援

①自死対策

誰もが自死に追い込まれることのない地域社会の実現を目指して、うつ等自死に対する知識の普及と相談体制を整備することで、自死予防を図る。

事 業		内容及び実績
普及啓発	パネル展示等	内容：パネル展示、関連書籍の配架コーナーの設置等 実績：自殺予防週間（9月）自殺対策強化月間（3月）等にあわせて実施 実績：図書館等4か所
	若年層への働きかけ	内容：若年層向け自死予防啓発チラシ等を作成、配布 実績：公立鳥取環境大学等6か所に配布 乳幼児健診等で来所された保護者等に配布
	住民向けメンタルヘルス研修会	内容：こころの健康づくりに関するセルフケアについて 実績：1回 参加者11人
	企業向けメンタルヘルス研修会	内容：こころの健康づくりに関するセルフケアについて 実績：新入社員対象 1回 参加者34人
人材育成	メンタルヘルス出前講座	内容：セルフケア及びゲートキーパーについて 実績：企業 5事業所 参加者165人
	ゲートキーパー養成研修会	内容：ゲートキーパーの役割等について 実績：窓口で相談対応にあたる市職員対象 1回 参加者13人
「第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画」の策定		計画の期間：令和3年度～令和7年度 計画の概要：働き盛り世代、高齢者、生活困窮者への支援に重点を置き、「生きる支援」に関連する事業を全庁的に推進

②ひきこもり対策

家族や支援者がひきこもりについて理解を深め、相談対応について学ぶことで、当事者の支援につなげる。

事 業		内容及び実績
ひきこもり家族教室		内容：講話（ひきこもりについて、家族の関わり等）及び話し合い 実績：8回 参加者 実19人（17家族） 延71人（62家族）
事業担当者連絡会		内容：相談対応者の資質向上のための研修、関係者間の情報共有及び事例紹介等 実績：未実施（新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止）

③アルコール・薬物・ギャンブル等依存症対策

アルコール・薬物・ギャンブル等関連問題に悩んでいる家族等が依存症に関する正しい知識を得るとともに、問題解決に向けて取り組めるよう支援する。

事 業		内容及び実績
アルコール・薬物・ギャンブル等家族教室		内容：精神科医師及び相談支援コーディネーター（看護師、精神保健福祉士）による講義（依存症とは、家族の役割等）及び話し合い 実績：8回 参加者：実23人 延56人
アルコール・薬物・ギャンブル等専門相談		内容：精神科医師及び相談支援コーディネーター（看護師、精神保健福祉士）による個別相談 実績：12回 相談者：延14人
依存症支援対応力研修会（R3.12.1）		内容：講演、鳥取市保健所の依存症支援についての紹介

④精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障がい者の地域生活への移行及び定着を促進するため、医療・保健・福祉等の関係機関が連携し、精神障がい者の地域移行・地域定着支援体制を整備する。

事業	内容及び実績
鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行・地域定着推進会議	内容：県東部圏域の地域移行・地域定着の現状、各機関の地域移行・地域定着の取り組み状況報告及び意見交換等 実績：推進会議 1回（書面開催） 連絡会 2回
鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行・地域定着連絡会	
地域移行・地域定着関係職員に対する研修会	内容：事例紹介及び意見交換 実績：1回
精神科病院における地域移行の推進	内容：各病院の実情に合わせ実施 実績：①病院との検討会：延8回 ②病院スタッフ勉強会：2回 ③患者勉強会：3回
レインボウ事業	内容：ボランティア団体・ピアサポーターの協力を得て、退院意欲喚起を目的とした取り組みを実施 実績：患者勉強会：3回（ピアサポーターの協力）
ピアサポーターの養成	内容：ピアサポーター養成講座（委託事業） 実績：2回 参加者3人（うち修了者3人）

⑤精神障がい者の社会参加支援、家族支援

在宅の精神障がい者が活動を通して交流を図ることにより、精神障がい者の自立と社会参加に向けた支援を行い、在宅の精神障がい者の福祉の向上を図る。

また、家族が病気について学び、情報交換や交流ができる場を作り、家族の孤立化を防ぐ。

事業	内容及び実績
デイケア	さわやかサロン（中央、福部、鳥取東） 内容：絵や音楽等の創作活動、精神科医師・保健師・栄養士・歯科衛生士による講話、運動等を実施 実績：34回 参加者数 実15人 延：152人
	こころを元気にする会（河原、用瀬、佐治） 内容：参加者が計画を立て、創作活動や栄養士による講話、運動等実施 実績：10回 参加者数 実9人 延52人
	きらり☆えがおの会（気高、鹿野、青谷） 内容：参加者による計画立案など、意思決定を尊重した支援を実施 実績：9回 参加者数 実12人 延38人
居場所づくりの会	ほっとカフェ（気高） 内容：当事者を含むボランティアが運営 居場所の提供、ボランティアによる傾聴・相談支援等を実施 実績：13回 参加者数 延184人
	ふわっとカフェ（青谷） 内容：当事者を含むボランティアが運営 居場所の提供、ボランティアによる傾聴・相談支援等を実施 実績：20回 参加者数 延264人
家族支援	鳥取地域家族会（中央、福部、鳥取東） 内容：病気の正しい知識や対応方法を知るためにテキスト等による学習 及び家族の思いや困りごと等についての話し合い 実績：8回 参加者数 延72人
	南地域家族教室（河原、用瀬、佐治） 内容：「いろんな知識や制度を学ぼう」をテーマに、制度や精神疾患の理解のための研修会、家族交流を実施 実績：3回 参加者数 実18人、延27人
	西地域家族会（気高、鹿野、青谷） 内容：家族交流会、研修会、B型就労支援事業所の見学・交流、会員によるたより発行等 実績：9回 参加者数 実11人、延50人

⑥高次脳機能障がい者支援

高次脳機能障がい者への支援体制の充実を図るため、医療、保健、福祉関係者のネットワーク構築と人材育成を行う。

事業	内容及び実績
東部圏域高次脳機能障がい者支援機関連絡会（1回）	内容：関係者間の情報共有及び事例紹介等 実績：1回 参加者数 12名

⑦精神科救急医療体制の整備

緊急な医療を必要とする精神障がい者等に対する迅速かつ適切な精神科救急医療体制の整備に係る調整を行う。

事業	内容及び実績
東部圏域精神科救急医療体制整備事業連絡調整会議	内容：東部圏域精神科救急医療体制についての報告 及び書面での意見聞き取り 実績：1回（書面開催）

⑧精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律に基づく入院、相談等の状況

ア 医療保護入退院届、定期病状報告の状況

(単位：件)

区分	医療保護入院届	医療保護退院届	定期病状報告	
			措置入院	医療保護入院
件数	500	515	3	251

イ 措置入院、応急入院の状況

(単位：件)

区分	措置入院				応急入院	
	申請・通報等	結果内訳				
		診察不要	要診察	うち、措置入院		
鳥取市	34	18	16	7	11	
4町	3	1	2	0	1	
その他	2	1	1	0	2	

ウ 退院請求・処遇改善請求の状況

(単位：延件)

区分	退院請求	処遇改善請求
鳥取市	5	1
4町	0	0
その他	0	0

エ 精神保健相談の状況

(単位：人)

区分	訪問指導		面接相談		電話相談
	実人員	延人員	実人員	延人員	延人員
鳥取市	67	282	68	115	864
4町	5	16	4	5	184
その他	4	5	1	1	24

生活安全課に関する事業

(1) 動物愛護管理推進事業

①動物の適正飼養・譲渡の推進

負傷した犬及び猫の保護収容、収容動物の管理・返還を行うとともに、動物愛護センター機能を委託しているアミティエや動物譲渡ボランティアなどと連携した譲渡事業や各種啓発事業を実施する。

令和3年度もY o u T u b e、市HPを活用し、譲渡の取り組みを進めたほか、収容動物を譲渡する際には事前に不妊・去勢手術を行い、譲渡の促進を図っている。

ア 収容・返還・譲渡等の状況（東部四町含む）

(ア) 犬の状況

(単位：頭、件)

区分			鳥取市	東部4町	その他・不明	合計	
収容	抑留・捕獲	成犬	24	1	0	25	
		子犬	0	0	0	0	
	引取り	成犬	3	0	0	3	
		子犬	0	0	0	0	
		所有者 不明	成犬	0	0	0	
		子犬	0	0	0	0	
	保護	成犬	1	0	0	1	
		子犬	0	0	0	0	
前年度引継ぎ			0	1	0	1	
返還数			21	1	0	22	
譲渡	一般	成犬	2	0	0	2	
		その他	5	1	0	6	
処分	その他	収容中死亡	0	0	0	0	
		譲渡困難	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
死体収容			0	0	0	0	
翌年度引継ぎ			0	0	0	0	

(イ) 猫の状況

(単位：頭、件)

区分			鳥取市	東部4町	その他・不明	合計	
収容	引取り	成猫	13	0	0	13	
		子猫	1	0	0	1	
	所有者 不明	成猫	0	0	0	0	
		子猫	0	0	0	0	
		成猫	22	2	0	24	
		子猫	20	2	0	22	
	前年度引継ぎ		2	1	0	3	
	返還数		2	0	0	2	
	譲渡	一般	21	3	0	24	
		その他	13	0	0	13	
処分	その他	収容中死亡	9	1	0	10	
		譲渡困難	0	0	0	0	
		その他	6	0	0	6	
死体収容			7	0	0	7	
翌年度引継ぎ			0	1	0	1	

イ 所有者からの犬・猫の引取り相談件数

(ア) 犬の状況

区分		鳥取市	東部4町	その他・不明	合計
所有者からの引取り相談件数		10	1	0	11
うち引取り拒否件数（説諭を含む）		8	1	0	9
拒否の理由	犬猫等販売事業者からの求め	0	0	0	0
	引取りの繰り返しの求め	0	0	0	0
	子犬の求めで繁殖制限措置の指示に従っていない	0	0	0	0
	犬の老齢又は疾病による求め	0	0	0	0
	飼養が困難であると認められない	0	0	0	0
	譲渡取組を行っていない	6	1	0	7
	その他	2	0	0	2

(イ) 猫の状況

(単位：件数)

区分		鳥取市	東部4町	その他・不明	合計
所有者からの引取り相談件数		3	1	0	4
うち引取り拒否件数（説諭を含む）		3	0	0	3
拒否の理由	犬猫等販売事業者からの求め	0	0	0	0
	引取りの繰り返しの求め	1	0	0	1
	子猫の求めで繁殖制限措置の指示に従っていない	0	0	0	0
	猫の老齢又は疾病による求め	0	0	0	0
	飼養が困難であると認められない	0	0	0	0
	譲渡取組を行っていない	2	0	0	2
	その他	0	0	0	0

②動物取扱業の監視指導等

ペットショップなどの第一種動物取扱業の登録、営利を目的とせず動物の譲渡等を行う第二種動物取扱業の届出受理のほか、必要に応じて第一種動物取扱業者に対し飼養施設の状況等の報告を求め、施設の検査を実施した。

また、動物取扱責任者に対し、法令内容の周知徹底、並びに新たな知識及び技術の提供のため、研修を実施した。

(ア) 第一種動物取扱業者

事業所数	新規登録	更新登録	廃止	立入件数	行政指導	措置命令	業務停止・登録取消命令
50	3	9	3	37	0	0	0

(イ) 第二種動物取扱業者

事業所数	新規届出	廃止	立入件数	行政指導	措置命令
3	0	0	0	0	0

(ウ) 特定動物飼養者の状況

許可件数	新規	立入件数	措置命令	許可取消命令
6	2	3	0	0

特定動物の内訳

(ニホンザル 2件、イヌワシ 1件、サバンナモンキー 1件、ボア・コンストリクター 1件、ワニガメ 1件)

③飼い犬登録及び狂犬病予防

狂犬病予防法に基づく飼い犬登録の推進、鳥取県獣医師会と連携した狂犬病予防の集団注射を行っているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団注射は中止し、動物病院での個別接種による実施とした。

(ア) 飼い犬登録及び狂犬病予防

登録申請数	登録頭數	予防注射済票交付数			犬の死亡届出件数
	(年度末現在)	集団注射	動物病院等	計	
636	7,037	0	5,447	5,447	503

※ 狂犬病予防注射は、令和3年3月2日から令和4年3月1日に接種した件数。

(イ) 犬による咬傷事故発生状況

事故件数	咬傷犬の登録状況等		被害者数			咬傷事故発生時の犬の状況			咬傷事故発生時の被害者の状況							
	飼い犬		飼い犬不明	飼い主・家族	それ以外	人以外の動物	犬舎等にけい留中	けい留して運動中	放し飼い	その他	犬に手を出した	けい留しようとした	配達・訪問等の際	通行中	遊戯中	その他
	登録	未登録														
4	4	0	0	0	4	1	0	2	0	2	0	0	0	4	0	0

④地域猫活動等支援事業

飼い主のいない猫の頭数が多い等の理由で既存の助成制度では対応が困難なケースについて、本市で不妊・去勢手術をおこなった後、地域で猫を管理してもらう地域猫活動等支援事業の実施に向け、手術施設の借受、手術に必要な器具や体制を整備し、令和3年12月から事業を開始した。

⑤野良猫不妊・去勢手術費の助成

野良猫のみだりな繁殖・増加を抑制するための施策として、野良猫の不妊・去勢手術費に対する助成を行った。

⑥動物愛護の啓発活動

市民の動物愛護への関心と理解を深めるため、動物愛護週間に合わせ、鳥取市立図書館に動物愛護関係意識定着のため、動物関連書籍コーナーの設置及び適正飼養啓発パネルの展示を行った。

さらに、保健所業務の理解促進及び動物愛護意識定着のため、譲渡ボランティアと連携し、小学生とその家族を対象とした「犬管理所見学会」の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のために中止している。

(2) 食の安全推進事業

①食品関連施設等への監視指導の状況

ア 対象施設の選定方針

過去2年のうちに食品衛生法違反により処分や文書指導を受けたことのある施設や野生鳥獣肉処理施設など食中毒リスクの高い施設、レストランや給食施設などの大量調理施設で、事故が発生した場合大規模食中毒につながる可能性がある施設等を「重点監視対象施設」として、集中的に監視指導を行った。

イ 当年度重点監視事項等

重点監視対象施設について集中的に監視指導を実施するほか、消費者の食品選択において情報源として重要な役割を果たす食品表示について、食品表示法に基づく表示基準の周知及び適正化を図る。

また、食品衛生法改正に基づくHACCPの制度化により、令和3年5月までにHACCPに沿った衛生管理の導入ができるよう支援し、事業者へのHACCP導入を推進する。

令和3年度においては、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に取り組む事業者を対象とした業種ごとのHACCP導入支援講習会を計4回開催し、事業者への周知に努めるとともに、営業許可における

施設の事前調査等の機会を利用して導入状況の確認、指導を行った。

重点監視対象施設における監視目標件数

225件 (実績 214件 95.1%)

※監視対象施設

4,907施設 (令和3年度計画値) (実績 2,736施設、55.7%)

(ア) 改正前の食品衛生法に基づく許可を要する施設

(単位:箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			主な違反事項等の概要	
			施設数	件数	処分等件数				
					告発	処分	文書指導		
飲食店営業	一般食堂・レストラン等	931 (113)	517 (55)					①食中毒による営業禁停止 0件 ②異物混入等による文書指導・飲食店営業 1件 ③無許可営業・飲食店営業/菓子製造業 1件 ④その他(規格・基準違反等) ・食肉販売業 2件 ・清涼飲料水製造業 1件	
	仕出し屋・弁当屋・給食施設	97 (21)	90 (13)	1 (0)	1 (0)				
	旅館	111 (33)	34 (17)						
	その他	675 (52)	380 (29)	1 (0)	1 (0)				
	菓子(パンを含む。)製造業	403 (84)	279 (54)	1 (0)	1 (0)				
	乳処理業								
	特別牛乳搾取処理業								
	乳製品製造業	5 (2)	4 (4)						
	集乳業								
	魚介類販売業	296 (59)	213 (31)						
	魚介類競り売り営業	4 (2)	6 (0)						
	魚肉練り製品製造業	4 (0)	10 (0)						
	食品の冷凍または冷蔵業	13 (4)	22 (4)						
	かん詰又はびん詰食品製造業 (上記及び下記以外)	8 (2)	5 (1)						
	喫茶店営業	501 (63)	173 (21)						
	(再掲)自動販売機	446 (58)	117 (16)						
	あん類製造業								
	アイスクリーム類製造業	54 (6)	84 (12)						
	乳類販売業	0 (0)	60 (8)						
	食肉処理業	36 (7)	46 (9)						
	食肉販売業	239 (38)	149 (16)	2 (0)	2 (0)				
	食肉製品製造業	5 (3)	10 (5)						
	乳酸菌飲料製造業								
	食用油脂製造業	4 (2)	2 (0)						
	マーガリン又はショートニング製造業								
	みそ製造業	36 (15)	16 (4)						
	しょうゆ製造業	4 (1)	4 (1)						

許可を要する施設	ソース類製造業	10 (2)	6 (2)					
	酒類製造業	10 (5)	11 (7)					
	豆腐製造業	23 (8)	22 (4)					
	納豆製造業							
	麵類製造業	7 (2)	10 (3)					
	そうざい製造業	97 (29)	110 (16)					
	添加物（法律13条第1項の規定により規格が定められたものに限る。）製造業	1 (0)	0 (0)					
	食品の放射線照射業							
	清涼飲料水製造業	14 (3)	16 (7)	1 (1)	1 (1)			1 (1)
	冰雪製造業							
	冰雪販売業	0 (0)	1 (0)					
	合計	3,588 (556)	2,280 (315)	6 (1)	6 (1)			5 (1)

(イ) 改正後の食品衛生法に基づく許可を要する施設

(単位：箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数			違反事項等の概要			主な違反事項等の概要	
			施設数	件数	処分等件数					
					告発	処分	文書指導			
許可を要する施設	飲食店営業	386 (29)	192 (22)	2 (1)	2 (1)			2 (1)	①食中毒による営業 禁停止 0件	
	調理の機能を有する自動販売機	3 (1)	0 (0)						②異物混入等による 文書指導 0件	
	食肉販売業	6 (0)	7 (0)						③無許可営業 ・飲食店営業 2件	
	魚介類販売業	12 (1)	14 (1)							
	魚介類競り売り営業									
	集乳業									
	乳処理業									
	特別牛乳搾取処理業									
	食肉処理業	2 (0)	2 (0)							
	食品の放射線照射業									
	菓子製造業	47 (11)	24 (6)							
	アイスクリーム類製造業	3 (1)	1 (0)							
	乳製品製造業									
	清涼飲料水製造業	1 (0)	2 (0)							
	食肉製品製造業	2 (1)	2 (0)							
	水産製品製造業	2 (0)	9 (0)							
	冰雪製造業									

許可を要する施設	液卵製造業						
	食用油脂製造業						
	みそ又はしょうゆ製造業	3 (2)	0 (0)				
	酒類製造業	2 (0)	1 (0)				
	豆腐製造業	1 (0)	0 (0)				
	納豆製造業						
	麵類製造業	4 (0)	0 (0)				
	そうざい製造業	21 (3)	17 (1)				
	複合型そうざい製造業						
	冷凍食品製造業	3 (0)	3 (0)				
	複合型冷凍食品製造業						
	漬物製造業	1 (0)	1 (0)				
	密封包装食品製造業	2 (0)	2 (0)				
	食品の小分け業	2 (0)	0 (0)				
	添加物製造業						
合計		503 (49)	277 (30)	2 (1)	2 (1)		2 (1)

(ウ) 届出を要する食品関係営業施設

(単位:箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			主な違反事項等の概要
			施設数	件数	処分等件数			
で旧あつた営業種	魚介類販売業（包装済みの魚介類のみの販売）	20 (0)	1 (0)					
	食肉販売業（包装済みの食肉のみの販売）	5 (1)	0 (0)					
	乳類販売業	36 (4)	8 (2)					
	冰雪販売業	2 (1)	0 (0)					
	コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）	47 (4)	4 (0)					
販売業	弁当販売業	4 (0)	3 (0)					
	野菜果物販売業	8 (1)	47 (5)					
	米穀類販売業	6 (4)	2 (0)					
	通信販売・訪問販売による販売業	3 (0)	0 (0)					
	コンビニエンスストア	54 (7)	3 (0)					
	百貨店、総合スーパー	34 (4)	15 (1)					
	自動販売機による販売業（コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）を除く。）	85 (5)	8 (2)					
	その他の食料・飲料販売業	113 (13)	41 (3)					

製造・加工業	添加物製造・加工業（法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造を除く。）										
	いわゆる健康食品の製造・加工業	4 (0)	0 (0)								
	コーヒー製造・加工業（飲料の製造を除く。）	8 (1)	0 (0)								
	農産保存食料品製造・加工業	136 (38)	1 (1)								
	調味料製造・加工業	2 (0)	0 (0)								
	糖類製造・加工業										
	精穀・製粉業	2 (1)	1 (0)								
	製茶業	11 (7)	0 (0)								
	海藻製造・加工業										
	卵選別包装業	2 (0)	0 (0)								
で上準記用以外れる法も第の6を8含条む。第3～項	その他の食料品製造・加工業	96 (41)	10 (4)								
	行商	3 (3)	0 (0)								
	集団給食施設	132 (24)	32 (12)								
	器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。）	3 (1)	3 (1)								
	露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの										
	その他										
合計		816 (160)	179 (31)								

(注) 監視・検査施設数は延件数を記載。
下段の括弧内は、東部4町区域に係る件数で内数とする。

②衛生講習会等の実施

食品に携わる関係者を対象に衛生講習会を実施し、食品関連業務従事者の資質向上を図った。

衛生講習会・・・開催目標50回（実績36回）、参加者 901名

③食品等の収去検査

流通している食品等を検査機関に持ち込み、食品の安全性の監視を行った。

検査実績 161検体（うち東部4町は15検体）

④食中毒事故対応

食中毒事故（疑いを含む。）が発生した場合は、直ちに原因追及を行い、必要に応じて営業停止命令等、被害拡大防止・再発防止の対策を講じた。

食中毒事故件数 4件（うち営業禁停止 0件、家庭 3件、原因施設不明 1件）

⑤食品表示法に基づく食品表示適正化指導の状況

ア 監視指導

食品衛生法に基づく監視指導等の施設立入り時に併せて食品表示に基づく表示調査を行い、食品表示の正しい知識の普及を図った。また、国、県及び消費者等から情報提供があった場合は、速やかに確認調査を行い、必要な指導を行った。

(単位：箇所、件数)

調査施設数	処分件数		
	告 発	処 分	文書指導
688	0	0	4

イ 相談対応

(ア) 窓口相談

食品関連事業者からの食品表示に関する相談対応を行った。

相談件数 395人

(イ) 個別相談会

食品表示法及び表示基準の基礎から説明して適正な食品表示の作成を支援する食品表示個別相談会を開催し、相談対応を行った。

相談会開設数 32回、参加者数 23事業者（31人）

⑥景品表示に基づく調査・指導の状況

ア 食品

(単位：箇所、件数)

区分		件数	主な違反事項等の概要
処理件数	職権探知	- (-)	
	情報提供	2 (-)	
合計		2 (-)	
処理件数	措置命令		新聞折込チラシ及びホームページにおいて、カニ（生又はゆで）に根拠不十分な二重価格を表示していたため、二重価格を表示する際は、十分な根拠資料を作成のうえで実施するよう指導した。
	指導等	1 (-)	
	うち公表		
	違反事実なし・打切り	1 (-)	
	消費者庁への通知		
	公取協への通知		
	その他		
合計		2 (-)	

(注) 下段の括弧内は、東部4町区域に係る件数で内数とする。

イ 食品以外

(単位：箇所、件数)

区分		景品	表示	主な違反事項等の概要
受理件数	職権探知			
	情報提供		1 (-)	
合計			1 (-)	

処理件数	措置命令		
	指導等		
	うち公表		
	違反事実なし・打切り		1 (-)
	消費者庁への通知		
	公取協への通知		
	その他		
合計			1 (-)

(注) 下段の括弧内は、東部4町区域に係る件数で内数とする。

⑦営業許可の状況

食品衛生法（改正前第52条及び改正後第55条）に基づく営業許可（新規及び更新）について、712件（うち、東部4町分は112件）の許可証を交付した。

⑧営業届出の状況

食品衛生法第57条第1項に基づく営業届出について、742件の営業届（新規）を受理した。

⑨鳥取県食品衛生条例に基づくHACCPの推進

鳥取県HACCP適合施設の認定について、3施設の現地検査を実施した。

また、HACCPを維持継続できるよう、HACCPに基づく衛生管理に取り組む事業者に対して認定制度を活用した指導助言を行った。

⑩調理師法に基づく免許証の交付

試験合格者37名及び養成施設卒業者4名に対し、免許を交付した。

また、免許証の書換交付を8件、再交付を3件処理した。

⑪製菓衛生師法に基づく免許証の交付

試験合格者1名に対し、免許を交付した。

⑫鳥取県ふぐの取扱い等に関する条例に基づく免許証及び認証書の交付

試験合格者からの免許申請はなかった。また、食品衛生法改正による新たな許可制度の施行に伴い、ふぐ取扱い営業認証制度は廃止されたが、廃止までの間に新たな認証書の交付はなかった。

⑬鳥取県魚介類行商条例に基づく許可証の交付

食品衛生法改正による新たな許可制度の施行に伴い、魚介類行商許可制度は廃止されたが、廃止までの間に新たな許可書の交付はなかった。

⑭その他法令（と畜場法、食鳥処理法）に基づく処分状況

食鳥処理場・と畜場を営もうとする者からの許可申請はなかった。

IV 健康こども部事業概要

こども家庭相談センターに関する事業

(1) 児童相談

「子ども家庭総合支援拠点」として、児童虐待の未然防止や早期発見に積極的に取り組み、要保護児童等に関する相談や調査、関係機関と連絡調整等を行いながら支援業務を行った。また、妊娠期から子育て期の様々なニーズに対し、切れ目のない支援を行うため「子育て世代包括支援センター」と連携し、リスクの高い妊婦の支援を行った。

① 児童相談受理状況

相談件数 411 件 (内 児童虐待として対応したもの 22 件)

相談経路	児童相談所	県のその他部署	保健センター	市町村その他部署	保育所・幼稚園	警察等	保健所	医療機関	学校	教育委員会等	児童委員	家族・親戚	近隣・知人	その他	計
件数	80	7	26	39	14	-	1	89	85	12	2	21	16	19	411

相談経路		相談内容										件数	計	
児童相談所		虐待の疑い、虐待に関する相談										35	80	
		情報提供、支援依頼										45		
警察		虐待の疑い、虐待に関する相談										-	-	
		情報提供、支援依頼										-		
市 町 村	福祉事務所	虐待の疑い、虐待に関する相談										5	39	
		養育や家庭状況の心配、子どもの育成に関する相談										19		
		他自治体からの継続支援の依頼										15		
保健センター	保健センター	虐待の疑い、虐待に関する相談										-	26	
		養育者の精神疾患、子育て不安、養育や家庭状況の心配等										26		
		情報提供、支援依頼										-	-	
保育所・幼稚園	保育所・幼稚園	虐待の疑い、虐待に関する相談										7	14	
		養育者の精神疾患、子育て不安、養育や家庭状況の心配等										7		
学校・教育委員会		虐待の疑い、虐待に関する相談										14	97	
		養育や家庭状況の心配										69		
		不登校、発達障がい、問題行動等										14		
医療機関		虐待の疑い、虐待に関する相談										2	89	
		養育や家庭状況の心配										4		
		早期母子支援依頼、子育て支援依頼(妊婦、新生児)										83		
家族・親戚		虐待の疑い、虐待に関する相談										8	21	
		養育や家庭状況の心配、養育者の病気等による養育支援										11		
		育児、発達、不登校や問題行動等										2		
近隣・知人		虐待の疑い(泣き声、怒鳴り声等の通告)										15	16	
		養育や家庭状況の心配										1		
児童本人	虐待に関する相談、家庭関係の相談										2	2		
その他		虐待の疑い、虐待に関する相談										8	27	
		養育や家庭状況の心配										13		
		育児、発達、不登校や問題行動等										6		
											計	411	411	

年齢	0 歳	1~3 歳	4~6 歳	7~10 歳	11~14 歳	15 歳以上	計
件数	84	42	63	95	68	59	411

- ② 要保護児童対策地域協議会 (代表者会議：1回、実務者会議：6回、個別支援会議：174回)
 ③ 子育て相談ダイヤル (相談を受けるとともに、情報提供を行う) •相談件数 113件
 ④ 養育支援訪問事業

養育の支援が必要であると判断した家庭に対し、訪問等により育児支援、家事等の援助及び相談を受ける。また、カウンセリングが特に必要であると判断した家庭の妊産婦及び児童並びにその養育者に対し、精神的安定を図り、適切な養育の実施を確保する。

訪問事業		カウンセリング事業	
子どもの虐待防止ネットワーク鳥取へ委託		心理士によるカウンセリング（週2日）	
家庭数（実）	7件	利用人数（実）	9人
訪問数（延）	209回	利用人数（延）	109人

⑤ 親と子のすこやか推進事業「らくだクラブ」

強い育児不安や育児困難感を持つ親へのグループ教室。

毎月1回 8回実施 保護者参加 実5人、延23人

⑥ 乳幼児健診における育児相談

健診会場等において育児不安や悩みの相談を受けるとともに子育てに関する情報提供を行った。

・相談件数 85件

(内訳 6か月児健診：49件、2歳児健診1件、1歳6か月児健診20件、3歳児健診15件)

⑦ 早期母子支援事業

不安や悩み、生活上の問題を抱える妊婦を把握し妊娠早期から関わることによって安心して妊娠・出産・子育てが行え、児童虐待の予防に資することを目的に、母子健康手帳交付時にアンケートを実施しリスクを抱える妊婦への早期支援を行った。地区担当保健師と支援を分担し、当所は経済的な問題や精神疾患等のあるリスクの高い妊婦の支援を行った。

・相談件数 34件

○支援が必要な対象妊婦に対し、妊娠8か月頃に電話による状況把握と相談を実施。出産後、新生児訪問に相談員が同伴し、地区担当保健師と連携して継続支援を行った。

⑧ 「妊娠SOS」相談事業

妊娠したことや出産・養育についての悩みを抱える方が相談しやすい体制を整備した。

・相談件数 7件 •相談形態（電話3件、メール4件）

⑨ 産後母子支援事業

家族等から産後の援助が十分に得られないなど、特に育児支援を必要とする母子を対象に、支援を行い心身の安定と育児不安の解消を図った。（市内の産科医療機関や助産所に委託）

乳児一時預かり	生後4か月までの乳児を日帰りで預かり、母親の疲労回復を図る	59件
母子ショートステイ	生後4か月までの乳児と母親が宿泊してケアを受け、不安の軽減を図る	64件 162日
母子デイサービス	生後4ヶ月までの乳児と母親が日帰りでケアを受け、不安の軽減を図る	94件

（2）女性相談

令和2年度より女性相談窓口が当所に移設され、DV対応と児童虐待対応との連携強化が図られた。

相談件数：実件数 1,165件。

・そのうちDV相談 延件数： 140件

こども発達支援センターに関する事業

平成30年5月、福祉と教育が一体となって、発達上の困難を抱える乳幼児期から18歳未満までの児童とその保護者に対し、ライフステージに合わせた切れ目のない一貫した総合的な支援を行うことを目的に設置した。

1 発達支援係

①発達に関する相談

児童の発達に関する保護者の心配事に対し、来所、電話又は訪問等による相談を受けた。また、保健師や保育者、医療・療育関係機関との連絡・調整を行った。

(人)

相談種別	養護相談		保健相談	障がい相談						育成相談			計		
	児童虐待相談	その他の相談		肢体不自由	視聴覚障がい	言語発達障がい等	重症心身障がい	知的障がい	発達障がい	性格行動	不登校	適正相談	育児・しつけ		
実人数	-	1	-	-	1	8	-	4	161	1	-	-	1	9	186
延人数	-	2	-	3	3	20	5	75	1,370	1	-	-	17	119	1,615

②心理発達相談・発達検査

心理相談員による児童の発達確認や発達検査等を行うとともに、子育ての中での困り感を聴取し、児童の特性に合わせた対応や必要な療育等の情報提供を行った。

心理発達相談 実人数 97人 延人数 192人 (上記再掲)

③保育訪問相談・支援

心身の発達の支援が必要な児童及び保育上の配慮の必要な児童に対し、発達支援等の専門員が各保育園、幼稚園等を訪問し、対象児童の発達支援及び保護者支援の充実を図った。

保育訪問相談 実人数 54人 延人数 54人 (上記再掲) 健診後等による園訪問 実人数 39人 延人数 39人 (上記再掲)
--

④鳥取市発達支援保育指導委員会の開催及び巡回指導

鳥取市障がい児等保育実施要綱に規定する発達支援保育指導委員会の開催及び委員による年2回(前期、後期)の保育園への訪問を行い、保育園における保育の観察及び助言指導と、障がい児等の経過観察等、適切な保育の支援を行った。

巡回指導対象園数 39園 対象児人数 118人

⑤5歳児発達相談事後相談・支援

5歳児発達相談後に子育てや心理発達、保育・教育相談が必要な児童とその保護者を対象に、個別の相談を実施し、必要な児童の就学移行支援を行った。

5歳児発達相談 64人中、事後相談が必要だった児童 58人 内訳 医療受診 29人 5歳児事後訪問 58人 発達相談 29人 教育相談 48人 (重複あり、上記再掲)

⑥親子通所療育

発達上の困難を抱える児童と保護者に対し、親子で遊ぶ体験や基本的生活習慣を獲得のための取り組みを提供する中で、保護者が児童との関わり方を学び、児童の発達の特徴を理解する場として実施した。

親子通所療育	開催回数	35回	実人数	13組	延人数	158組
--------	------	-----	-----	-----	-----	------

⑦小集団療育

5歳児発達相談後に経過観察が必要な児童及び保育園、幼稚園等の大きな集団での活動に困難を抱える児童を対象に、児童の特徴をふまえた小集団での療育を実施した。保護者同士のつながりを持つ場として保護者交流会を持ち、児童との関わりや心配なこと、就学に向けての情報交換等を行った。

小集団療育	開催回数	12回	実人数	12組	延人数	53組
-------	------	-----	-----	-----	-----	-----

⑧親の会の支援

発達上の困難を抱える児童をもつ親の集いを開催し、学校や友人関係等の情報交換や交流の場として実施した。

親の会（いっぽいっぽ）	開催回数	11回	実人数	16人	延人数	41人
-------------	------	-----	-----	-----	-----	-----

⑨発達支援に関する支援者等研修会の開催

発達に気がかりのある子どもの保育、教育の実践に関する基礎的な知識の習得と子どもの発達理解及び保護者への支援のあり方を学ぶことを目的とした児童を支援する施設の支援者対象の支援者向けの研修会を実施した。

R4.2.5 令和3年度発達支援に関する関係職員研修会

講師 鳥取大学地域学部人間形成コース教授 寺川 志奈子 氏

⑩関係機関とのネットワークづくり

発達支援の必要な児童及び保護者への支援に対し、関係団体、関係機関との支援体制づくりを図った。

- ・鳥取市こどもの発達支援ネットワーク推進会議の開催（R3.12.23）

発達障がいを有するまたはその疑いのある、児童の各ライフステージに対応する一貫した支援体制の推進について検討。主に、福祉と教育との連携における切れ目のない発達支援体制の充実に向けた支援のあり方について協議した。

- ・鳥取市地域自立支援協議会乳幼児期学齢期支援部会の開催（年2回）

学齢期を中心とした切れ目がない支援のあり方について、学校現場における福祉との連携について、事例を通して支援の現状把握をした。

2 特別支援教育係

①教育相談・支援

小学校入学前の年中、年長期から、18歳までの児童及び保護者に対して、就学に関することや学習面や行動面の学校生活に関する相談を来所、電話または訪問等により行った。

教育相談	実人数	402人	延人数	1,876人
主な内容	就学相談・見学	1,275人	情緒・行動	190人

②早期からの教育相談

就学相談員が、特別な支援を必要とする児童及び保護者に対して、早期から就学に関する情報提供や教育相談を行い、柔軟できめ細やかな就学移行支援を行った。

1	就学に関する相談（①②③）	54園	549回	実人数	203人
	① 園訪問		126回		
	② 来所		224回		

	③ 電話	199回	
2	学校に関する相談・見学・同行	43回	
3	就学移行支援会議への出席	37回	実人数 34人
4	就学後の支援会議（フォローアップ会議）	12回	実人数 12人
5	5歳児発達相談会場での教育相談	33回	
6	就学後の保護者相談（来所・電話）	28回	実人数 10人

(上記再掲)

③就学前小集団活動

小学校入学時に必要なスキルやルールを学ぶ機会をつくり、学校生活への不安軽減を図り安心して就学を迎えることができるよう支援を行った。

にじのきょうしつ 実人数 13人 延人数 79人 (上記再掲)

④就学移行に関する相談

幼稚期から学齢期に移る上での一貫した支援を行うために作成した「育ちをつなぐ（改訂版）～就学移行期の支援の進め方～」の内容を関係機関で共有し、児童及び保護者の相談支援を行った。また、教育機関等との支援内容に関する協議を行いながら継続した支援を行った。

就学移行支援会議 実人数 34人 延人数 37人 (上記再掲)

⑤T式ひらがな音読支援

市内全小学1年生のひらがな読みの確認・支援結果及び小学2年生の語彙指導結果をもとに助言し、学力向上・不登校解消の一助を図った。

⑥関係機関との連携

園訪問等を通じ、就学相談の機会を広げ、学校見学同行や移行支援会議・フォローアップ会議参加による学校支援を行い、移行支援の充実を図った。また、関係機関主催の健診や研修会に参加・協力し連携を強めた。

3 児童発達支援センター若草学園

①児童発達支援センター「若草学園」の運営

発達支援の必要な児童に対して、生活自立を目指して、一人ひとりの発達に応じた集団又は個別での療育を実施した。

園児数 32人

②障がい児等地域療育支援事業

発達支援の必要な児童に対し、外来及び保育園等の訪問による相談・指導を実施した。

外来療育 延人数 770人 訪問療育 延人数 101人 施設支援 45園

③日中一時支援事業

障がい児の日中の活動の場を確保し、その家族の就労等を支援した。

延人数 2,884人

④相談支援事業所わかくさの運営

障がい福祉サービスを利用する者に対する相談・支援、利用計画の作成を行った。

実人数 35人 延人数（アセスメント、モニタリング） 142人

V. 資料

資料1 要綱等新規制定・改正状況一覧表

No.	担当課（センター）名	要綱等の名称	新規制定・改正日
1	保健総務課	鳥取市公衆浴場原油価格高騰対策補助金	制定 令和4年1月11日 一部改正 令和4年3月19日
2	健康・子育て推進課 健診推進室	鳥取市がん患者の社会参加応援事業 補助金交付要綱	制定 平成30年4月1日 一部改正 令和3年12月17日
3	健康・子育て推進課 健診推進室	鳥取市抗がん剤治療副作用対策 支援事業補助金交付要綱	制定 令和3年8月12日

資料2 研究・発表

第80回日本公衆衛生学会総会 シンポジウム23

テーマ「大規模災害時の栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成」

日 時：12月22日（水）10:30から11:45
会 場：京王プラザホテル

「中核市保健所による広域的なケースメソッドの活用について」

鳥取市役所健康こども部鳥取市保健所 相本 優美

【目的】本市は中核市移行に伴い、県から東部圏域自治体の栄養改善業務の技術的支援を受託している。本市の本庁には健康増進担当部署がないため、本庁の管理栄養士と保健所管理栄養士としての立場があり、被災または支援経験がない状況での大規模災害時の栄養・食生活支援の対応について、どのように判断し、住民の命をつなげる活動を行えばよいのか、複数の事例を通して疑似体験を共有することで、意思決定ができるスキルを身につけることと、圏域自治体が被災した場合の支援体制の整備と連携強化を図ることを目的にケースメソッドを活用した研修を実施した。

【方法】初めに府内栄養士で発災後の本庁及び保健所管理栄養士の役割を知ることから始めた。「大規模災害時における栄養・食生活支援活動ワークショップ」の事例を使い、グループワークと全体討議を実施した。次に、圏域行政栄養士業務検討会で同様に実施し、管理栄養士養成施設臨地実習にもケースメソッドを取り入れ、実習生と所内管理栄養士と合同で実施した。

【結果】府内栄養士で事例を共有したことと、本市の災害時の栄養・食生活支援に関する課題は、専門性を活かす活動の根拠がどこにもないということが明確になり、発災直後の自治体職員としての活動後、専門職としての支援活動が行えるためには、今自分達は何をすべきか、どこにどういう働きかけをすることが必要なのか、真剣に考える絶好の機会となった。また、圏域の自治体が被災した場合の支援についても共有ができ、行政管理栄養士間では、受援側、応援側の事例で町と保健所間での連携の必要性を強く実感し、今後検討すべき内容が整理できた。今後は当研修の継続とマニュアル及びアクションカードの作成で一致した。しかし、県市町の防災計画やマニュアルには市保健所の保健分野の支援体制が明記されていないため、圏域自治体の防災担当から保健所支援は必要ないと意見もあり、行政管理栄養士だけでは解決できない状況も浮き彫りとなった。

【結論】災害時の栄養・食生活支援活動は、圏域においても認知度が低いからこそ、今後も色々な事例で学びを深め、専門職として栄養・食生活支援活動を明確にすることで、住民の命を守ることにつなげていきたいと考える。また、並行して県との連携も含めて、行政管理栄養士や各自治体防災担当とも共有しながら、栄養・食生活支援活動の体制を一緒に検討していくべきだと考える。

資料3 沿革

年	月	組織について	事業の動き	その他の動き
平成29年	4月	機構改單により保険年金課 健診推進室から中央保健セ ンター健診推進室へ改変	<ul style="list-style-type: none"> ・中央保健センターに専任の助産師を配置 ・産後サロン開始 ・妊娠・出産包括支援事業に母子デイサービス事業を追加 ・1歳6か月児健診においてフッ化物塗布を開始 ・鳥取大学地域貢献事業として「しやんしやんコグニサイズ」効果検証 ・個別リスクに基づく適切な胃がん検診体制構築に関する研究に参加 ・年少児の発達相談の開始 ・幼児歯科教室（2歳6か月児対象）の終了 ・第3期鳥取市国民健康保険特定健診検査等実施計画策定 	
平成29年	6月	保健所準備室の廃止		
平成30年	10月	保健所準備室の廃止 (保健医療福祉連携課兼務解 除)		
平成30年	3月	中核市移行により、鳥取市 保健所を開設		
平成30年	4月	機構改革によりこども発 達・家庭相談センターから こども家庭相談センターと こども発達支援センターへ 改変	<ul style="list-style-type: none"> ・健康こども部の発達相談・支援と教育センターの教育相談・支援を一元化 ・鳥取市教育センターに「こども発達支援センター　あいぽっぽ」の設置 ・こども家庭相談センターに女性相談、DV相談窓口の設置 	
平成30年	5月		<ul style="list-style-type: none"> ・集団検診Web予約の開始 	
平成30年	6月		<ul style="list-style-type: none"> ・胃全摘者への対応として、胃なし人間ドックを開始 	
平成31年	3月		<ul style="list-style-type: none"> ・いのち支える鳥取市自死対策推進計画策定 	

資料3 沿革

年	月	組織について	事業の動き	その他の動き
平成31年	4月		<ul style="list-style-type: none"> 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業開始 ・産後健康診査事業開始 	
令和元年	10月		<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり支援対策強化のため、支援コーディネーターを設置（特定非営利法人 鳥取青年ピアサポートに委託） 	
令和2年	4月	<p>機構改革により、保健医療福祉連携課及び総務企画課から保健総務課へ、健康支援課及び障がい者支援課へ、精神保健係から保健センターから中央保健センターへ、健康・子育て推進課へ、鳥取東健康福祉センターから鳥取東保健センターへ改変</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保健所と保健センターの一体化を図り機構改革 	
令和2年	5月	さざんか会館から鳥取市駅南庁舎へ移転	<ul style="list-style-type: none"> 鳥取市駅南庁舎に「健康づくりと子育て支援の総合拠点」誕生 	
令和2年	7月		<ul style="list-style-type: none"> 東部圏域栄養管理情報連携サポート事業開始 	
令和3年	1月		<ul style="list-style-type: none"> 妊娠教室再開 	
令和3年	3月		<ul style="list-style-type: none"> 第4期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」策定 	
			<ul style="list-style-type: none"> 第3次鳥取市食育推進計画策定 	
令和4年	2月		<ul style="list-style-type: none"> 第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画策定 	
令和4年	3月		<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援アプリ導入 オンラインによる子育て相談開始 	

「けんこう 鳥取 令和3年度」
(令和4年8月発行)

鳥取市保健所保健総務課
鳥取市保健所保健医療課心の健康支援室
鳥取市保健所健康・子育て推進課
鳥取市保健所生活安全課
こども家庭相談センター
国府町総合支所市民福祉課
河原町総合支所市民福祉課
佐治町総合支所市民福祉課
鹿野町総合支所市民福祉課

鳥取市保健所保健医療課
鳥取市保健所保健医療課新型コロナワクチン接種対策室
鳥取市保健所健康・子育て推進課健診推進室
鳥取東保健センター
こども発達支援センター
福部町総合支所市民福祉課
用瀬町総合支所市民福祉課
気高町総合支所市民福祉課
青谷町総合支所市民福祉課